

3. 遺物

遺物の概要

今回の調査では、堀・区画溝や、かわらけ廃棄土坑などの廃棄土坑、近世の整地層を中心に、大量の遺物が出土した。土器・陶磁器等コンテナに入るもののみで通常の中型コンテナで約350箱出土したほか、それ以外に、石造物や木杭・結桶側板、胴木なども多量に出土した。大型遺物も遺物の時期は主に15世紀から近代以降までで、増減はみられるものの、途中で切れることなく、全ての時期の遺物が出土している。遺物は、中近世土師器皿を中心とした土師器、須恵器・珠洲、越前、越中瀬戸（素焼皿・それ以外）、瀬戸美濃（陶器・磁器）、中国陶磁器（白磁、青磁、青白磁、染付）、京・信楽系、唐津、伊万里・肥前系、近世陶器、その他土師質土器・瓦器、土製品（瓦、取鍋、土人形、土鍤、焼塗壺、埠等）、金属製品（簪、煙管、錢貨等）、骨角製品（裁縫用ヘラ）、石製品・石造物（碁石、硯、砥石、石皿、石臼、板碑、五輪塔、宝篋印塔）、石垣石材等、ガラス製品（近代薬瓶）、木製品（漆器椀、箸、円形板、木札、下駄、板材、木杭、胴木、網代状木質遺物等）がある。

個体数量的には、遺物の過半を中近世土師器が占めるほか、越中瀬戸素焼皿や伊万里等も多く出土した。中近世土師器皿は15、16世紀のものが大半で、17世紀以降は越中瀬戸素焼皿の生産量の増加に反比例して漸減する。中国陶磁器では、極めて出土例の少ない梅瓶が出土したほか、粗製の漳州窯染付が4-SD60／SX40から一定量出土した。五輪塔などの石造物の大半は井戸の石組の転用石材として出土した。木製品は、井戸構築材として結桶側板、水溜状造構の基礎を構築していた胴木・木杭が大半を占めるほか、4-SD60下層から、17世紀後半頃のほぼ完形の近世土師器や唐津・京焼を共伴する網代状木質遺物が出土した。

以下、特徴的な遺物について、当報告書の分類毎に記載する。文中、紙面が限られるため記載できない個別の詳細については、可能な限り遺物観察表にまとめた。

（1）土器・陶器

A. 土師器（1～800、第88～112図、写真図版100～137）

1～800は土師器である。非クロコ成形で、時期は15世紀前半から18世紀前半である。100を越える遺構から出土したが、2-SD70、2-SD123、2-SD481、2-SD640、3-SD43、3-SD54、4-SD1等の堀・区画溝、2-SE47、2-SK538・539、2-SK705、2-SK710等の土器集中・廃棄土坑からまとめて出土した。

総括第4節でまとめた富山城出土中近世土師器の器種分類のうち、A～D類が出土している。実測遺物の法量は、口径6cm～10cm、器高2cm前後の小型皿が約60%、口径10cm～13cm、器高2.5cm前後の中型皿が約25%、口径13cm前後～20cm、器高2.5cm前後以上の大型皿が約15%あり、その中には、胎土に海綿骨針が混じる能登系のものも一定量含まれる。

A類は在地系で、口縁端部外側に幅の狭い一段の横ナデを施すもの。底部は丸底、平底ともに存在する。体部は、直線的に立ちあがる。口縁端部の処理手法により、端部を摘みあげた形状や、端部内面に面をとるものや瘤みをもつもの、端部外面に明瞭な面を取るもの等がある。法量は口径10cmまでの小型皿が主体を成している。流通時期は15世紀前半から16世紀末である。口縁部を中心に油煙痕が付着しているものが多く、主な用途は灯明皿である。出土遺構は2-SD70（1～4）・2-SD640（101～117）等の区画溝、2-SE47（133～137）・2-SE1175（181～186）等の井戸、2-SK538・539（294～308等）・2-SK705（388～404等）等のかわらけ廃棄土坑等でまとめて出土した。

B類も在地系で、平底から口縁部がそのまま立ち上がる。底部と口縁部の境に1.2～1.6cm程度の幅広の横ナデによって生じる稜を持つ。端部はそのまま丸く納める。流通時期は15世紀である。法量は口径10～12cmの中型皿が主体を成している。2-SD70（6）等の一部の遺構から出土するが、遺構数・出土数ともに少ない。

C類は京都系で、1～3類に細分される。C1類は、平底から体部が緩やかに立ち上がる。幅広の横ナデを施し、端部に向かって外反する。横ナデに強弱があり、明瞭な稜を持つものと弱いものがある。

口縁端部はそのまま納めるものと摘み上げる形状のものがある。法量はほとんどが口径11～14cmを測る中～大型のもので、口径16cm～20cm前後を測る大型のものも出土した。流通時期は15世紀から18世紀前半まで、在地系と並行して使用される。油煙痕が付着しているものは少なく、主な用途は供膳具である。

C2類は、平底から体部が明瞭な境を持って上方に立ち上がる。体部中程から上に幅広の横ナデを施し、短く外反する。口縁端部はそのまま丸く納める。法量は口径11cm前後で、深みを持つ中型皿である。流通時期は16世紀である。

C3類は、体部はやや開き気味に立ち上がり、口縁端部外面に幅狭の横ナデを施す。口縁部内面に端面を形成する。法量は口径11～14cmを測る中～大型のものが多く、16cm～19cmを測るきわめて大型のものも一定量含まれる。流通時期は16世紀後半から18世紀前半である。

D類として総括4節の能登系の土器師皿を、E類・F類として17世紀以降の近世土器を便宜上設定した。E類・F類は越中瀬戸素焼皿と並行して使用された非クロコ成形の在地の皿で、堀内型式分類・編年でE類はI 2類、F類はII 4類でいざれも17世紀中頃～後半までのものである。

D類（能登系）は、胎土に海綿骨針が混じる粗製品が多い点が最も大きな特色で、法量は口径8～11cm前後を中心とする小～中型皿である。平底の底部から体部が外方に立ち上がり、中程で外方にもう一段屈曲して伸びる。口縁端部のみ上方に延び、そのまま納める。器厚は薄い。15～17世紀の遺構から一定量出土した。

B. 須恵器・珠洲（801～820、第112～114図、写真図版137）

801は須恵器の壺である。8世紀中頃～後半に位置付けられる。

802～820は珠洲である。802～808、811、813～817、819は甕である。807は吉岡編年II～III期で13世紀頃、811・813・816は吉岡編年V期で15世紀前半頃のものである。814は吉岡編年III期で13世紀後半のものか。815・817の外面には全周3cm前後を1単位とする放射状の叩き目による叩き目を体部外面に施す。

809、810、812、818、820は擂鉢である。809は口縁端部内面に波状文を施す胎土の粗いもので、吉岡編年VI期で15世紀後半頃のものである。810の口縁端部は方形を呈し、吉岡編年I期で12世紀、818の口縁端部は円形を呈し、吉岡編年VI期で15世紀後半頃のものと考えられる。

C. 越前その他瓷器系陶器（821～861、第114～118図、写真図版138）

821～861は越前その他瓷器系陶器である。器種は壺、甕、鉢・擂鉢が出土した。時期は越前編年V期～VI期、15世紀末から17世紀中頃のものである。中世富山の調理具・貯蔵具をほぼ寡占していた珠洲が15世紀に衰退期に入り、16世紀末に越中瀬戸が操業を開始し、本格的に生産を拡大・流通量が増加し始める17世紀中頃までの間を中心とする15世紀末から17世紀半ば、16世紀を中心に多く搬入・使用されたものである。

1. 壺（822・854）：口縁部はやや外傾気味に立ち上がり、端部をやや膨らませ、外側上方に面を取つて仕上げる。822は器壁が薄く口縁が長いもの、854は器壁が厚く口縁が短い。
2. 甕（821・823・827・829・838・841・855・861）：821・823・841は口縁部が肩部からほぼ直上に立ち上がるもので、越前編年V期で16世紀のものである。827は肩部で外側に軽く屈曲して立ち上がるるもので、越前編年V 3期古で16世紀後半頃のものである。838は越前編年V期、841はV 3後で16C中頃～後半である。832・842は越前編年VI 2期新、861は越前編年VI 3期で17世紀中頃～後半のものである。
3. 擂鉢（824～826・828・830～835・837・839・840・842～853・856～860）：825・830・832・837・843・846は口縁内面のやや下った位置に沈線が巡るもので、越前編年V 1期で15世紀末～16世紀初頭である。擂目は沈線まで引く。826・833・835・842・845・847・849・853・

857・858・860は端部が水平な口縁を持ち口縁内面直下に沈線が巡るもので、越前編年V2期で16世紀前半～中頃である。833は擂目が沈線を越して引くもの、その他は沈線まで引くものである。831・839・859は内傾する口縁部を持ち口縁内面直下に沈線が巡るもので、越前編年V3期古で16世紀中頃～後半である。擂目は沈線を越して引く。852は越前編年V3新で、16世紀末である。

4. その他瓷器系（836・851）：836は瓷器系の片口鉢である。高台を持つ底部から体部が緩やかに立ち上がり、口縁端部はそのまま丸く仕上げる。器壁が薄く、胎土は精密である。加賀などの可能性がある。851は備前焼の大皿である。口径28.6cm、器高3.65cmを測る。平底から口縁がそのまま丸く屈曲して上方に短く伸び、端部を丸く納める。底部と口縁部の境は明瞭ではない。16世紀の可能性が高い。

D. 越中瀬戸（素焼皿）（862～976、図版32～36、写真図版139～144）

862～976は越中瀬戸の素焼皿である。現在、宮田編年II期で17世紀中頃からの生産が確認されるが、施釉皿との器形の違いがないものもあることから、宮田編年I期で17世紀初頭に遡るものがある可能性が堀内編年試案により指摘されている。以下、堀内氏の編年試案に沿って、その特徴と出土遺構、その時期について述べる。

中世土師器皿と比較すると、出土する遺構数が30～40前後と少なくなるが、2-SK1000、4-SK42等の廃棄土坑、4-SX40等の整地層からまとまって出土した。2-SK1000、4-SK42から出土したものは、口径12cm前後、器高2.8cm前後の堀内編年B2類、口径8cm～9cm、器高2cm前後のB5類がほとんどを占める。4-SX40からは、口径12cm前後、器高3cm前後を測るA1類（972・973）、口径10cm前後、器高2.1cm前後のB5類、口径7～8cm前後のB2・B6類が出土した。いずれもロクロ調整で、実測対象とした115点中113点は底部回転糸切りであるが、931・976は底部から体部下半にケズリ調整を施す。観察遺物中70%以上に煤・油煙痕が付着しており、素焼皿のほとんどは灯明皿として使用されたものである。

E. 越中瀬戸（素焼皿以外）（977～1090、第213～227図、写真図版144～150）

977～1090は素焼皿を除く越中瀬戸である。当遺跡からは大窯期、登窯期の碗・皿・擂鉢等の食膳具、調理具を中心に、灯明受皿・秉燭等の灯明具、壺類、水指・匣鉢等が出土している。遺物の時期は、操業を開始した16世紀末から19世紀前半までである。遺構別では、2-SK1000、4-SK42等の18世紀前半の廃棄土坑、17世紀後半の区画溝である4-SD60、18世紀前半の整地層である4-SX40等から、素焼皿とともに、京・信楽系、唐津・伊万里等肥前系、中国白磁・青磁・染付等と共に出土した。

1. 皿（977・979・980・985・987～989・992・996～998・1000・1003・1005・1008・1011・1019・1020・1029・1031～1033・1035～1037・1049・1052～1054・1056～1068・1074）

下記のa～dは供膳具、eは灯明具である。口径10～11cm程度か13～14cm程度のものが多いが、特殊な口径のものも一部みられる。胎土の色は灰、灰白、橙色のものを基調としており、加えて、混和剤として白色細粒・黒色細粒などがみられる。施釉は灰釉・鉄釉があり、鉄釉のものが大半を占める。高台は断面逆三角形の削り出し高台と、付高台のものが大半を占めるが、無高台のものもある。見込みに重ね焼き痕の有無がみられるものがある。灯明皿への転用または火災などによる二次被熱が確認できるものがある。以下では器形を中心分類する。

- a. 丸皿：丸みを持ってそのまま立ち上がる（987・996・1000・1019・1052）、丸みを持って立ち上がり、体部中程で口縁端部に向かって外反気味になる（977・979・981・989・1003・1005・1008・1011）、丸みを持って立ち上がり、体部中程で屈曲し口縁部が直線的にのびるもの、見込みに印花（桜：977・1011、十六弁菊：1032）が施されたものがある。1011は高台に3カ所の刻みを施す。内面には装飾的に黒色の鉄釉を重ねて施す。

- b. 線釉皿（992・1005・1033）：体部が直線的に伸びる内面全面施釉皿で、底部糸切りである。

器形は素焼皿との違いはない。

- c. ひだ皿（1029・1037・1068）：口縁端部を輪花状につまむ。体部は直線的に立ち上がる。内秀皿で、施釉はいずれも鉄釉のみである。
 - d. 向付（980・997・998）：980は底部から体部が屈曲してそのまま立ち上がるるものである。997・998は口縁端部に向かって軽く外反するもので、削り出し高台である。鉄釉を体部内外面に施すが、見込みと外底面は露胎する。
 - e. 灯明受皿（1020・1035・1036・1049・1064～1068）：底部糸切りのみで、器形は、縁釉皿の内面に受部が貼り付けられている器形である。口径12cm前後を測る。受部が口縁端部の内側に納まる体部に深みのあるもの（1020・1035・1036・1049）と受部が口縁端部と同じかやや外側に出るもの（1036・1064～1073）がある。1065には片口が確認できる。
2. 碗（1006・1007・1012・1018・1028・1048・1055・1070・1071）
- a. 天目茶碗（1012・1048）：体部が直線的に立ち上がり口縁端部を内側に屈曲させほぼ直立させるもの（1012）、体部が丸みを持って立ち上がり口縁端部を軽く外反させるもの（1048）がある。高台付近を除く全面に鉄釉を施す。
 - b. 丸碗（1028・1055）：体部下半が丸みを帯びて立ち上がり、口縁部に向かってそのまま仕上げる。高台は削り出し輪高台で、施釉は鉄釉で、底部を除く全面に施す。
 - c. 小碗（1006・1007・1018・1070・1071）：いずれも底部は糸切りで、体部は緩やかに丸みをもつて立ち上がるものと、体部半ばで内側に屈曲し、ほぼ真上にたちあがるものがある。底部露胎で内外面に鉄釉を施す。1018は口縁外面に把手をもつ。
3. 撥鉢（983・991・993・994・999・1004・1016・1017・1023～1027・1030・1039～1047・1085・1086・1088～1090）
- 法量の中心は、口径16～20cm前後の小型のものと、30cm前後を測る大型のものである。底部は回転糸切り、体部は直線的に立ち上がるもとやや外反して立ち上がるものがある。施釉はほとんどが鉄釉で、無釉のものもある。口縁部の特徴で下記のように細分できる。
- a. 口縁端部上方にやや内傾する端面を持つもの（983・1016・1024・1042～1045等）
 - b. 口縁端部外面に小さな耳垂れのある外縁部を持ち、外側にほぼ垂直の面を取るもの（991・994等）
 - c. 口縁端部外面にやや外反する耳垂れのある外縁部を持ち、端部外面斜め上方に面を取るもの（999・1009等）
 - d. 体部が直線的に立ち上がり、口縁端部はそのまま外側上方に面を取るもの（1039・1040）と内側に面を取るもの（1017・1041）
4. その他（小壺：1002・1013～1015・1050・1051・1075～1079、茶壺：981、1022、瓶：990・1071・1072、建水／水指：977・982・986・995・1001・1009・1010・1038・1080～1084、匣鉢：1087、鉢：1034、蓋：980・984・1021）以下では代表的ないくつかの器種について述べる。
- a. 小壺（1002・1013～1015・1050・1051・1075～1079）：口径・底径ともに12cm前後、器高15cm前後を測るものが多い。底部は回転糸切りで、体部が丸みを持って立ち上がり、そのまま口縁に向かって内湾するもと肩部が張るものがある。端部はそのまま丸く納めるもと膨らませて丸く仕上げるものとがある。体部内外面に鉄釉を施す。
 - b. 建水／水指（977・982・986・995・1001・1009・1010・1038・1080～1084）：体部がほぼ直線的に真上またはやや内傾して口縁部に向かって立ち上がり、口縁端部を方形に仕上げるものと、体部がやや外傾して立ち上がり、口縁端部で内側に屈曲し、端部は丸く仕上げるものに分かれれる。いずれも体部内外面に鉄釉を施す。
 - c. 匣鉢（1087）：匣鉢の底部である。底径21cmを測る。底部に三脚を持つ。体部外面に鉄釉を施す。
 - d. 鉢（1034）：口径30cmを越える大鉢で、口縁内外面に鉄釉を施す。端部はそのまま丸く納める。
 - e. 秉燭（1069）：灯明具で体部上半～内面に鉄釉を施し、体部下半～底部は露胎する。

F. 濑戸美濃 (1091～1178、第131～136図、写真図版151～154)

1091～1178は瀬戸美濃である。今回の調査では、出土遺物全体に占める割合は低いものの、大窯期、近世以降の連房登窯期の瀬戸美濃、瀬戸美濃磁器が一定量出土している。器種は、碗・皿等の供膳具がほとんどで、他の器種は点数が少ない。4、5点以上出土した遺構は2-SD481、4-SD1、4-SD60、4-SX40などである。出土点数が少ないため、実測図・写真図版は遺構毎にまとめて掲載したが、文中では19世紀以降の磁器については、4. 磁器として記載する。

器種は、陶器として擂鉢、片口鉢、碗類（天目・丸碗・拳骨茶碗・小碗・志野）、皿類（九皿・端反皿・折縁皿・向付）、壺（小壺・壺）、瓶、水指、香炉、鉢類（鉢・擂鉢・植木鉢）、油皿等が、磁器は碗・小碗・皿・蓋・便器等がある。

1. 皿 (1112・1113・1119～1121・1126～1129・1133・1138～1140・1143・1149・1152・1153・1156)

- a. 丸皿 (1112・1113・1120・1143・1149・1152・1153) 高台は、ほとんどが削り出し高台で、1119・1120・1152は付け高台、1149は削り込み高台、1153は無高台である。見込みに印花（16弁菊:1113・1149、8弁菊:1119、桜:1152等）が施されたもの、体部内面にソギが入るもの（1120）がある。釉は体部内外面にいずれも灰釉を施す。内禿皿と内全面施釉の皿がある。1113の底部には輪ドチ痕が残る。内外面に炭化物が多量に付着し火災などによる二次被熱の痕跡が残る。
- b. 端反皿 (1119・1126・1127・1139・1140)：口縁端部が軽く外反する器形である。1119は全面施釉で見込みに8弁菊の印花文を施す。
- c. 折縁皿 (1156)：口縁が大きく外反し、端部が短く立ち上がる。体部内面にノミ状工具によるソギを施す。釉は体部内外面に灰釉を施す。
- d. 向付 (1121)：底部から体部が屈曲してやや内傾気味に立ち上がり、そのまま端部を丸く納める。底部は削り出し高台である。体部内外面に鉄釉を施すが、見込みおよび外底面は露胎する。胎土が灰黄色で精良の為、瀬戸美濃としたが、越中瀬戸の可能性がある。

2. 碗 (1093～1097・1099～1111・1115～1118・1144)

天目茶碗 (1093・1099～1101・1105～1107・1109・1111・1115～1117・1124・1131・1132・1135・1136・1142)・丸碗 (1094・1095・1104・1108・1110・1118)・筒型茶碗 (1097・1114)、17世紀初頭の志野碗 (1096・1110・1144)、18世紀の拳骨茶碗 (1103・1150・1160)などがあり、天目茶碗の割合が高い。碗類は基本的に鉄釉を体部内外面に施すほか、1109・1116・1118・1125は灰釉を、1096・1110・1144は志野釉を施す。

- a. 天目茶碗：天目茶碗は体部がやや丸みを持って立ち上がるもの、直線的に立ち上がるものがある。体部外面にロクロによる稜線が明瞭に残すものが多い。口縁部がS字状に外反するもの（1093・1109・1111・1115・1117・1136）、口唇部が玉縁状になるもの（1099・1107・1124・1131）、口唇部がほぼ直立するもの（1100・1101・1116・1132・1135・1142）がある。底部は削り出し輪高台である（1102・1105・1106等）。体部内外面に釉を施すが、高台付近は露胎する。体部に施された下地塗が紫色に発色するものがある。16世紀を中心とする。
- b. 丸碗 (1094・1095・1104・1108・1110・1118)：底部から体部が緩やかに立ち上がり、端部は丸く納める。
- c. 筒型茶碗 (1097・1104)：筒型茶碗は底部から体部が強く屈曲して体部が口縁端部に向かつてほぼ真上に伸び、端部をそのまま丸く納めるものである。体部は直線的に伸びるものが多いが、1114の体部は波状を呈する。
- d. 拳骨茶碗 (1103・1150・1160)：器形は筒形、体部中程に窪みを四方に持つ碗で、体部全面に胎釉を施す。高台周辺は露胎である。
- e. 輪花碗 (1144)：口縁が輪花状で、体部は全周14の面を取る特殊な器形である。志野釉を施す。
3. その他（片口:1092、鉢・擂鉢:1091・1098・1168、香炉:1122、小壺:1154、茶瓶蓋:1155、壺:

1167、植木鉢：1169、油皿：1170

- a. 片口（1092）：口径18cm、底径16.2cm、器高8cmを測る。底部糸切りだが体部との境を削り出した高台状とする。体部は腰が張る器形で、口縁部に向かってやや内傾して立ち上がる。口縁端部は内側上方に面を取る。体部内外面に灰釉を施す。遺物の時期は16世紀末である。
 - b. 鉢・擂鉢（1091・1098）：1091は口径約20cmを測る擂鉢である。内面に体部内外面に鉄釉を施す。内面に1単位幅4cm12目の御目を全面に隙間なく施す。1098は鉢である。口径15.7cmを測る。体部上半は直線状に立ち上がり、端部は真上に面を取る。1091は鉄釉、1098は灰釉を体部内外面に施す。
 - c. 香炉（1122）：径18cmを測る底部に三脚を持つ。緩やかに立ち上がる体部外面には気泡状の小穴が外面全体にみられる。
 - d. 小壺（1154）：胎土は緻密で、内外面に鉄釉を施す。底部糸切り痕が残る。
 - e. 蓋（1155）：最大径12.1cmを測る。見込みに摘みをもつ。内外目に鉄釉を施すが、底面は露胎する。
4. 磁器（便器：1123、蓋：1130、1151、瓶：1145、碗：1147・1162、皿：1148・1164・1165）
- a. 便器（1123）：近代瀬戸の小用便器で、外面全体に染付を施す。
 - b. 蓋（1136・1151）：1136は径11.9cm、1151は径10.7cmを測る。伊万里の可能性があるものの胎土の性質から瀬戸に分類した。
 - c. 皿（1148）：染付手塗皿である。平面は四方の角を取った8角形を呈し、体部内外面には染付を、付け高台内の外底面には銘を施す。伊万里の可能性がある。

G. 中国陶磁器（1137・1166・1171～1208、第133、136～139図、写真図版154～157）

1137・1166・1171～1208は中国陶磁器である。主な遺物の時期は15～17世紀で、中世の白磁・青白磁・青磁、近世の染付が出土した。青白磁は、宋代の景德鎮窯系の梅瓶である。青磁は龍泉窯系の皿・大皿である。中世の白磁・青白磁・青磁の出土量は少なく、大部分が各出土遺構から数点程度である。そのなかで戦国期の堀4-SD1からは一定量まとめて出土した。また近世の染付は、精製品として景德鎮窯染付が、粗製品として漳州窯染付が出土した。比較的出土量が多いのは、4-SD1直上に開削された近世の区画溝4-SD60である。出土した器種はいずれも皿・大皿・碗などの供膳具で、景德鎮窯は皿を中心とし、漳州窯は碗・皿の他、盤・大鉢が目立つ。漳州窯染付は16世紀末～17世紀前半に輸入されたもので、皿・碗・大盤等が出土した。また同時に、江戸の18・19世紀の遺構から出土することが確認されており、17世紀前半に増大し、中頃には輸入が停止した後も、漳州窯の盤・大鉢は珍重され伝世品として江戸時代を通して使用されていたとされる。

- 1. 白磁（1179・1181・1192・1193・1201）：白磁は皿が出土した。全て体部が内湾しながら立ち上がり、口縁部が外反する端反皿である。時期は森田編年の白磁E群で15世紀後半から16世紀代である。1181は口縁が輪花状になる輪花皿で、体部内面に押型による文様を施す。時期は16世紀。
- 2. 青磁（1137・1171・1178・1180・1182・1183・1185・1190・1191・1195・1202・1203）：皿、碗、鉢が出土した。
 - a. 皿（1183）：体部が内湾気味で、口縁部は外反する。明緑灰色の青磁釉を体部内外面に厚く施す。
 - b. 碗（1137・1171・1180・1182・1185・1195・1202）：1137は、体部が内湾して立ち上がり、端部を丸く納めるもの。口縁部外面に沈線を巡らす。上田編年E類で、14世紀末から15世紀前半である。1171は体部外面に雷文体を持つもの。上田編年C II類で、14世紀末から15世紀前半である。1180・1182・1195・1202は体部外面に細蓮弁文を施すもの。1180・1182・1202は内湾して立ち上がり、口縁端部を丸く納める。上田編年B IV類で15世紀後半～16世紀代である1185の内底面には型押しの花文がみられる。1195は体部が開いて、口縁端部を丸く納める。上田編年類で14世紀後半である。
 - c. 鉢（1178・1190・1191・1203）：1178は輪花鉢である。口径20.4cmを測る。1190、1191は大

- 鉢である。1190は体部上半～口縁端部で、体部上半は緩やかな内湾を描いて立ち上がる。口縁部が外側に稜をもって屈曲し、端部も再度外側に折り返し、玉縁状を呈する。口径35.4cmを測る。内面に片切彫りで花文を施す。1191は鉢の底部で、高台外側～体部に青磁釉が施され、内底辺の露胎部周辺に鉄色の下地がみられる。内外面に二次被熱の痕跡が残る。
3. 青白磁（梅瓶：1194）梅瓶の底部である。底径約10cmを測り、垂直からやや外傾した角度で直線的に立ち上がる。胎土外面に直接に印花文を浮き彫りし、そのうちにやや青白色の透明な釉薬を施す。施釉範囲は底面を除く全面と考えられる。本来は日用品として酒や油を入れる容器だが、日本では大名レベルの支配層のみ所有したとされるもので、出土事例が少ない。
4. 染付（1166・1172・1173～1177・1184・1186・1188・1208）：精製品の景德鎮窯と粗製品の漳州窯に大別される。器種は皿・大皿・碗が出土した。
- a. 景德鎮窯（皿：1196・1197・1208、1177：碗）：1196・1197・1208は皿である。体部が緩やかに立ち上がり、口縁端部は丸く納める。胎土緻密な精製品が多い。内面には草花文を施し、外底面には“満福”等の押印を施す。1177は碗で、瑠璃釉を体部内外面に施す。
- b. 漳州窯（皿：1166・1173・1176・1188、大皿：1172・1174・1204・1206・1207、碗：1175・1184・1187・1195・1199・1200）：胎土は粗く陶質のものが多い。釉薬も白濁し、乳白色である。釉に貫入がみられるものもある。大部分の染付けは草花文が描かれる。1166・1173・1176・1188は皿である。1172・1174・1204・1206・1207は大皿である。1172は口径29.1cmを測る大皿。底部高台周辺に砂が多量に付着する。体部はやや内湾気味に立ち上がり、口縁は軽く外反。端部はそのまま納める。体部外面に線を1条巡らし、内面には草花を描く。1174は口縁輪花状。残存率が低く口径は確度の低い推定値。内面に染付が確認できる。1206は口径33.8cm、1207は口径31.1cmを測る。いずれも体部外面に草文、内面に草花文を施す。1175・1184・1187・1195・1200は碗である。1175、1199は体部が直線的に立ち上がり、端部が軽く外反する器形、1184は体部が直線的に伸びる器形、1200はやや内湾気味に体部が伸びる器形である。
- #### H. 京・信楽（1209～1247、第140～141図、写真図版158・159）
- 1209～1247は京・信楽系で、そのほとんどが①信楽の壺（1209・1210）等の貯蔵具（1）、②京焼系の鉢・碗・皿等（2～4）、③18世紀以降の信楽の灯明皿や京・信楽系の碗・茶瓶等（5～7）、の3系統に大別できる。
1. 壺（1209）：口縁は内側に強く内湾し、口縁は外側に開き受け口状を呈する。胎土は硬質で白色を呈し、半磁器（ガラス質）化している。
 2. 鉢（1217）：平面6弁の花状を呈し、口縁は輪花状である。高台は削り出し高台で、体部はやや内湾して立ち上がる。灰釉を内面上半～体部全般に施す。体部外面下部に草花文を描く。
 3. 碗（1212・1218～1220・1227・1229～1242）：口縁部が外反する小碗（1212）、内湾気味に立ち上がる体部が浅いもの（1219・1220・1232・1241）、体部が底部境で強く屈曲し直線的に体部が立ち上がる深身の碗で幅広の高台を持つもの（1229・1230）、体部緩やかに立ち上がり小さい高台を持つもの（1234・1239）、腰部が膨らみ、体部が内湾気味に立ち上がり口縁を丸く納めるもの（1235・1240）がある。1218の内底面、1230の体部外面には樓閣山水文を、1219・1241は施釉後に植物文が描かれる。
 4. 皿（1213、1243）：1213は皿の底部で、外底面に清水の印が刻まれる。1243は平面6～8角形を呈する可能性が高い。
 5. 灯明皿・灯明受皿（1214・1216・1221～1223・1226・1228・1228・1245～1247）：ほとんどのものが口径10～11cmを測る。受部があるもの（1214、1222、1245）、片口が確認できるもの（1221）があり、両者が確認できるもの（1216、1223、1224、1246）がある。1214、1222の内面には油煙痕が付着する。底部～体部下半の一部までヘラケゼリを施し全体に薄く仕上げる。体部は口縁に向

かつて直線的に伸びるものと、やや内湾して立ち上がるものがある。内面全体～体部上半には透明釉を施す。1245のみ受部が口縁より高い。

6. 茶瓶（1225）：外底面の中心を持ち上げ、外周部を高台状にする。肩部に半環状の把手を持つ。
7. 鉢（1244）：口縁で強く外側に折り返し、端部を方形に仕上げる。灰釉を全面に施す。

1. 唐津（1248～1364・1437、第141～149図、写真図版159・160・167）

1248～1364・1437は唐津で、種類として唐津、刷毛目唐津（三島唐津・二彩唐津含む）、京焼風唐津・呉器手碗、半磁器の4種に分けられる。2-SD481、SK202、SK1000、回地、4-SX40等からまとまって出土した。器種は碗、皿、壺、瓶、鉢・擂鉢が出土した。肥前編年のI～V期の枠組の中で検討し、編年の時期区分は、I期：1580～1600年代、II期：1600～1650年代、III期：1650～1690年代、IV期：1690～1780年代、V期：1780～1860年代とする。

1. 唐津：皿、中・大皿、碗、鉢、壺、甕、瓶（徳利）、擂鉢などがある。
 - a. 皿（1248・1251・1252・1265・1268・1280～1282・1294・1295・1311・1338・1342、中～大皿：1250・1253・1258・1275・1297・1312・1317）：肥前編年I～II期の皿として、1251・1252・1266・1268・1280～1282・1294・1295がある。高台が残るものはいずれも削り出し高台で、体部は内湾気味に立ち上がるものが主体を成す。1251は折縁皿か。1297は器高の低い平皿で、肥前編年II期のみみられる特有の皿と考えられる。内面に鉄絵（植物文）を施す。
 - b. 碗（1249・1264・1271～1274・1279・1285・1291・1292・1305・1307～1309・1314・1324・1326・1327・1332・1335・1363）：高台から口縁部にかけて丸く緩やかに湾曲して立ち上がる丸碗（1249・1264・1272・1279・1314・1324・1326・1332・1335）、体部が屈曲し口縁部が直線的に立ち上がるもの（1271）、体部が直線的に立ち上がるもの（1273）、体部がそのまま広がるもの（1291・1292）、天目茶碗（1285）、筒型碗（1305・1307～1309）、小碗（1363）がある。
 - c. 鉢（1247・1256・1258～1263・1286・1293・1337・1349）：1247・1258・1260・1262・1349は体部が緩やかに立ちあがるもの。1247は口縁端部が強く外方に屈曲する。1258は口縁が輪花である。1262は口縁が外方に屈曲して伸びる。1349は口縁が内側に緩く屈曲する。1256は体部が緩やかな弧を描きながらほぼ真上に立ち上がる。口縁が強く外反し端部は短く納める。1259は口縁を折り2重にし端部は内湾気味に仕上げ、外面には面を取る。1260は口縁を内側に、端部は外側に屈曲させ丸く納める。1286は粗製の鉢で、端部は軽く外側に屈曲させ、そのまま納める。1293は体部が2段階に膨らみ、口縁は丸く納める。蔓灰釉を施す。
 - d. 壺（1254・1255・1257・1278・1344・1346）：1257は胎土褐色の体部外面に蔓灰釉を施すもので、1344は胎土目期のものの可能性が高い。
 - e. 擂鉢（1286・1300・1301・1359～1361）：口縁が軽く屈曲するもの（1286）、強く屈曲して斜め内側上方に受部状の耳を持つもの（1300）、口縁端部外側に小さい耳を持つもの（1301・1359～1361）がある。
 - f. その他の器種：1269（香炉）、1277（仏飯器）、1283（柄杓）、1284（甕）、1287（火入れ）、1288・1362・1437（水滴）、1313（香炉用火入れか）、1316・1340・1341・1347（瓶／徳利）、1339（蟹だらい）、1343（土瓶）、1345（椀蓋）、1348・1350（植木鉢）などがある。
2. 刷毛目唐津（碗：1267・1303、皿：1306、大鉢：1266・1299・1304・1351～1358）：1356は三島唐津、1357は古武雄唐津と考えられる。1351～1357は口縁を外側に強く屈曲し、端部を上方に再屈曲させ丸く納める。白地に刷毛工具で内面全体に直線・波状文を施すもので、肥前編年IV期で、17世紀末～18世紀前半を中心とする。
3. 京焼風唐津・呉器手碗（碗：1249・1289・1290・1302・1310・1325・1328～1331・1333・1334・1336、皿：1315）：
いざれも肥前編年III期、17世紀後半に成立したものである。京焼風唐津は京焼の影響下で成立

したものである。腰部が丸く、体部がそのまま緩やかに立ち上がる丸碗と器高の低い平碗がある。黄色系の釉、透明釉を施す。施釉後に絵付けを行うもの（1302）もみられる。京焼風唐津（1249・1289・1302・1310・1330・1333・1336）は高台が断面方形で低いもの、呉器手碗（1290・1328・1331・1334）は撥形の高い高台を持つものが多い。1334は体部外面に透明釉施釉後、緑釉を流し掛けして文様とする肥前編年IV期のものである。

4. 半磁器（碗：1318～1323）：胎土が灰黒色を呈し、その上に厚く釉を施し、体部外面に植物の染付を描く。肥前編年IV期～V期で、18世紀中頃から後半のものである。

J. 伊万里・肥前系（1365～1436・1438～1544、第150～161図、写真図版164～171）

1365～1436・1438～1544・1550は伊万里・肥前系である。肥前で生産された近世以降の磁器（染付・青磁・白磁）を、伊万里・肥前系として一括した。伊万里・肥前系に含まれる器種・時期は多種多様であるが、個体数量の90%以上が碗、皿、鉢である。このほかの器種として蓋、火入れ、香炉、壺、そば猪口、瓶類、小杯、仏飯器、紅皿、水滴・合子（蓋）が出土した。なお色絵・波佐見については、分けて記載する。

1. 碗（1367～1371・1376・1380・1383・1389・1394～1403・1407・1408・1413・1416～1418・1428・1429・1433・1438・1439・1445・1453～1456・1459・1470～1478・1481・1483・1485～1492・1497・1522）：1368・1389・1488・1497は筒状碗である。1488は見込みに五弁花文を施す。1370は磁器天目碗で17世紀前半のものである。1408は所謂くらわんか碗で、外面にはコンニャク印判で絵付けを行う。18世紀のもの。1428の外底面には朱書が残る。1470は外面に亀甲文、1471は格子文がみられる。1454・1489・1490は18世紀後半の広東碗で、1454は輪花である。1376・1380・1491・1492は18世紀以降の小碗である。
2. 蓋（1393・1414・1415・1425・1441・1464・1465・1530・1531・1533～1536・1538）：1393・1415・1425・1441・1530～1535は碗口縁端部と対になる受部を持つ蓋である。1393・1415・1530・1531・1533は鈿が熨斗形を貼り付けたもの、1414・1464・1465・1536は高台形のものである。1441は型成形で、紅皿の蓋の可能性が高い。1538は合子の蓋である。
3. 皿（1365・1373～1375・1377～1379・1381・1385・1386・1390・1391・1404・1408～1412・1422～1424・1427・1435・1440・1442～1444・1446～1449・1457・1458・1460～1463・1482・1500～1521・1524・1525～1528）：1373～1375・1377～1379・1385・1386・1390・1435・1448・1449・1458・1461・1516・1520は輪花皿、1526は菊皿である。1386・1390・1449・1458・1520・1521は蛇の目型高台を持つ18世紀以降のものである。1404・1409～1411・1423・1431・1460・1527は手塙皿である。1404は口縁が輪花である。1409～1411は平面隅丸四角形で、1411は口縁が輪花状である。1423・1460は平面菱形で、1423は見込みに鳥を立体的に刻む。1527は平面が角を落とした方形で、見込みは型紙で染付、口縁に口紅を施す。銘・漆継痕がみられる。1422・1427・1446・1482は紅皿、1391・1499～1507・1539は輪花紅皿である。1427は型押成形で形状が菊花を呈する。1463は精製品で、内面に植物文を、外底面には銘がある。1374・1375・1377・1379・1385・1409～1411・1440・1463・1514・1524・1527は口縁端部に口紅を施す。
4. 鉢（1366・1382・1384・1387・1388・1537）：1366は大型の鉢で内外面に染付を施す。1382・1384は口縁を強く外側に屈曲させ、内側上方に取った面に染付を施す。1382は体部外面に唐草文の染付、1384は内底面に染付を施す。1387・1537は蛇の目型高台を持つ。1387は見込みに松の染付を施す。
5. その他の器種：蟹だらい（1372）、仏飯器（1392・1426）、瓶（1406・1419・1452）、小瓶（1466・1498）、猪口（1421・1430・1450・1493～1496）、水滴（1434）、香炉（1529）、把手付容器（1540）がある。

6. 色絵（紅皿：1420・1499・1500・1503、蓋：1451・1532、皿：1462、碗：1469・1479・1480・1484・1539）：1420・1499・1500・1503は紅皿である。1451・1532は蓋で、鉢が熨斗形を貼り付けたもの。1451の内側は蛇の目釉剥ぎをし、染付は外面外周部に呉須で雷文、内側に赤絵で草花を描く。1469・1479・1480・1484は碗で、体部外面に赤絵で草花文・風景画を描く。
7. 波佐見（皿：1405、青磁皿：1432・1467・1468・1541～1543、碗：1383・1456、香炉：1544）：1405は染付皿である。見込み蛇の目釉剥ぎで、体部内面に唐草文を施す。後述する青磁皿と器形その他の特徴がすべて共通しており、同時期に生産されたものと考えられる。1432・1467・1468・1541～1543はいずれも青磁皿で、端反皿・丸皿がある。器高2.1cm以下の低いものが中心で、いずれも見込み蛇の目釉剥ぎ、体部下半部無釉、輪高台である。肥前編年IV期で17世紀後半のものと、V期以降で18世紀中葉～後半に焼かれた粗製品がある。1544は筒形の香炉である。口縁が内側へ直角に屈曲し短く延びる。時期は肥前編年IV期、17世紀である。

K. 近世陶器（1545～1595、第162～166図、写真図版171～173）

1545～1595は主に近世の土器陶磁器である。1545は萬古焼の急須か。器厚が約1mmと非常に薄く、外面には鉄釉を施す。1546は推定瓦器の鉢である。1548は越中丸山の茶碗である。

1549、1552、1558～1561、1563、1567、1589～1593は擂鉢である。胎土が褐色系のものと黄／灰色系のものに大別でき、いずれも鉄釉を施すものが大半を占める。口径30cm前後のものが多い。1550は肥前の油壺で、色絵で菊花と唐草文を施す。時期は17世紀後半の可能性が高い。1551は推定唐津の鉢である。1553は赤絵の蓋で、内外外周部に呉須で雷文を、外面に呉須の枠の中に建物と植物文を描く。1554、1555、1570、1582、1583は蓋である。1554は陶胎染付の蓋で、摘みは粘土紐による手づくね成形である。1556、1584、1585は壺である。1557は白磁の碗である。染付で、国内産の可能性が高い。1566は鉢である。1571、1575～1578は越中丸山か小杉の碗で、外面にピラ掛けを施す。1572は茶道具と考えられる注口付きの碗である。外底面見込み裏側に墨書がみられる。1573は小碗、1547は水滴である。1580、1581の器形は小壺、用途は茶入れである。1564、1565、1574、1586～1588は甕である。1574は口径約61cmを測る大甕である。1594、1595は雪平鍋の蓋。外面に白釉によるピラ掛け、キザミ又はハケメによる装飾がある。1579は磁器の輪か鉢である。体部外面に呉須で風景画を描く。

L. 瓦器・火鉢・土師質土器その他（1599～1619、第167～169図、写真図版174）

1596、1600は中世の奈良火鉢で、いずれも体部は上部が内湾気味に立ち上がる。肥厚する口縁の端部は真上に面を取る。口縁外周に2条の細い隆帯を巡らす。1596は底部に三足を持つ。1597は素焼きの火入れか。暖房具の可能性がある。底部回転ヘラ切りである。1598は弥生土器の甕である。1599は擂鉢。形態は越前に類似する。瀬戸美濃の焼擂鉢の可能性がある。1602は壺か。口縁外面に三つ巴のスタンプ文を巡らす。1603・1604は素焼きの鉢。1603は深みのある鉢で、口縁内外面には炭化物が多量に付着する。1606～1608は火鉢、1609は火鉢の可能性のあるものである。1606、1608は素焼きで口縁がややすぼまる。体部内面に煤が付着し、全面被熱する。1607は口縁端部を内側に折り返す。体部外面上部に菊花文を押捺する。口縁・体部の境に沈線を1条巡らし、口縁部には黒漆、体部に赤漆を施す。1610は近代の瓦質土器の蓋、1611は素焼きの焙烙鍋である。

(2) 土製品・土人形（1612～1634、第170～172図、写真図版175）

土製品は、土鍤・陶製人形・土人形関連製品、磚・瓦が出土した。1612は陶製人形である。型成型で、中空、意匠は兵隊と大砲である。1615、1628～1634は土人形である。いずれも型成型で、底面から体部中程まで孔が穿たれる。1628～1634の頭部が欠損している。意匠は1615が狛犬、1631が牛と旅人、その他は着物を着た人である。1627は中心に穿孔と、型押しされた放射状の刻みを持つ円盤状土製品

で、土人形とのセット関係が考えられる。1613・1614は土錘である。1616は軒桟瓦、1617・1618は取鍋、1619・1624・1625は焼塙壺蓋、1620～1622は焼塙壺、1623・1626は磚、1644は不明土製品である1617・1618は取鍋で、自然科学分析（第4章第5節）の結果、1617が青銅製品、1618が銅製品の製作に使用されたと考えられる。1619～1622は16世紀後半、1624・1625は18世紀のものである。

(3) 金属製品 (1635～1642、第172図、写真図版176)

金属製品として、簪、煙管、鍔状金属製品、古錢が出土した。1635・1636は簪である。1635はほぼ完形で、長さ16.55cm、幅1.3cm、厚さ0.25cmを測る。表面に円に囲まれたひし形を5つ刻む。1637は煙管である。1638は寛永通宝（古寛永）、1639は開元通宝、1641は寛永通宝（新寛永）である。1640は刀の鍔か。

(4) 骨角製品 (1642、第172図、写真図版176)

1642は服飾加工用のヘラで、動物の四肢骨製である。大きさは全長9.35cm、幅2.4cm、厚さ0.6cmを測り、先端は軽く反りのある刀状、断面円形の持ち手には孔が穿たれる。

(5) 石製品・石造物・石材 (1643～1693、第173～179図、写真図版176～179)

石製品・石造物・石材は、墓石、硯、砥石、石皿、石鍋、石臼、板碑、五輪塔、無縫塔、宝篋印塔、加工石、石垣石材が出土した。その中で、石臼、五輪塔、板碑、無縫塔、宝篋印塔は中世の石組井戸（3-SE77、4-SE44）、石垣石材は近世の水溜状遺構（4-SX3・4）の石組にそれぞれ転用されて多く出土した。

A. 石製品：1645・1660は砥石で、材質は泥岩である。1646は石皿である。口径17.2cmを測る。1649・1651は硯である。1649の底面には“富山地方裁判所世三年三月十四日区受”と刻まれる。1659は白色の墓石である。1650・1657・1661は石臼、1648・1662・1663は石鍋である。

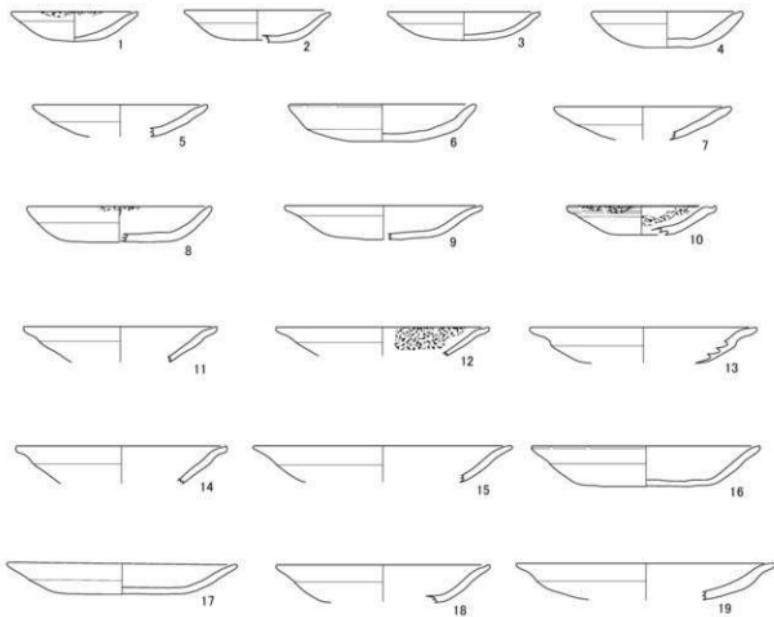
B. 石造物：1643は五輪塔板碑で、正面に五輪塔を刻む。1653・1656・1667～1670は板碑で、1667～1670には主尊種子としての梵字を刻む。1647・1652・1655・1671～1675・1677は五輪塔である。石材の大部分が凝灰岩である。空風輪（1671）・火輪（1655）・水輪（1675・1677）・地輪（1647）がある。1675・1677の側面には水を表す梵字を種子として刻む。1672は仏塔の部材、1673は台座、1674は無縫塔の塔身である。1676は宝篋印塔の笠部で、隅飾りが外傾せず垂直に立つ様式で中世のものである。

C. 石材：1652は両側の中心に窪みを持つ円形の石材である。1664～1666・1688～1691・1693には表面に刻みや調整痕が残る。1678は径約16cm、高さ4.75cmを測る石材で、全面をケズリによる調整を施す。用途は鋳型か。1679～1687は4-SX3・4に使用された石材で、石垣石材の転用材が含まれる。1692の中央にノミ状工具による窪みがみられる。

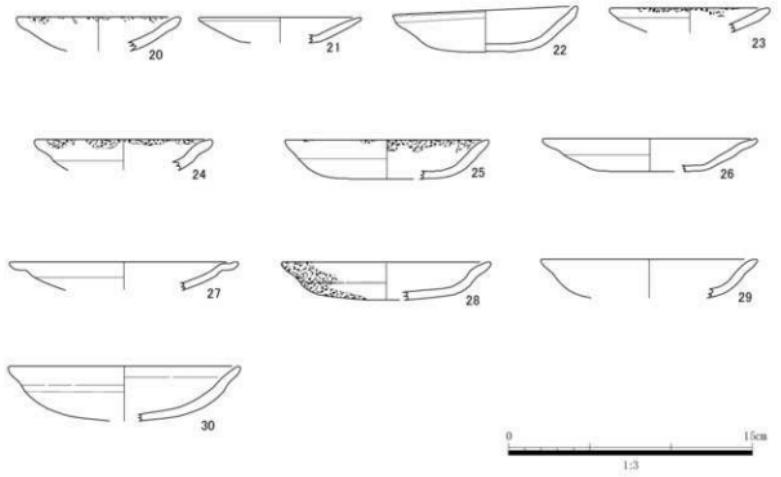
(6) 木製品、井戸枠 (1702～1834、第180～184図、写真図版180)

木製品には漆器椀、箸、下駄、円形板、木札、不明木製品、井戸の水溜に使用された結桶側板がある。1694・1823・1824は漆器椀、1813は椀の蓋である。1696～1700・1814～1821は箸または箸状の棒材である。1695・1811・1812の木札等には墨書を施す。1701～1704・1825・1826は円形板で、1825・1826には焼印がある。1705～1801は結桶側板で、目釘穴やタガの圧痕の残るものも多い。1822は木製容器で、中央に長方形の窪みを持つ。(朝田)

2-SD70



2-SD123



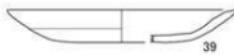
0 15cm
1:3

第88図 遺物実測図版1 土師器 (1~30)

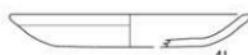
2-SD470



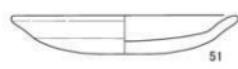
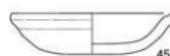
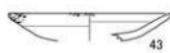
2-SD470



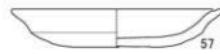
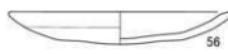
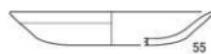
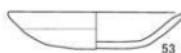
2-SD471



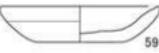
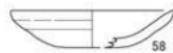
2-SD472



2-SD473

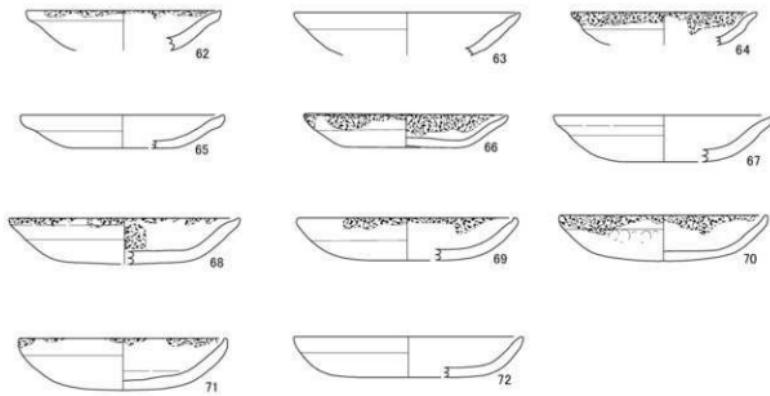


2-SD481

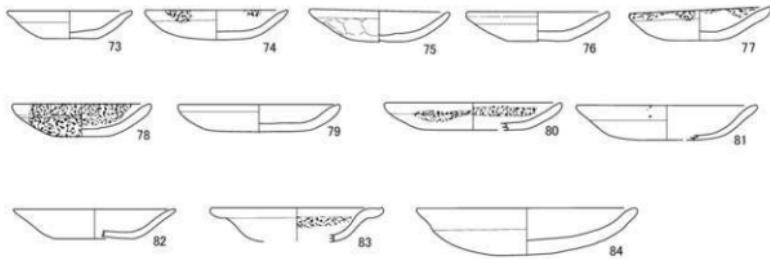


第89図 遺物実測図版 2 土器器 (31~61)

2-SD481



2-SD500



2-SD510



2-SD534



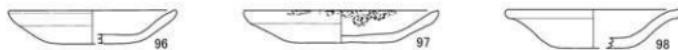
2-SD586



第90図 遺物実測図版3 土師器 (62~95)



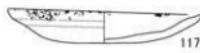
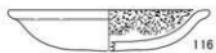
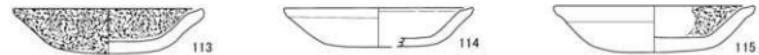
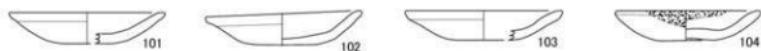
2-SD586



2-SD598



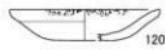
2-SD640



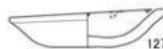
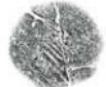
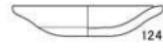
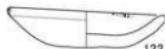
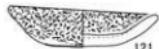
2-SD700



2-SD986



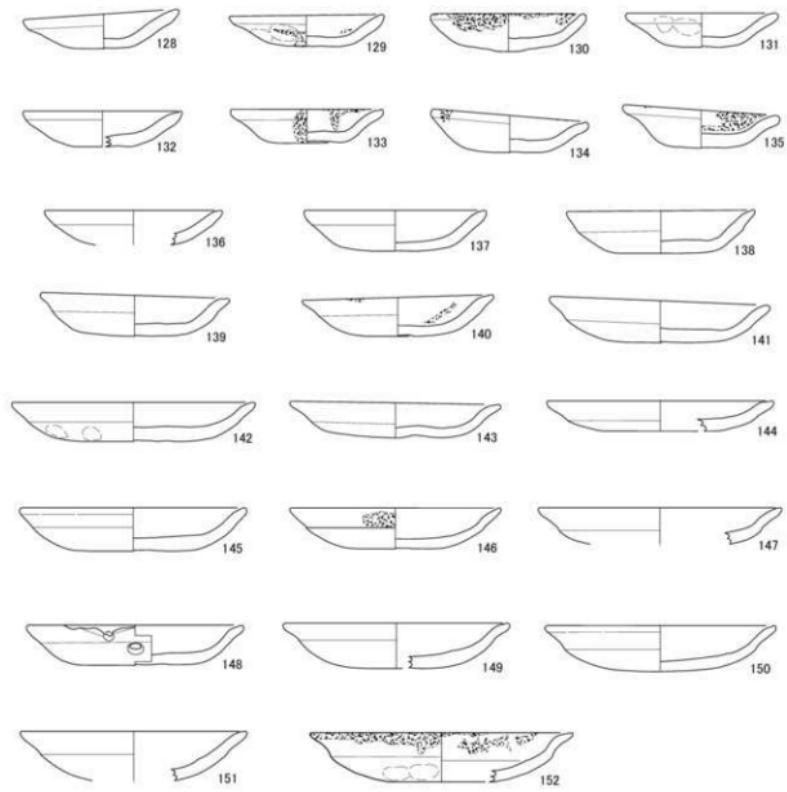
2-SE47



第91図 遺物実測図版4 土器器 (96~127)



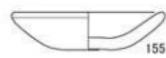
2-SE47



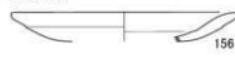
2-SE413



2-SE414



2-SE417



2-SE469



第92図 遺物実測図版 5 土器器 (128~160)

2-SE469



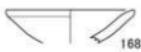
2-SE480



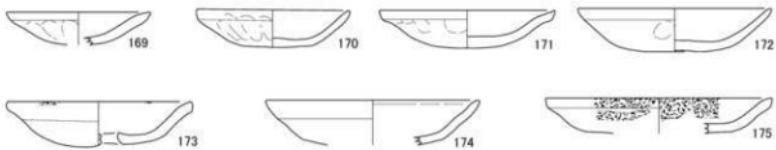
2-SE499



2-SE536



2-SE788



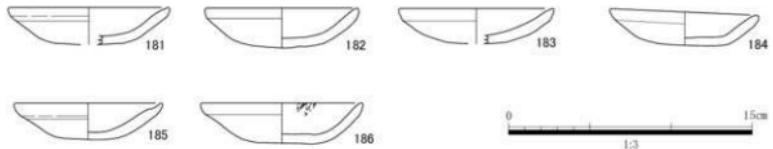
2-SE939



2-SE947



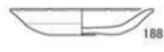
2-SE1175



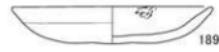
2-SK1



2-SK34



2-SK48

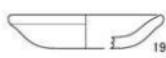


第93図 遺物実測図版 6 土師器 (161~189)

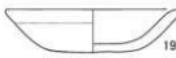
2-SK56



190

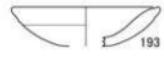


191



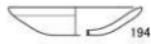
192

2-SK57



193

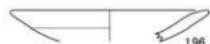
2-SK67



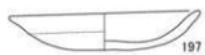
194



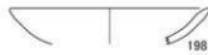
195



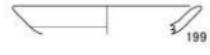
196



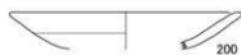
197



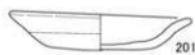
198



199



200



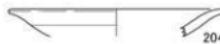
201



202



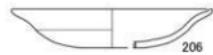
203



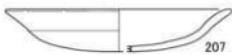
204



205



206



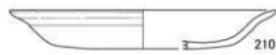
207



208

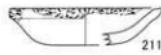


209



210

2-SK68・69



211

2-SK76



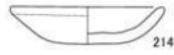
212

2-SK89

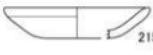


213

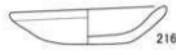
2-SK92



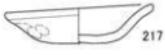
214



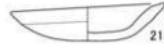
215



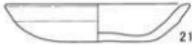
216



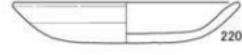
217



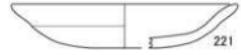
218



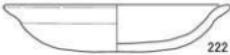
219



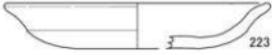
220



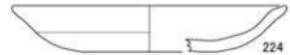
221



222



223



224



第94図 遺物実測図版 7 土器器 (190~224)

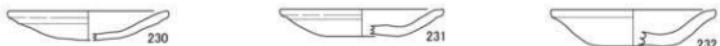
2-SK98



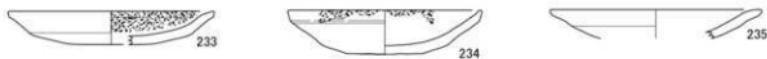
2-SK107



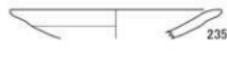
2-SK108



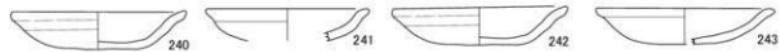
2-SK116・117A



2-SK141



2-SK142



2-SK169



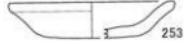
2-SK149



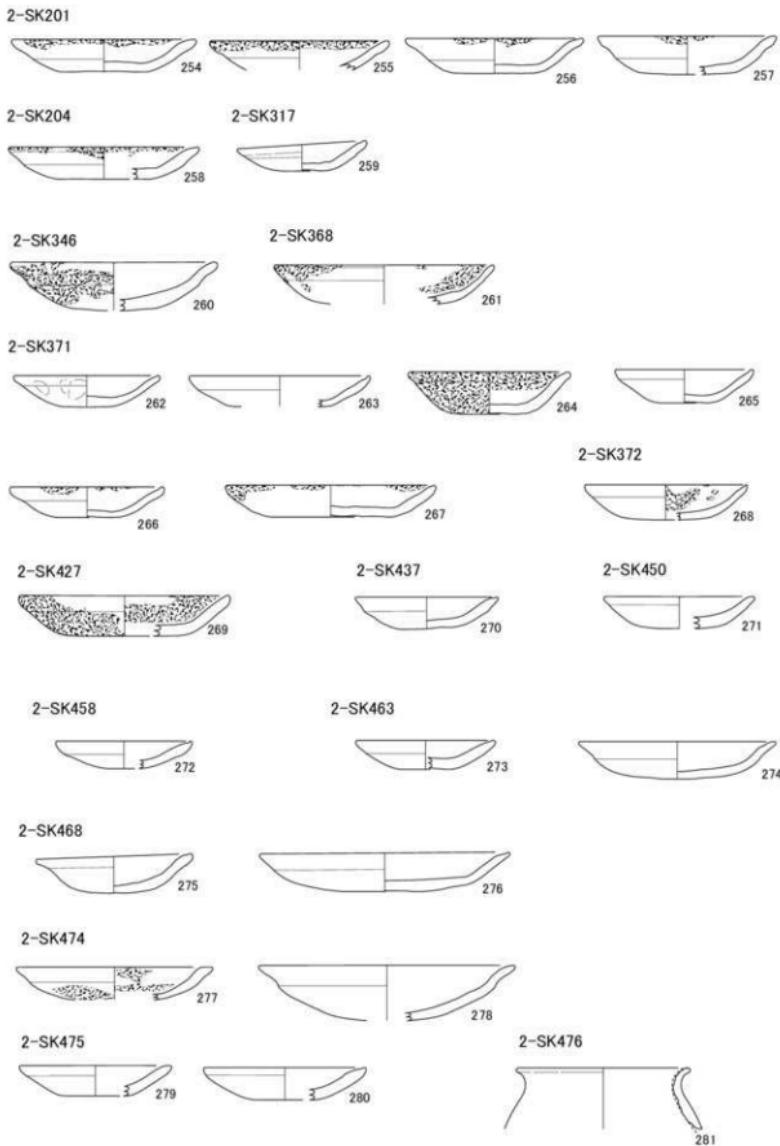
2-SK194



2-SK200



第95図 遺物実測図版 8 土師器 (225~253)

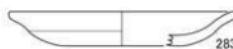


第96図 遺物実測図版 9 土器器 (254~281)

2-SK476

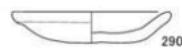


282



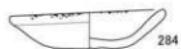
283

2-SK498

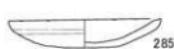


290

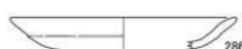
2-SK478



284

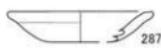


285

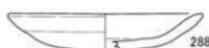


286

2-SK479



287



288



289

2-SK538



291

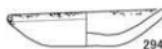


292



293

2-SK539



294



295



296



297



298



299



300



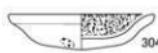
301



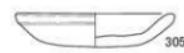
302



303



304



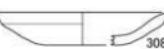
305



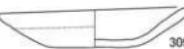
306



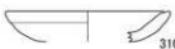
307



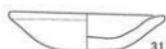
308



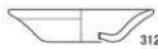
309



310



311



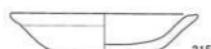
312



313



314

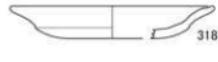
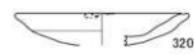
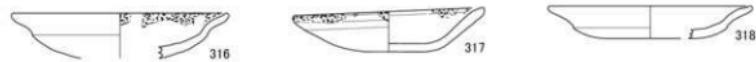


315

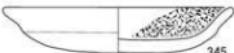
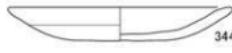
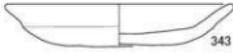
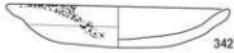
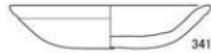
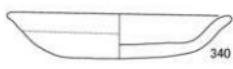
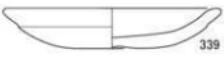
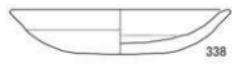
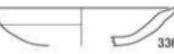
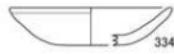
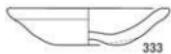
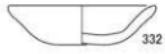
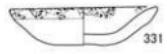
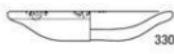
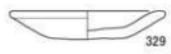
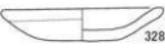
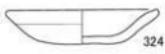


第97図 遺物実測図版10 土師器 (282~315)

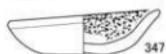
2-SK539



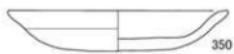
2-SK538・539



2-SK542



2-SK558



第98図 遺物実測図版11 土師器 (316~350)

2-SK583



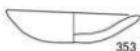
351

2-SK593



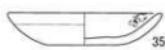
352

2-SK594

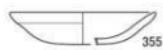


353

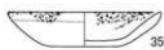
2-SK607



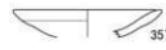
354



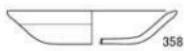
355



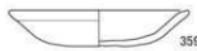
356



357



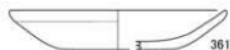
358



359



360



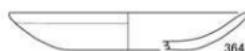
361



362



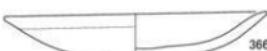
363



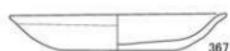
364



365



366

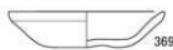


367

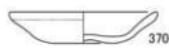


368

2-SK610



369



370

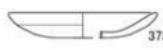


371

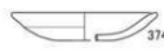
2-SK611



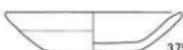
372



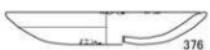
373



374



375

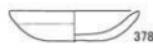


376



377

2-SK619

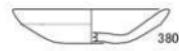


378



379

2-SK625

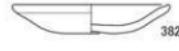


380

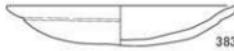


381

2-SK655



382



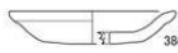
383



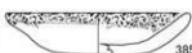
15cm

第99図 遺物実測図版12 土師器 (351~383)

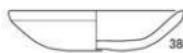
2-SK678



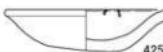
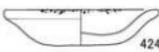
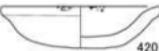
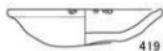
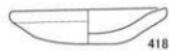
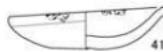
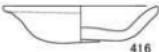
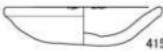
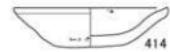
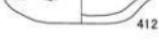
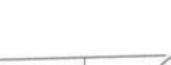
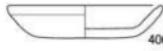
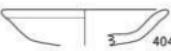
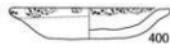
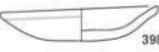
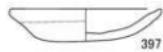
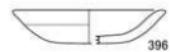
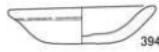
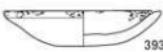
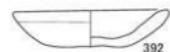
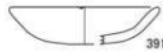
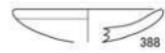
2-SK684



2-SK694

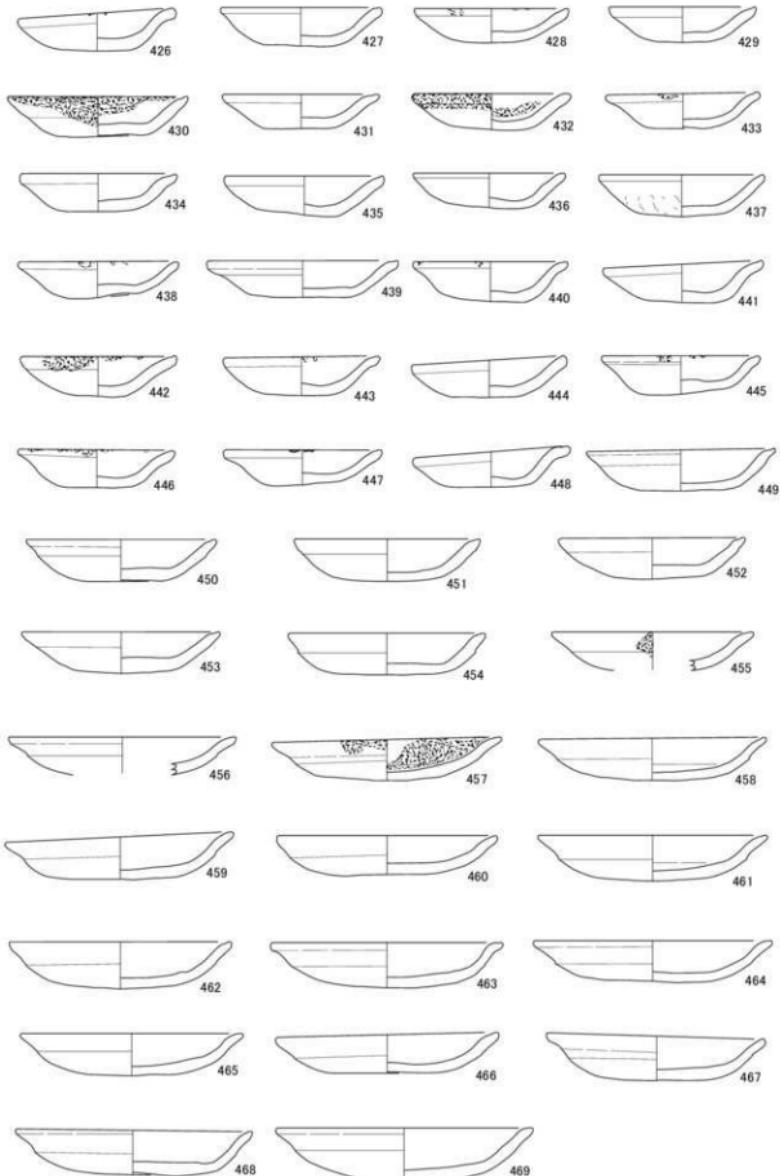


2-SK705



第100図 遺物実測図版13 土師器 (384~425)

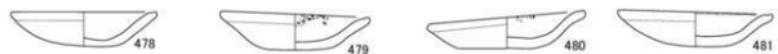
2-SK705



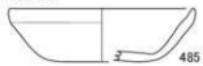
第101図 遺物実測図版14 土師器 (426~469)



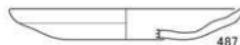
2-SK710



2-SK733



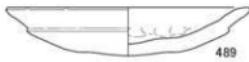
2-SK763



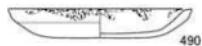
2-SK787



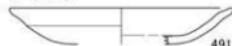
2-SK811



2-SK948



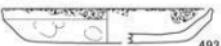
2-SK981



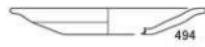
2-SK995



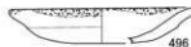
2-SK1000



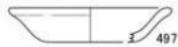
2-SK1004



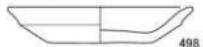
2-SK1054



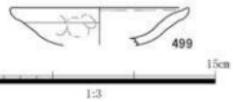
2-SK1066



2-SK1086

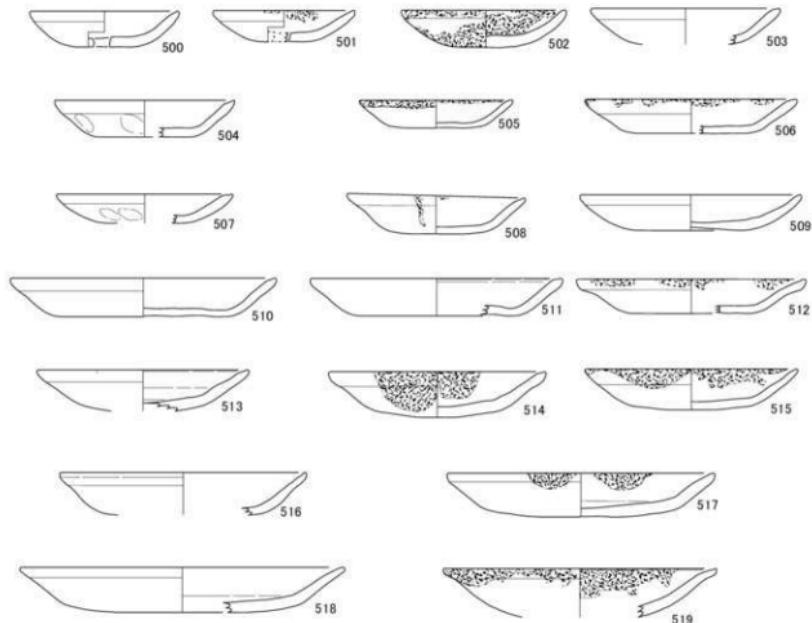


2-SK1099



第102図 遺物実測図版15 土師器 (470~499)

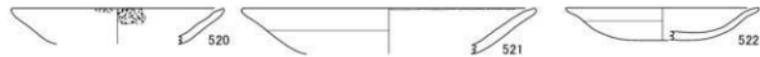
2-SK1123



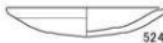
2-SK1128

2-SK1129

2-SK1210

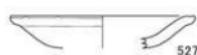
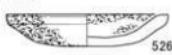
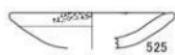


2-SK1248

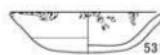
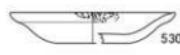
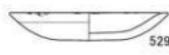


2-SP448

2-SX125

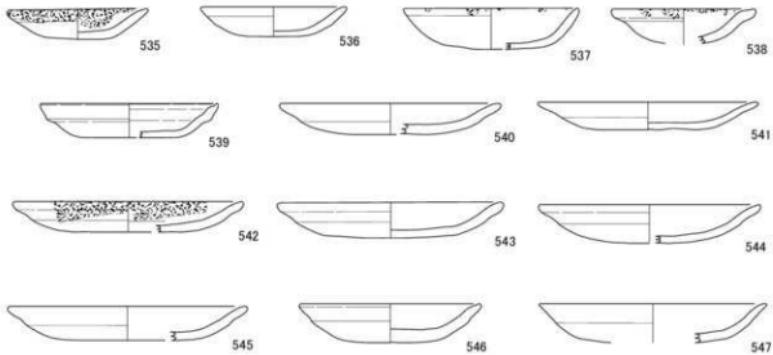


2- 凹地

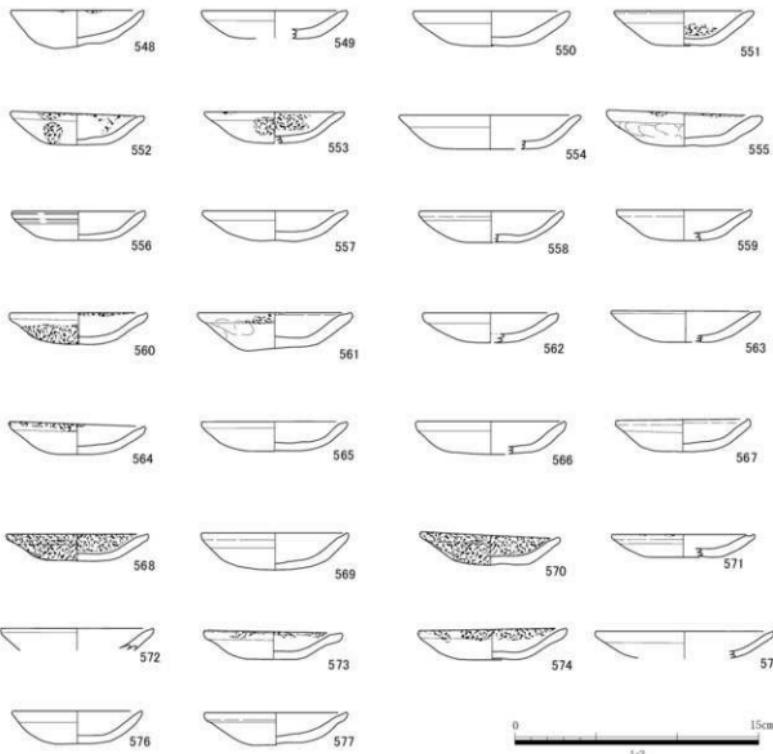


第103図 遺物実測図版16 土師器 (500~534)

3-SD43

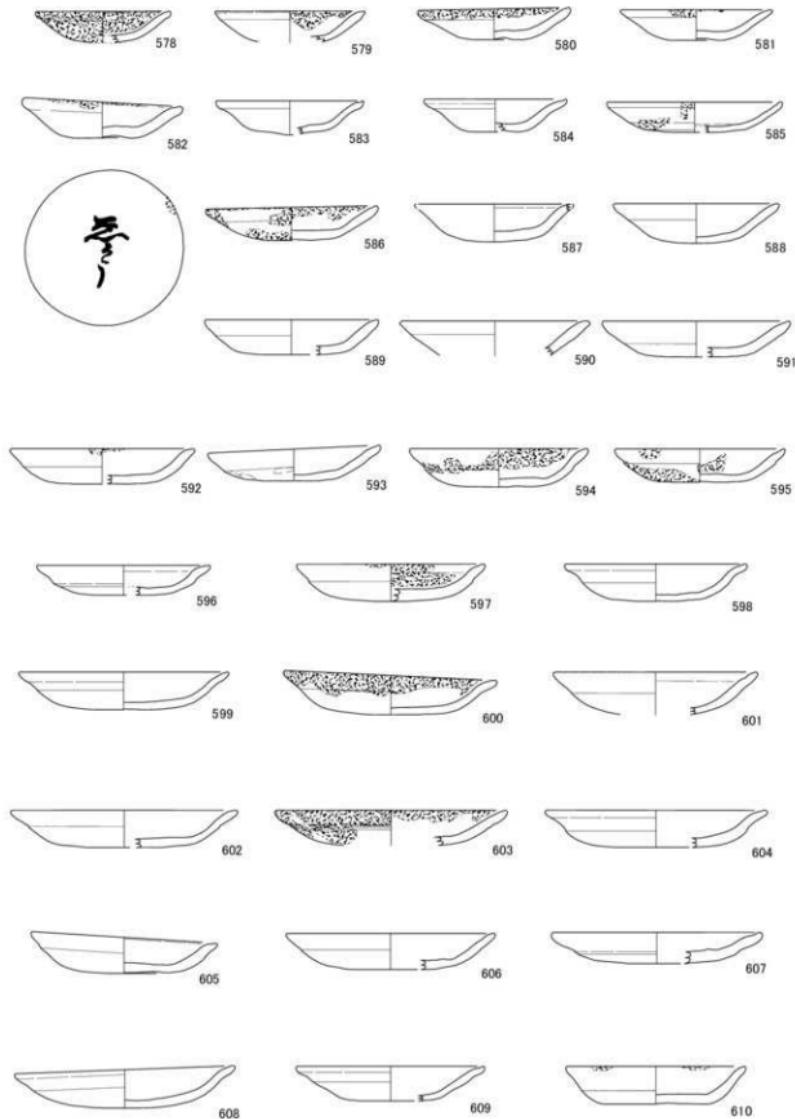


3-SD54



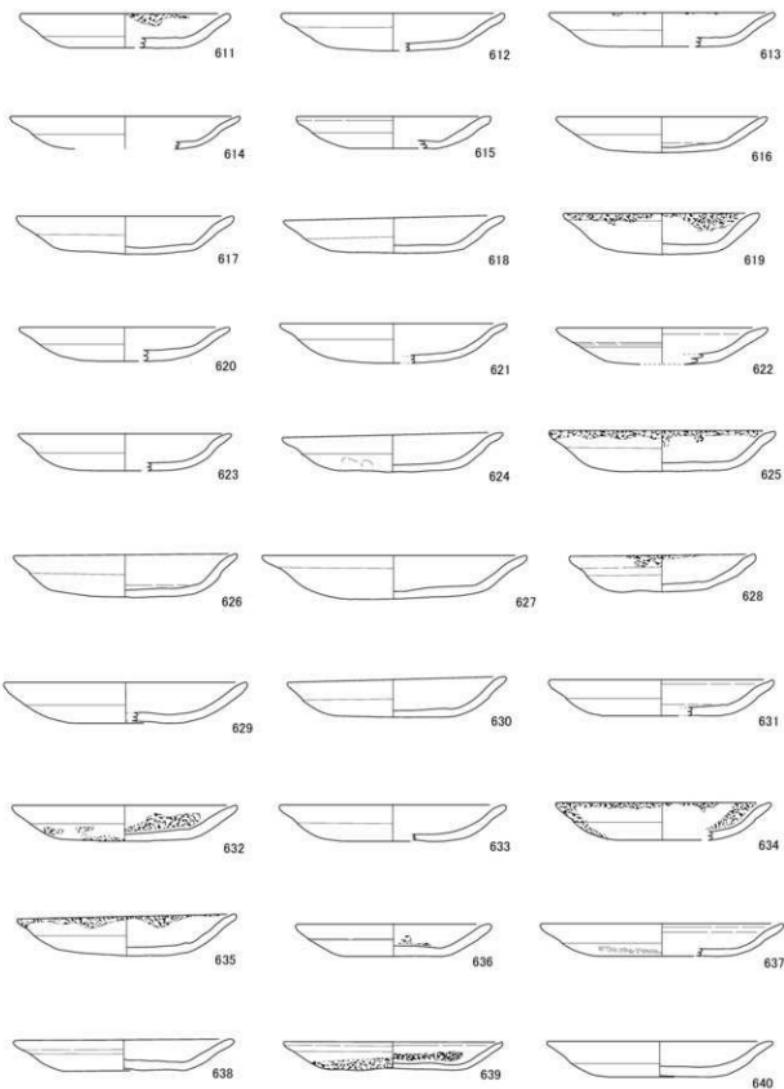
第104図 遺物実測図版17 土師器 (535~577)

3-SD54



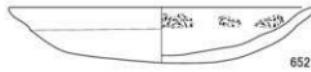
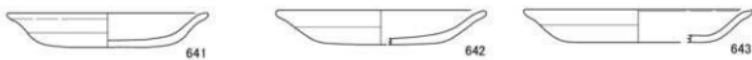
第105図 遺物実測図版18 土師器 (578~610)

3-SD54

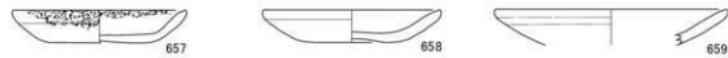


第106図 遺物実測図版19 土師器 (611~640)

3-SD54

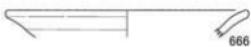


3-SE77

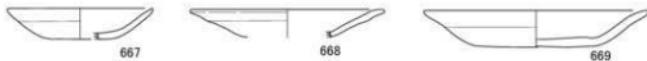


第107図 遺物実測図版20 土師器 (641~662)

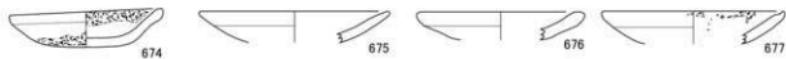
3-SE77



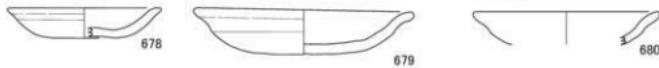
3-SE121



3-SK3



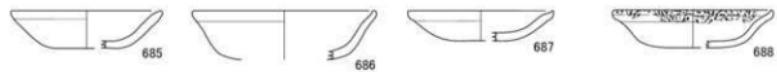
3-SK34



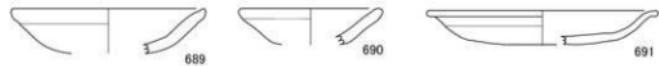
3-SK35



3-SK60

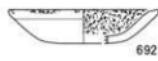


3-SK69

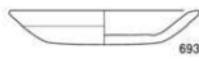


第108図 遺物実測図版21 土師器 (663~691)

3-SK71

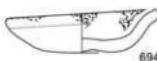


692

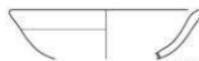


693

3-SK95

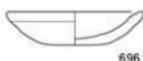


694



695

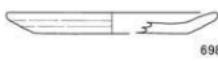
3-SK103



696

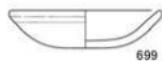


697

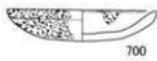


698

3-SK108



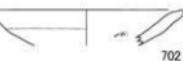
699



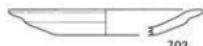
700



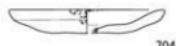
701



702

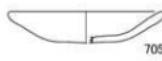


703



704

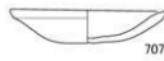
3-SK134



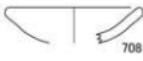
705



706



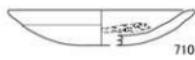
707



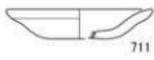
708



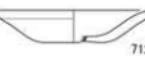
709



710



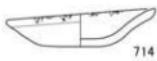
711



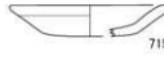
712



713



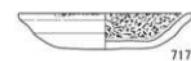
714



715



716



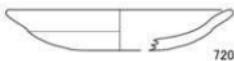
717



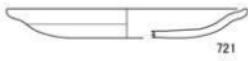
718



719



720



721

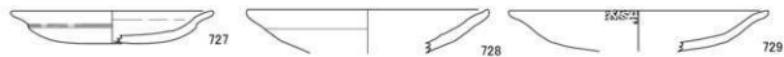


722



第109図 遺物実測図版22 土師器 (692~722)

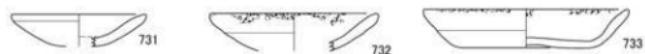
4-SD1



4-SD15



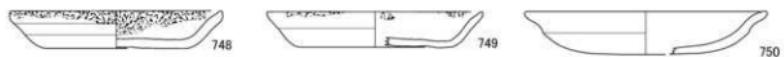
4-SD45



4-SD58

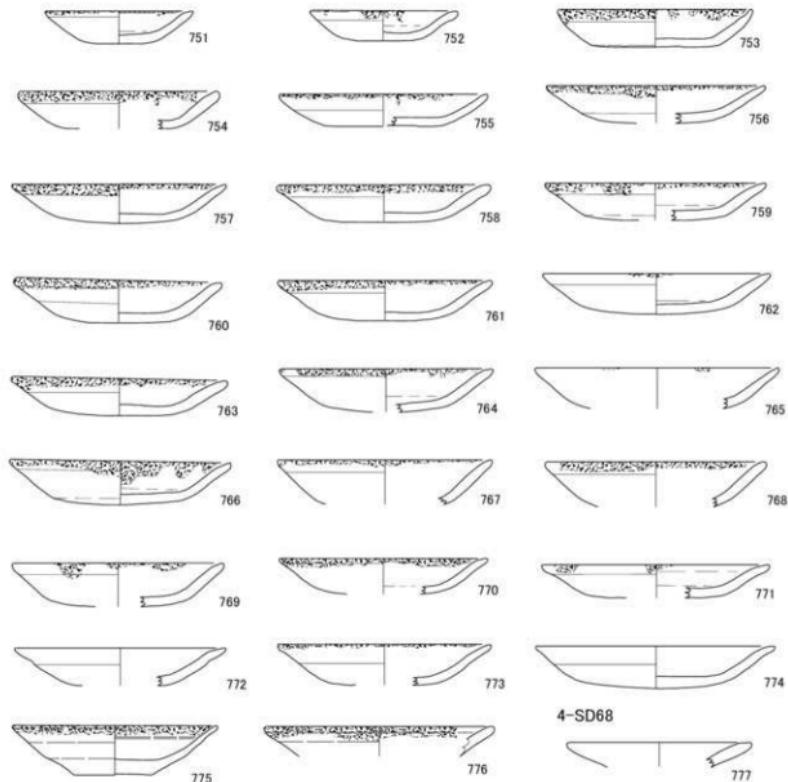


4-SD58



第110図 遺物実測図版23 土師器 (723~750)

4-SD60



4-SD68



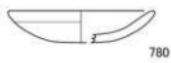
4-SD79



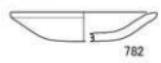
4-SE44



4-SE87



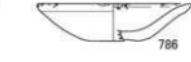
4-SE101



4-SK42



4-SK48



4-SK53

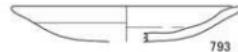
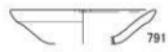


第111図 遺物実測図版24 土師器 (751~789)

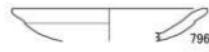
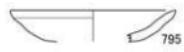
4-SK102



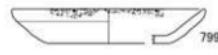
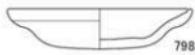
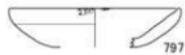
4-SX3



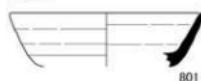
4-SX4



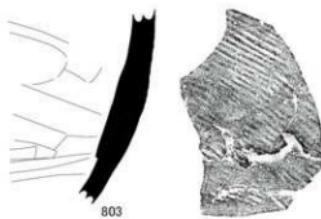
4-SX40



4-SD1

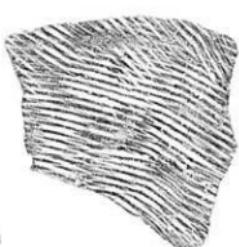


2-SD470



2-SD500

2-SD471



第112図 遺物実測図版25 土師器（790～800）・須恵器（801）・珠洲（802～806）

2-SE414



2-SK371

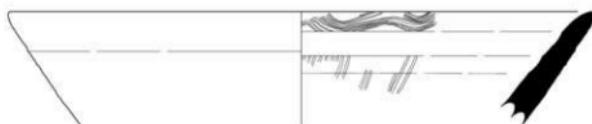


807



808

2-SK462



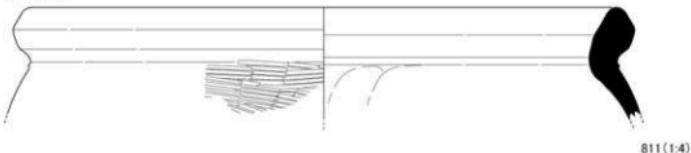
809

2-SK650



810

2-SK785



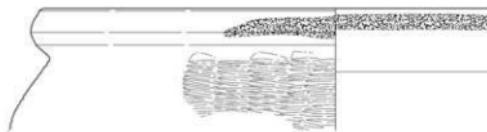
811(1:4)



812(1:4)



2-SK1191



813(1:4)

3-SD54



814

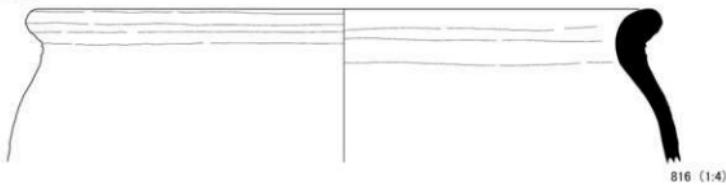
4-SD15



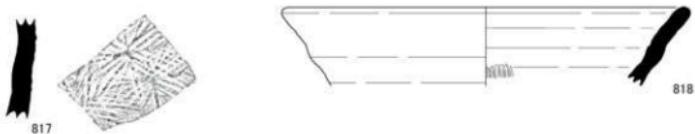
815

第113図 遺物実測図版26 珠洲(807~815)

4-SD58



4-SE44

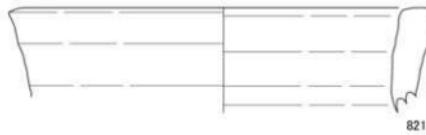


4-SX4

4-SK37



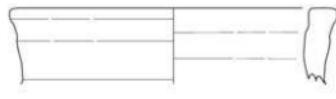
2-SD470



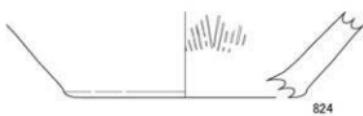
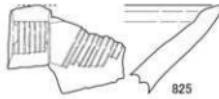
2-SD481



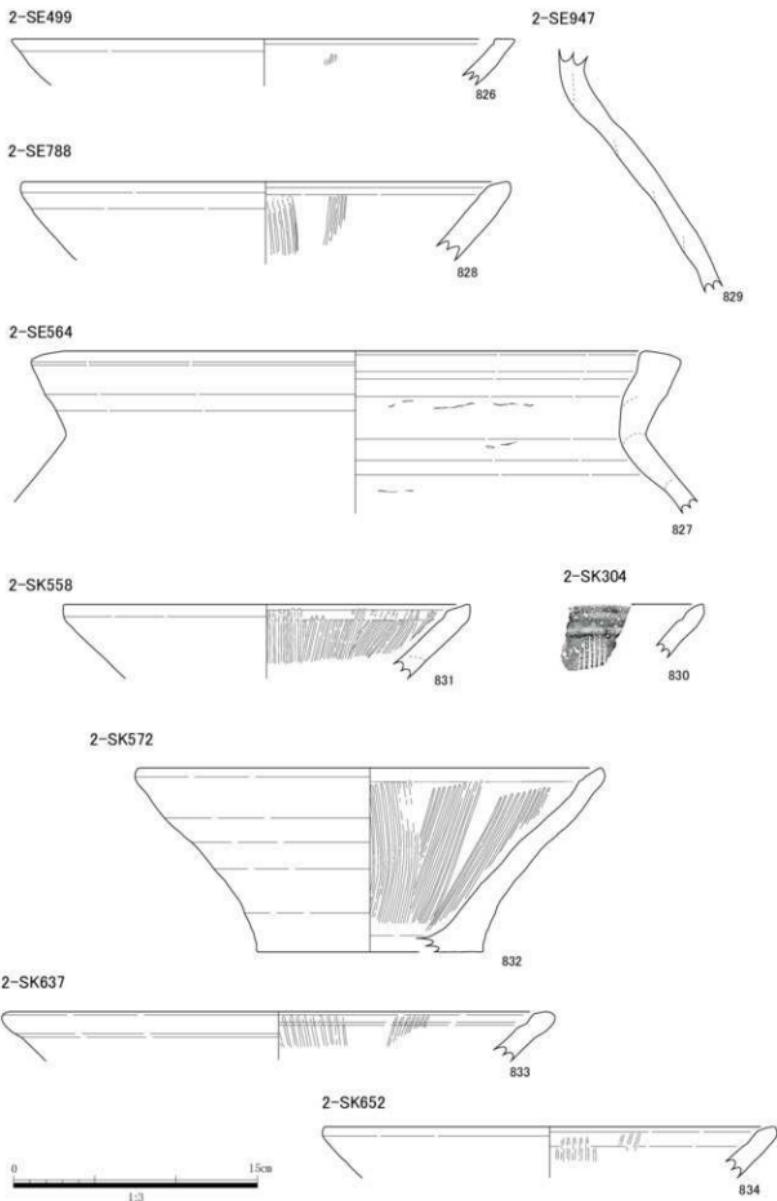
2-SD640



2-SE47

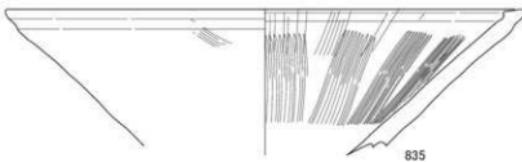


第114図 遺物実測図版27 珠洲(816~820)・越前(821~825)

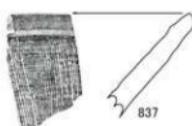


第115図 遺物実測図版28 越前(826~834)

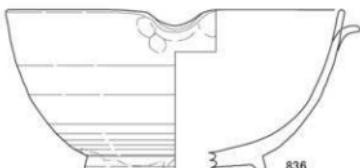
2-SK785



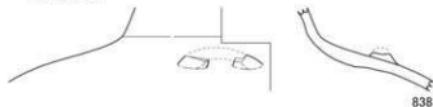
2-SK787



2-SK832



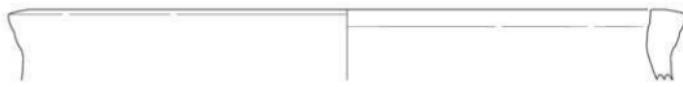
2-SK830



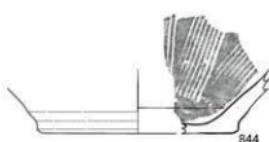
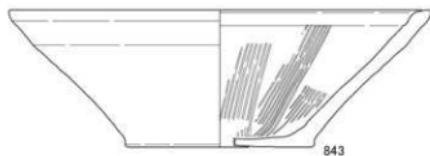
2-SK833



2-SK1000

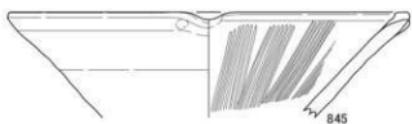


3-SD43



第116図 遺物実測図版29 越前(835・837~844)・瓷器系(836)

3-SD43



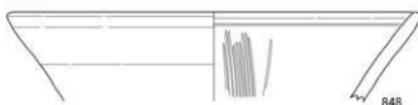
845

3-SD54



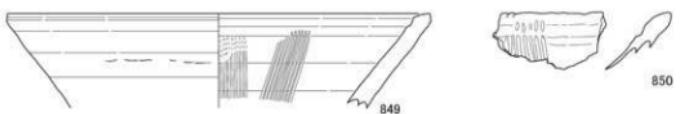
847

3-SK4



848

3-SK108



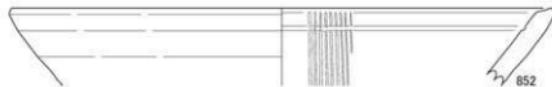
849

4-SD1

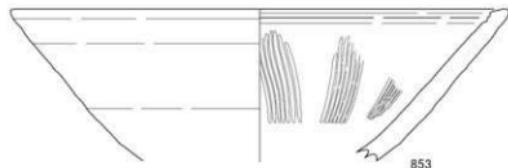


851

854



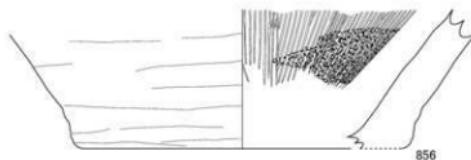
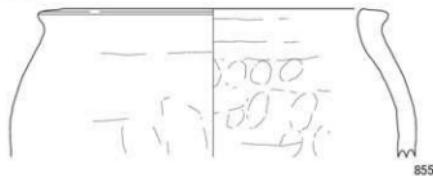
852



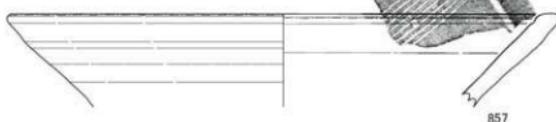
853

第117図 遺物実測図版30 越前(845~850・852・853)・備前(851)

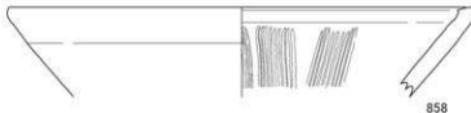
4-SD45



4-SD51



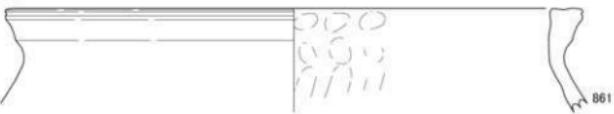
4-SD58



4-SD60

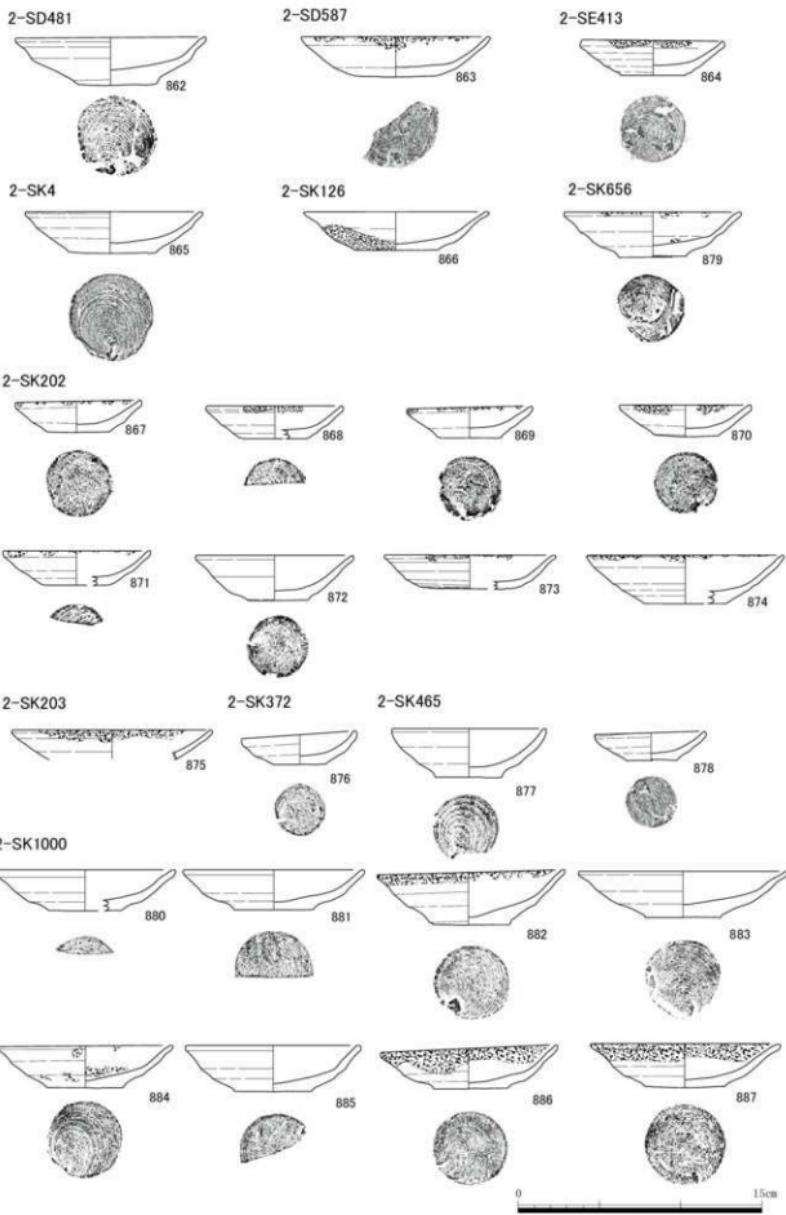


4-SX40



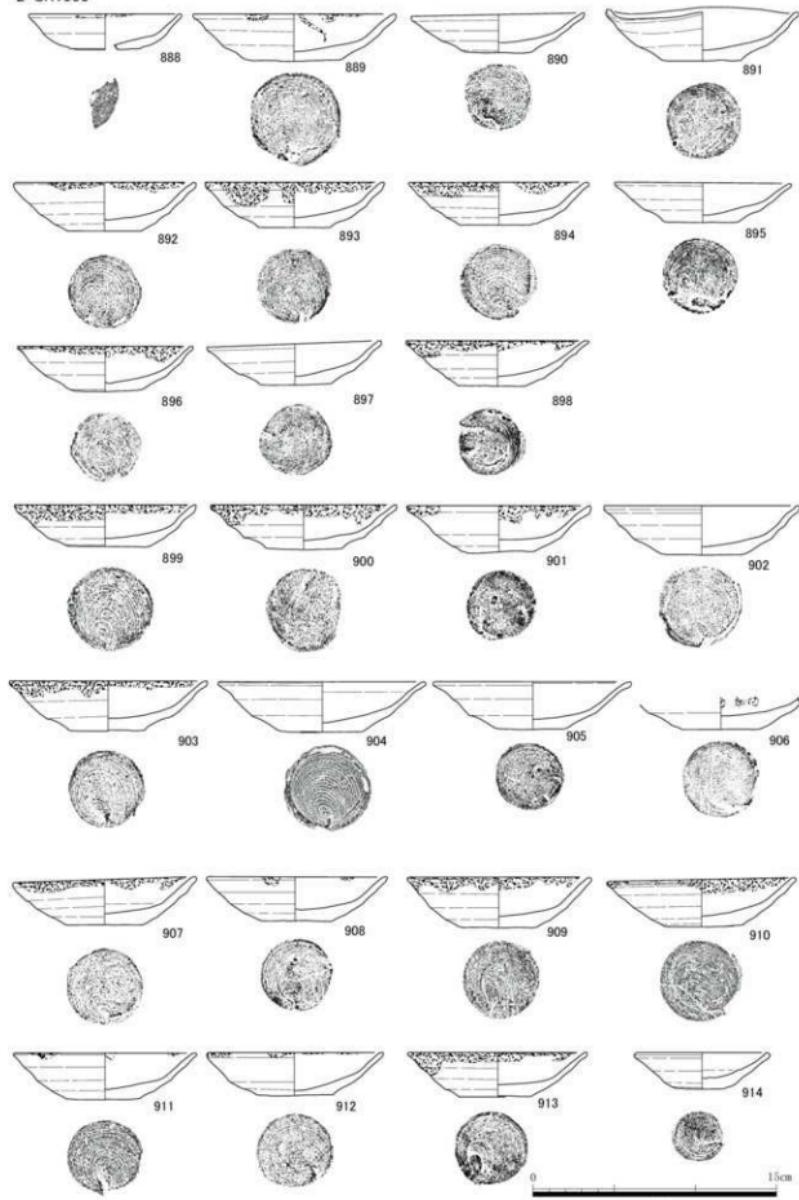
第118図 遺物実測図版31 越前(855~861)





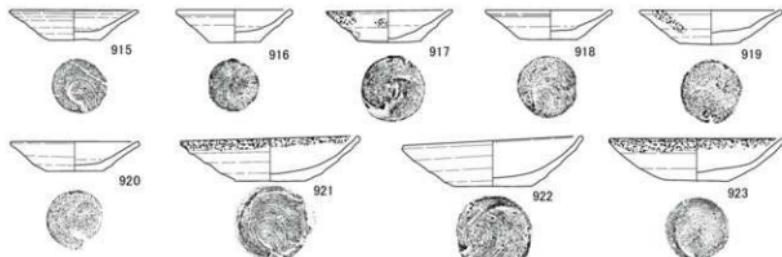
第119図 遺物実測図版32 越中瀬戸（素焼）（862～887）

2-SK1000

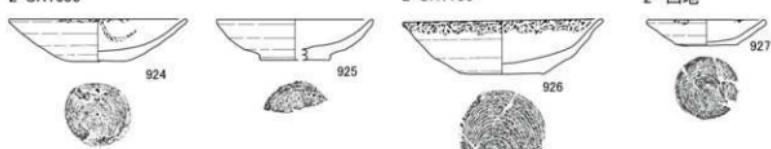


第120図 遺物実測図版33 越中瀬戸（素焼）（888～914）

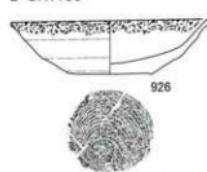
2-SK1000



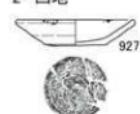
2-SK1000



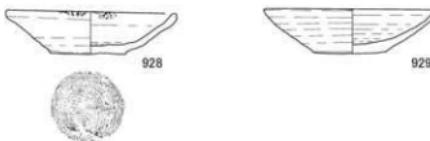
2-SK1169



2- 凹地



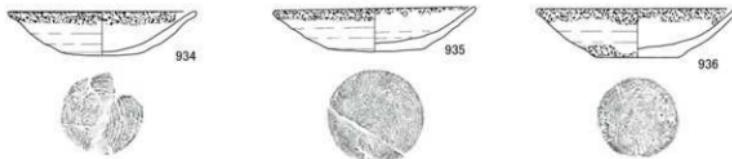
4-SD15



4-SD60



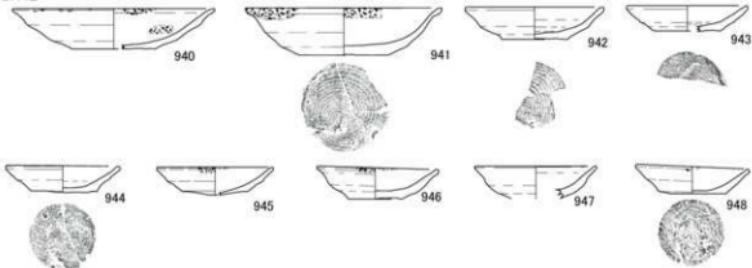
4-SK42



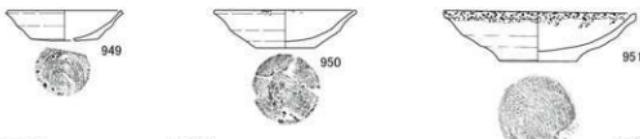
0 1.5cm

第121図 遺物実測図版34 越中瀬戸（素焼）(915~939)

4-SK42



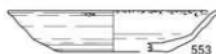
4-SK59



4-SX3



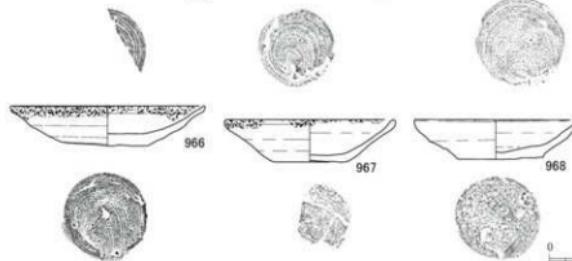
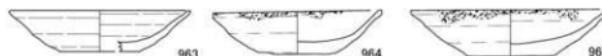
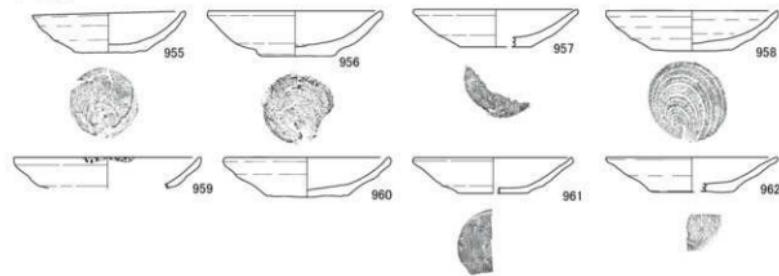
4-SX4



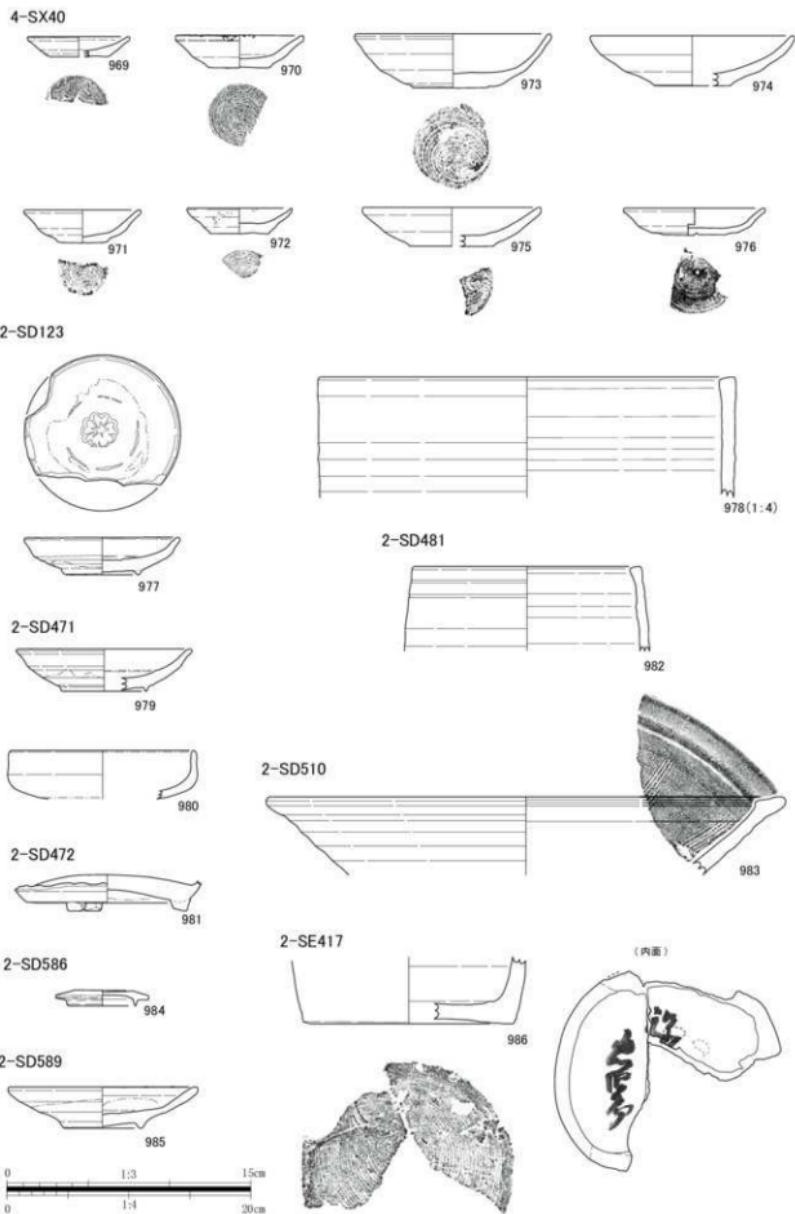
4-SX5



4-SX40

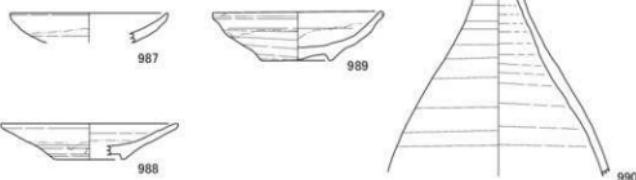


第122図 遺物実測図版35 越中瀬戸（素焼）(940~968)

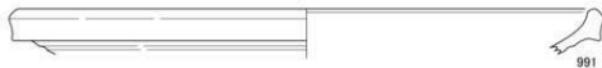


第213図 遺物実測図版36 越中瀬戸（素焼・施釉）（969～986）

2-SE480



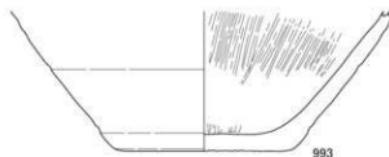
2-SE499



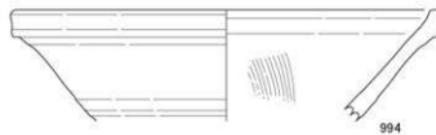
2-SE536



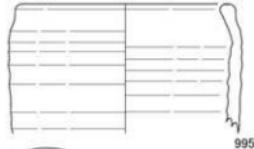
2-SE788



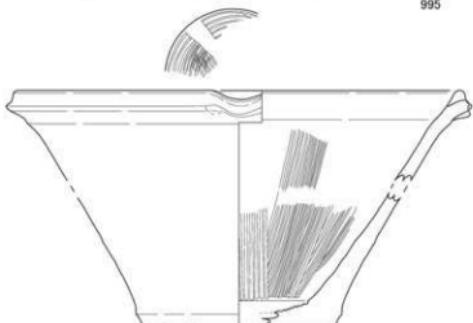
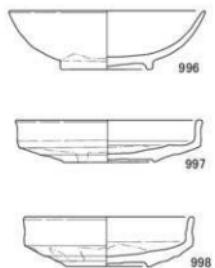
2-SE947



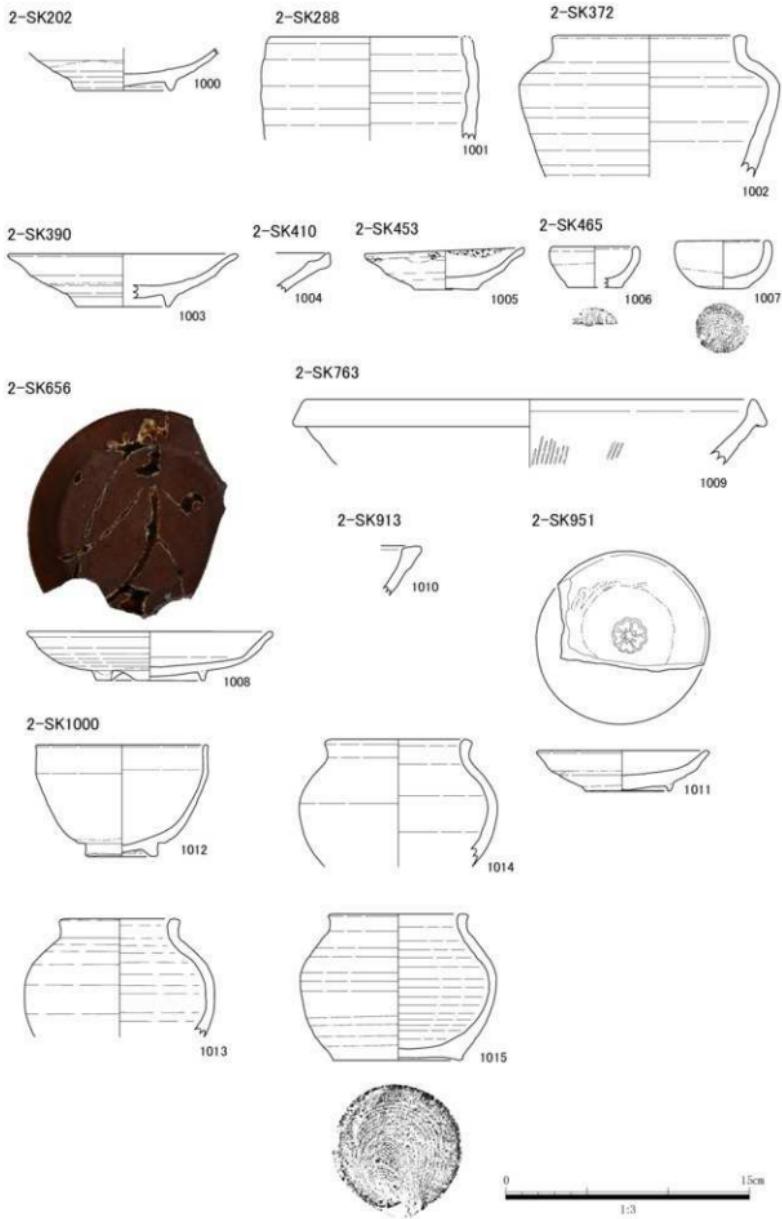
2-SK142



2-SK202

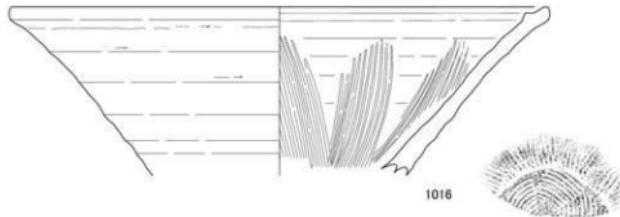


第124図 遺物実測図版37 越中瀬戸（施釉）（987～999）

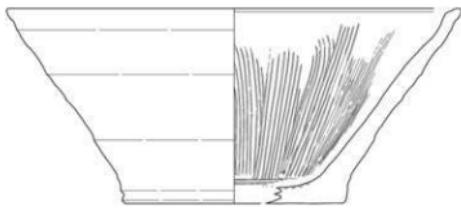


第125図 遺物実測図版38 越中瀬戸（施釉）（1000～1015）

2-SK1000

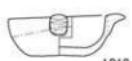


1016



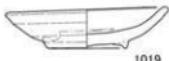
1017

2-SP144



1018

2- 凹地



1019



1020



1021



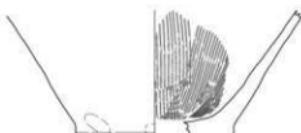
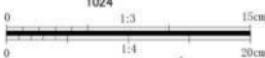
1022



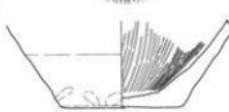
1023



1024



1025(1:4)

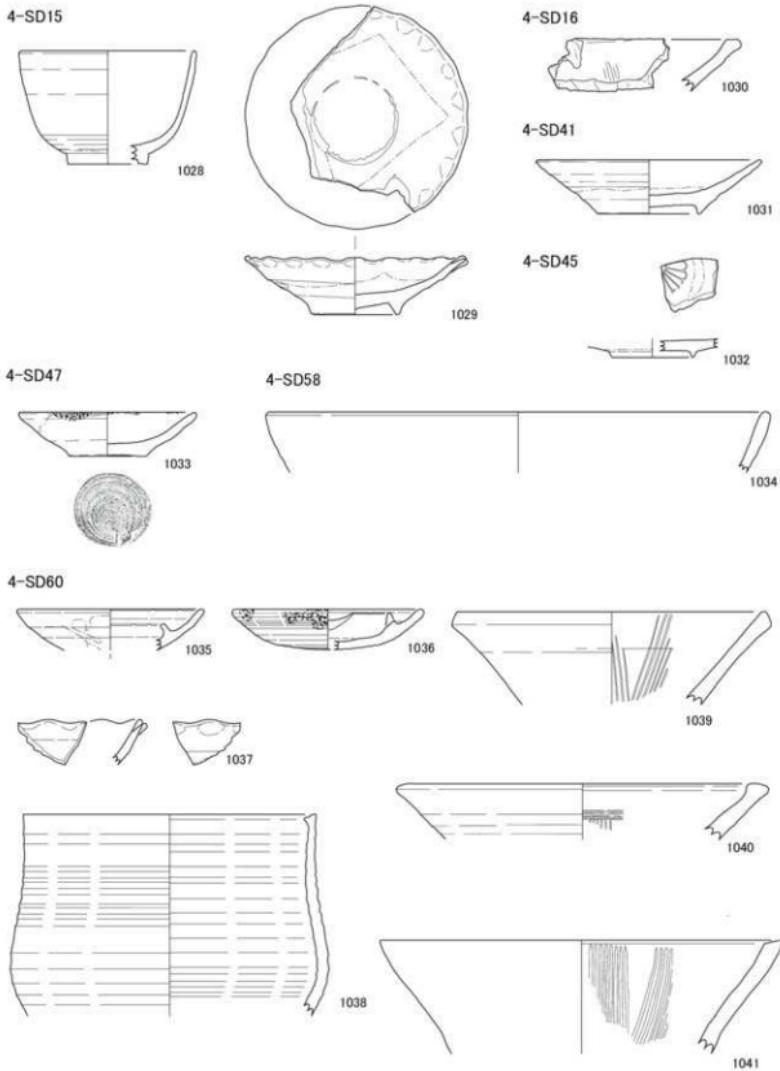


1026(1:4)



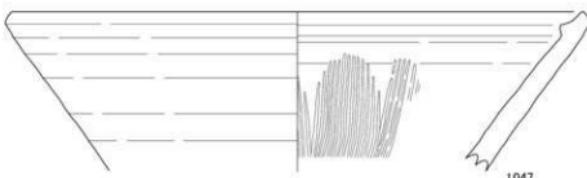
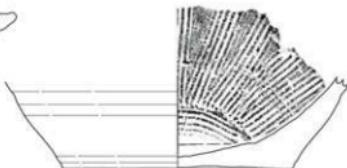
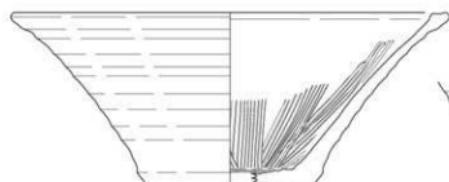
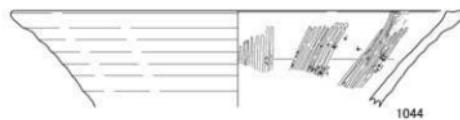
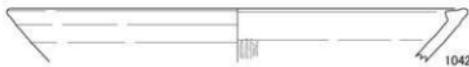
1027(1:4)

第126図 遺物実測図版39 越中瀬戸（施釉）（1016～1027）

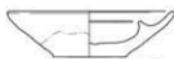
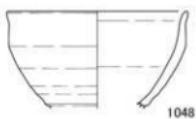


第127図 遺物実測図版40 越中瀬戸（施釉）（1028～1038・1040・1041）、（素焼）（1039）

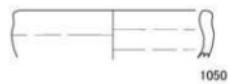
4-SD60



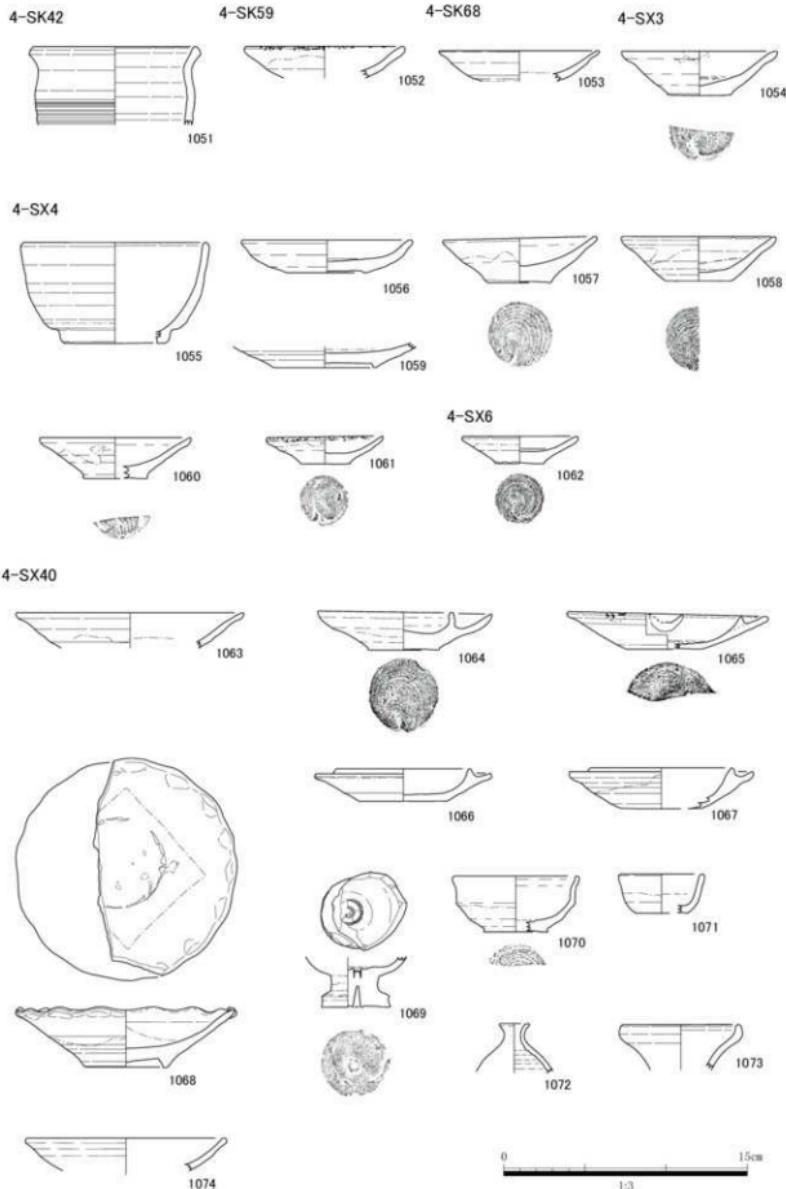
4-SD70



4-SE44

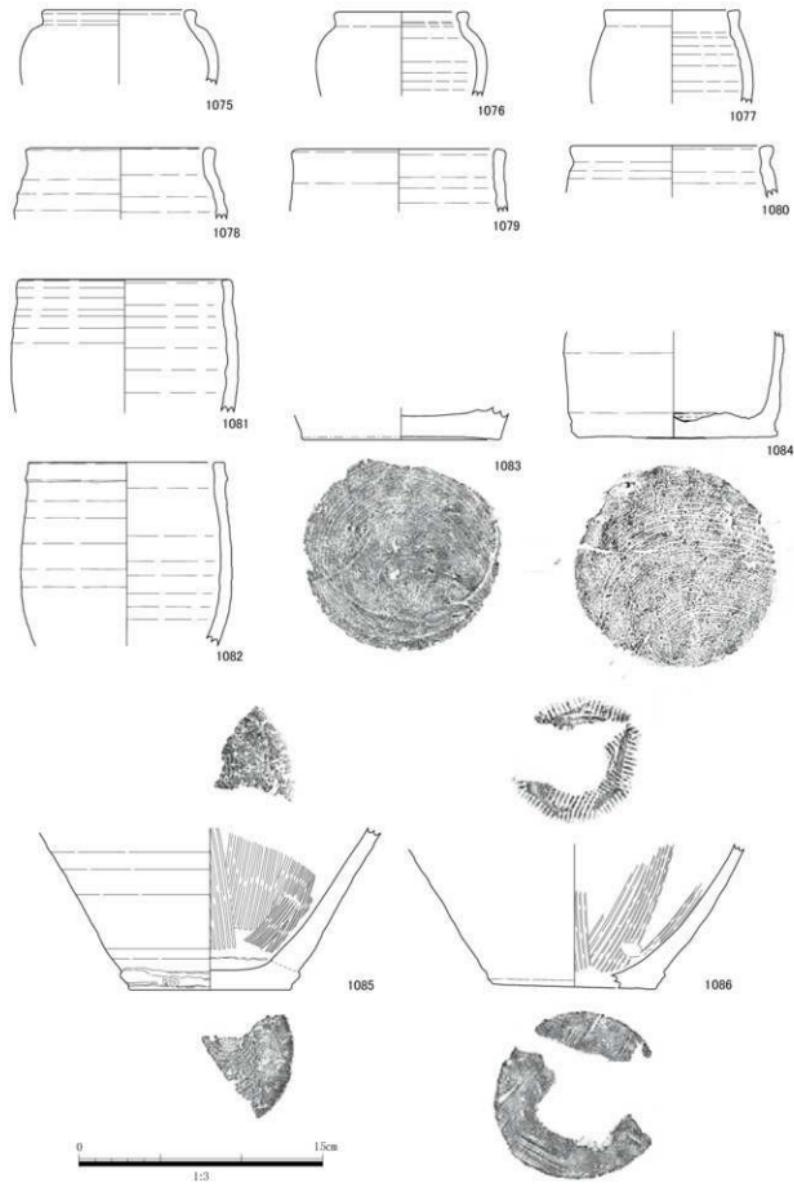


第128図 遺物実測図版41 越中瀬戸（施釉）（1042～1050）



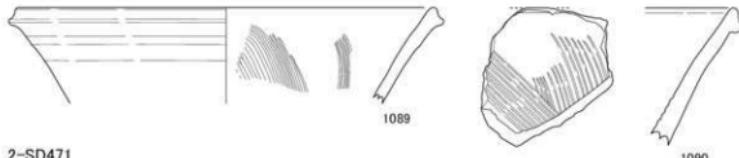
第129図 遺物実測図版42 越中瀬戸（施釉）（1051～1074）

4-SX40



第130図 遺物実測図版43 越中瀬戸（施釉）（1075～1086）

4-SX40



2-SD471



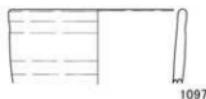
2-SD481



2-SD500



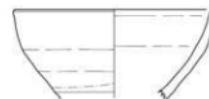
2-SD484



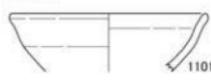
2-SD510



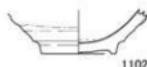
2-SD1033



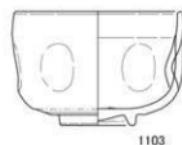
2-SE47



2-SE370

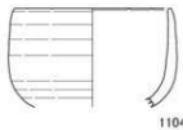


2-SE417



第131図 遺物実測図版44 越中瀬戸(施釉)(1087~1091)・瀬戸美濃(1092~1103)

2-SK4



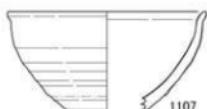
2-SK142



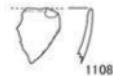
2-SK203



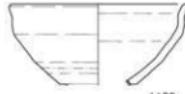
2-SK362



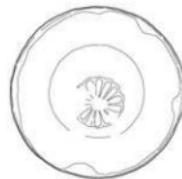
2-SK458



2-SK489



2-SK901



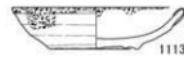
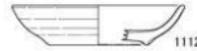
2-SK529



2-SK607



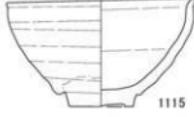
2-SK731



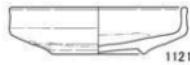
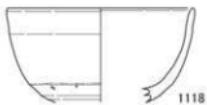
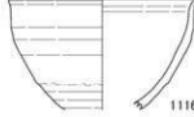
2-SK1000



2-SK1206



2-凹地



0

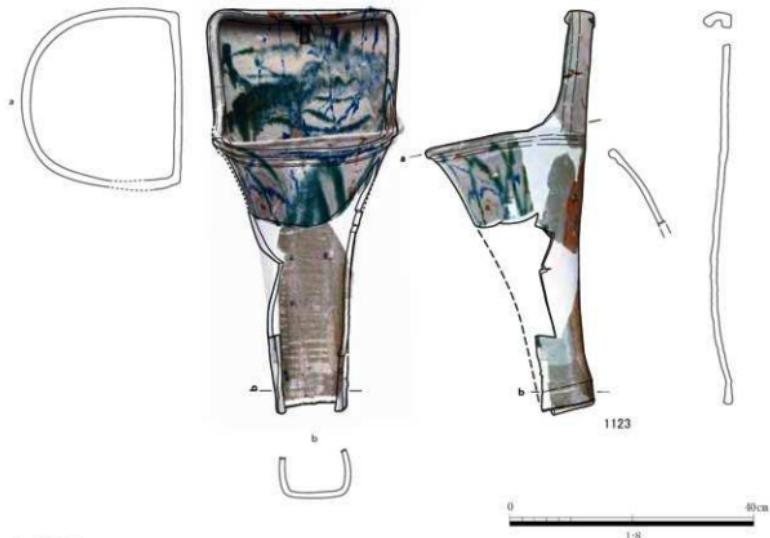
15cm

1:3

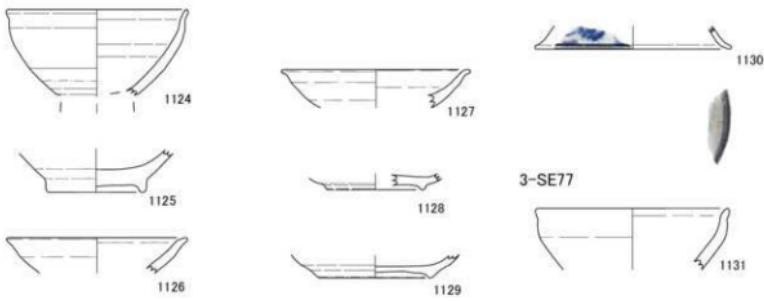
1122

第132図 遺物実測図版45 濑戸美濃 (1104~1122)

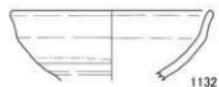
SX125



3-SD54



3-SK3



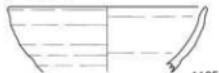
3-SK60



3-SK107



3-SK108

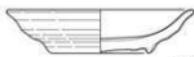


3-SK134

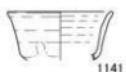


第133図 遺物実測図版46 濑戸美濃 (1123~1137)

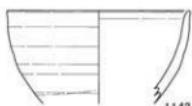
3-SK134



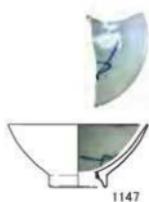
4-SD41



4-SD58



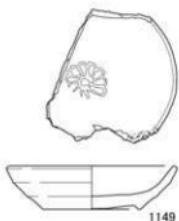
4-SD70



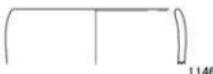
4-SD79



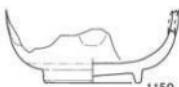
4-SK53



4-SP28

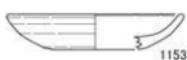
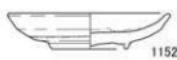


4-SX3

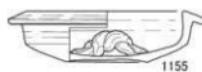


第134図 遺物実測図版47 濑戸美濃 (1138~1151)

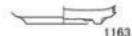
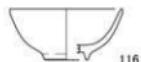
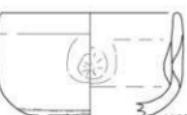
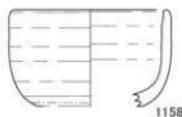
4-SX4



4-SX5

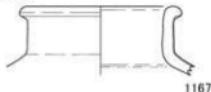


1156

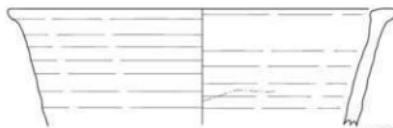


第135図 遺物実測図版48 濑戸美濃（1152～1165）・中国陶磁器（1166）

2-SX40



1167



1168



1169



2-SD70



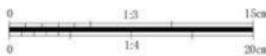
2-SD470



1171



1173



2-SD481



1172(1:4)



1174(1:4)

2-SD1033



1175

2-SE370



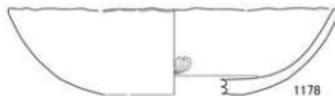
1176

2-SE413



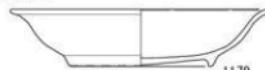
1177

2-SE564



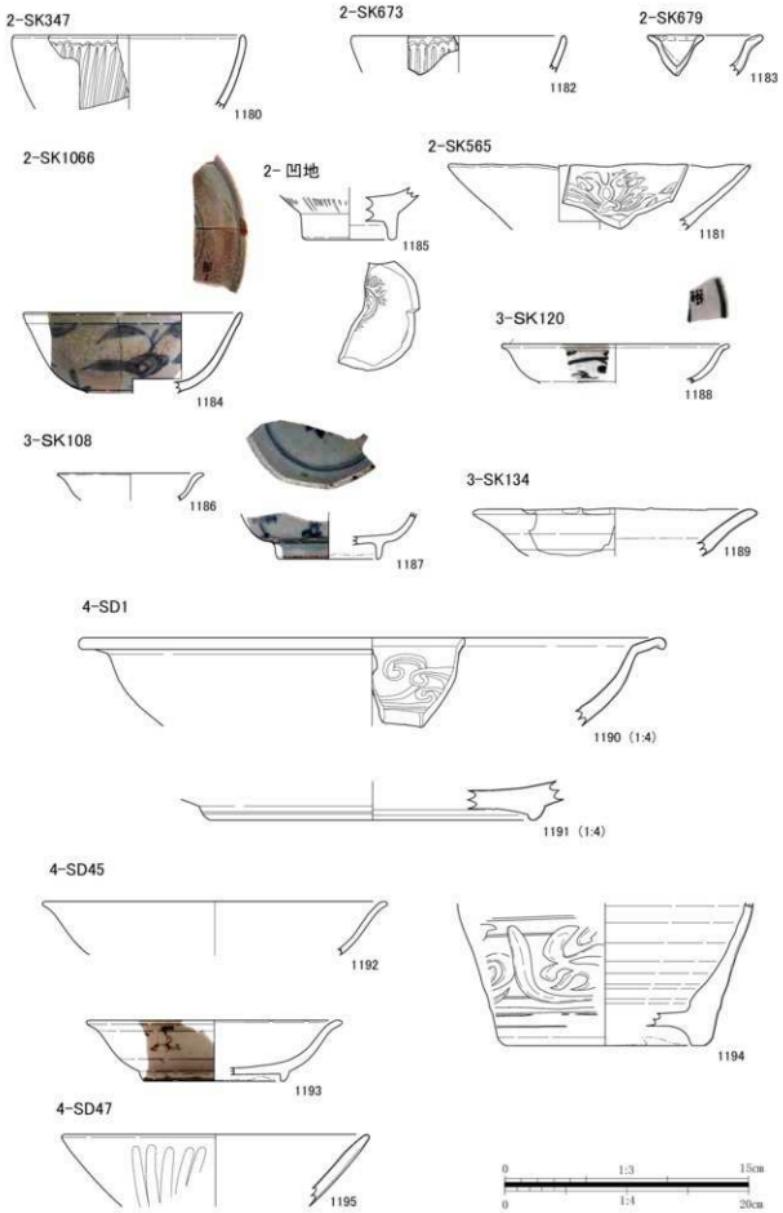
1178

2-SE947



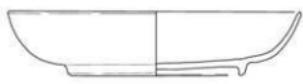
1179

第136図 遺物実測図版49 濑戸美濃(1167~1170)・中国陶磁器(1171~1179)



第137図 遺物実測図版50 中国陶磁器 (1180~1195)

4-SD54



1196

4-SD60



1198

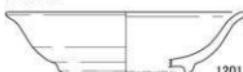


1199



1200

4-SK42

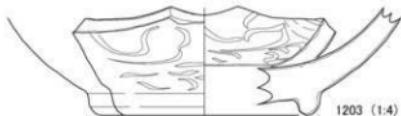


1201

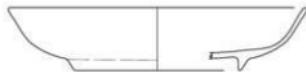
4-SX3



1202



1203 (1:4)



1197



1204

第138図 遺物実測図版51 中国陶磁器 (1196~1204)

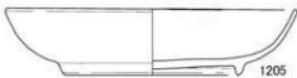
4-SX3



4-SX40



1206 (1:4)



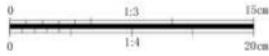
4-SX77



1207 (1:4)

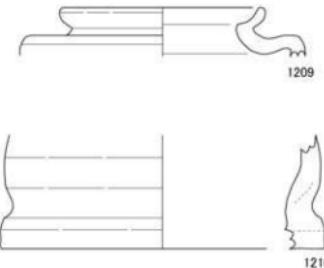


1208

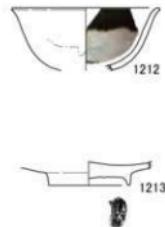


第139図 遺物実測図版52 中国陶磁器 (1205~1208)

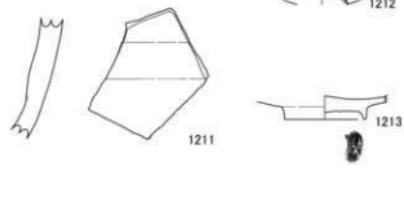
2-SD481



2-SE480



2-SD500



4-SD45



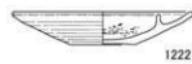
4-SD58



4-SK56



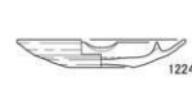
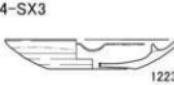
4-SK92



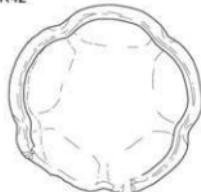
4-SP12



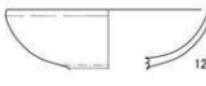
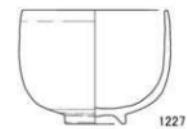
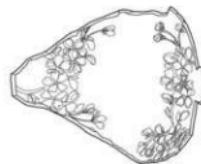
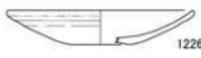
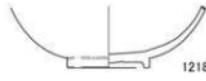
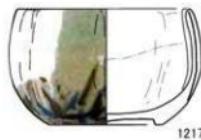
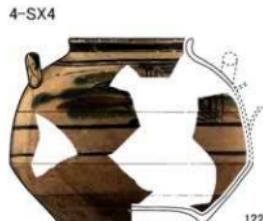
4-SX3



4-SK42

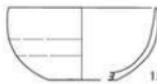
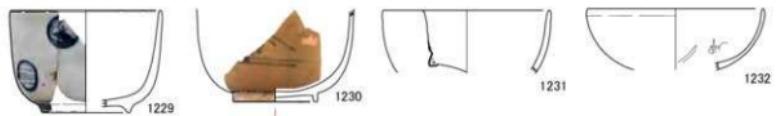


4-SX4



第140図 遺物実測図版53 京・信楽系 (1209~1228)

4-SX40



1231

1232

1234



1235

1236

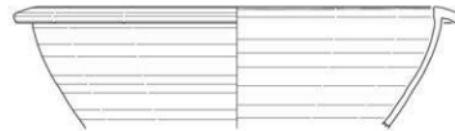
1237



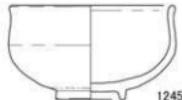
1238

1240

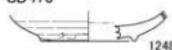
1241



1247 (1.4)

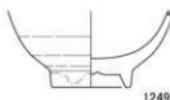


2-SD470

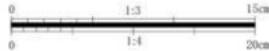
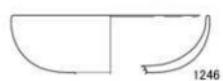


1248

2-SD472

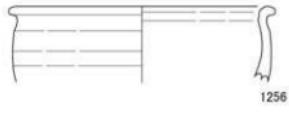
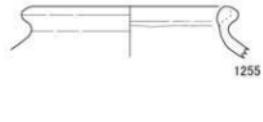
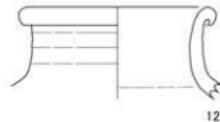
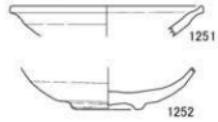


1249

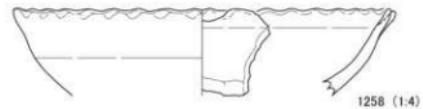
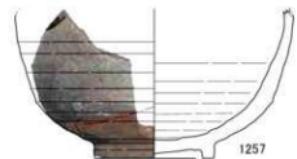


第141図 遺物実測図版54 京・信楽系 (1229~1247)、唐津 (1248~1250)

2-SD481



1256



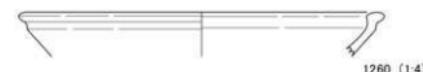
1258 (1:4)

2-SE47



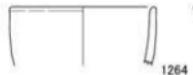
1259 (1:4)

2-SE61

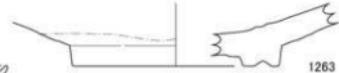


1260 (1:4)

2-SE413



2-SE480



2-SE417

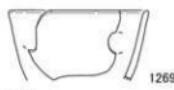


1266 (1:4)

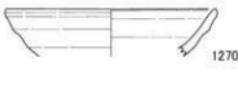
2-SE536



2-SK68・69



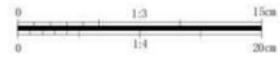
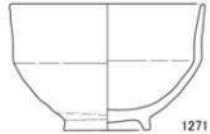
2-SK69



2-SE939



2-SK202



第142図 遺物実測図版55 唐津 (1251~1274)

2-SK202



2-SK935



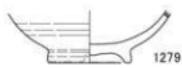
2-SK656



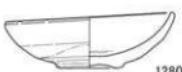
2-SK995



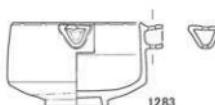
2- 凹地



1279



1280



1283

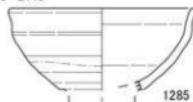


1281



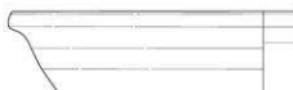
1284 (1:4)

3-SK9



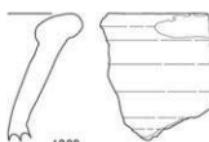
1285

4-SD15



1286

4-SX3

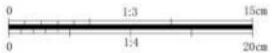


1288

4-SD45



1287

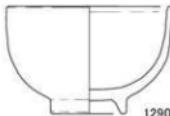


第143図 遺物実測図版56 唐津 (1275~1288)

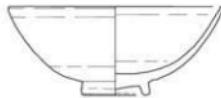
4-SD60



1289



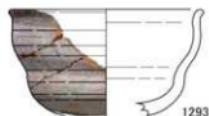
1290



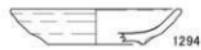
1291



1292



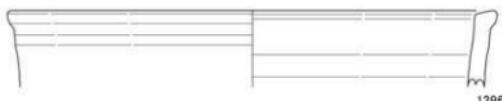
1293



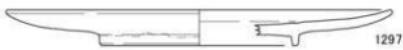
1294



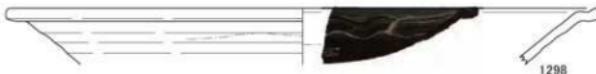
1295



1296



1297



1298



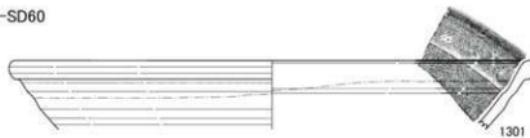
1299



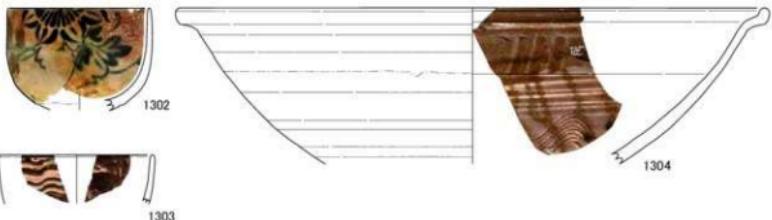
1300

第144図 遺物実測図版57 唐津 (1289~1300)

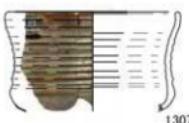
4-SD60



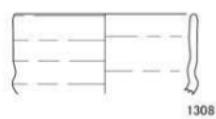
4-SK42



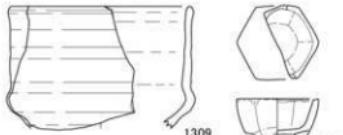
4-SK59



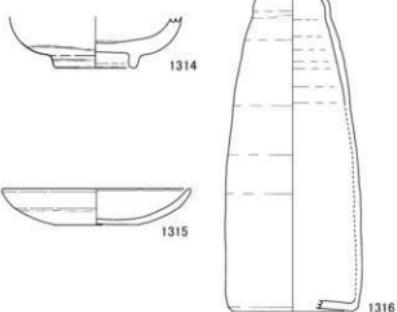
4-SP28



4-SX3



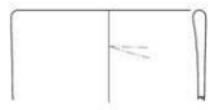
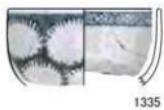
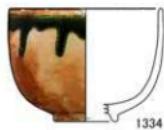
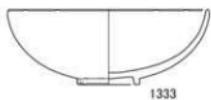
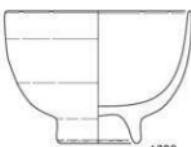
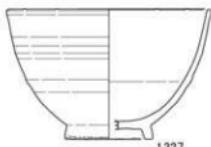
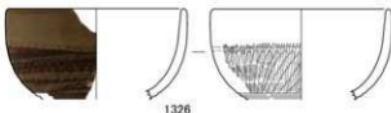
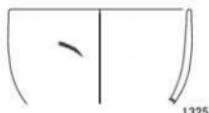
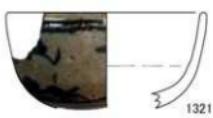
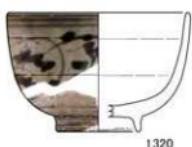
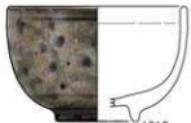
4-SX4



第145図 遺物実測図版58 唐津 (1301~1317)



4-SX40



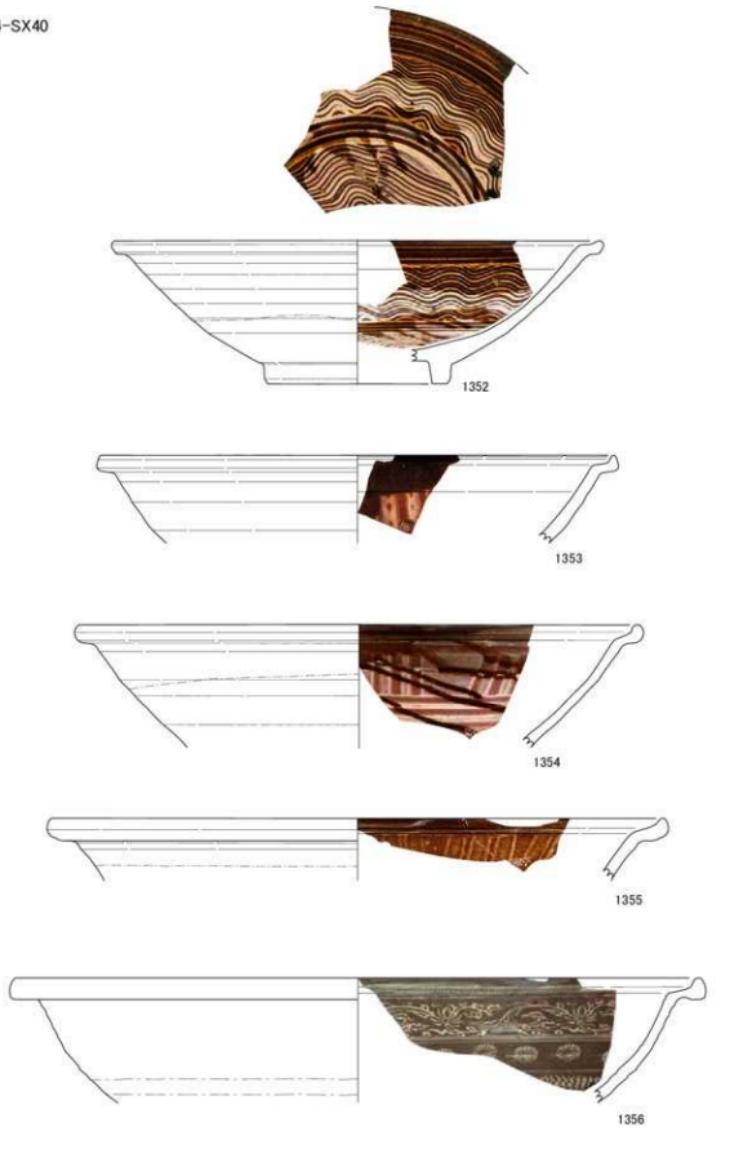
第146図 遺物実測図版59 唐津（1318～1337）

4-SX40



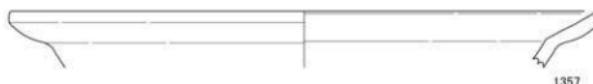
第147図 遺物実測図版60 唐津 (1338~1351)

4-SX40

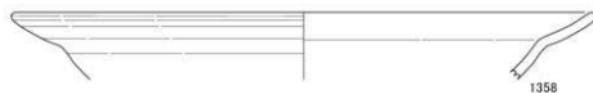


第148図 遺物実測図版61 唐津(1352~1356)

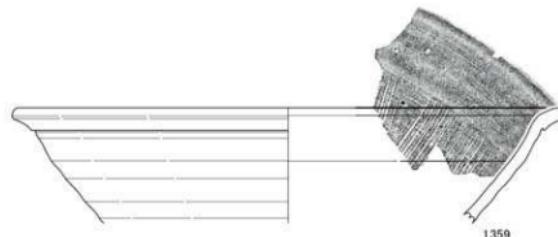
4-SX40



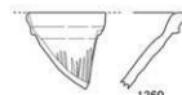
1357



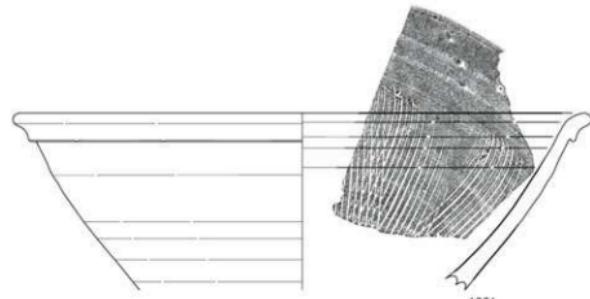
1358



1359



1360



1361

4-SX77



1362



1363



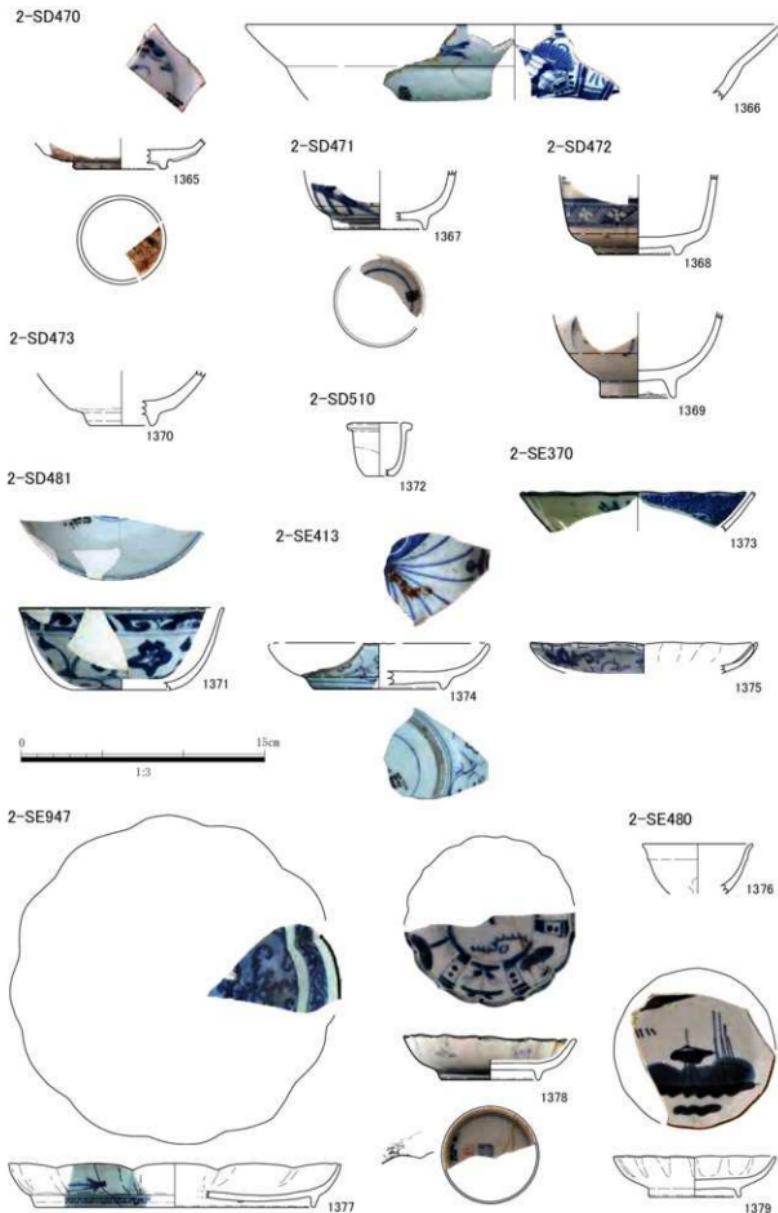
4-II層



1364

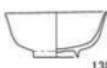


第149図 遺物実測図版62 唐津 (1357~1364)



第150図 遺物実測図版63 伊万里(1365~1379)

2-SK20



1380

2-SK68・69



1381



1382

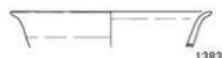
2-SK141



1384



2-SK244



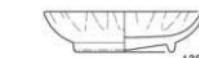
1383



2-SK372



1389

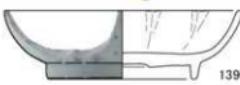


1385



1386

2-SK465



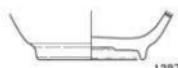
1390

2-SK304



1391

2-SK572



1387



1392



1388

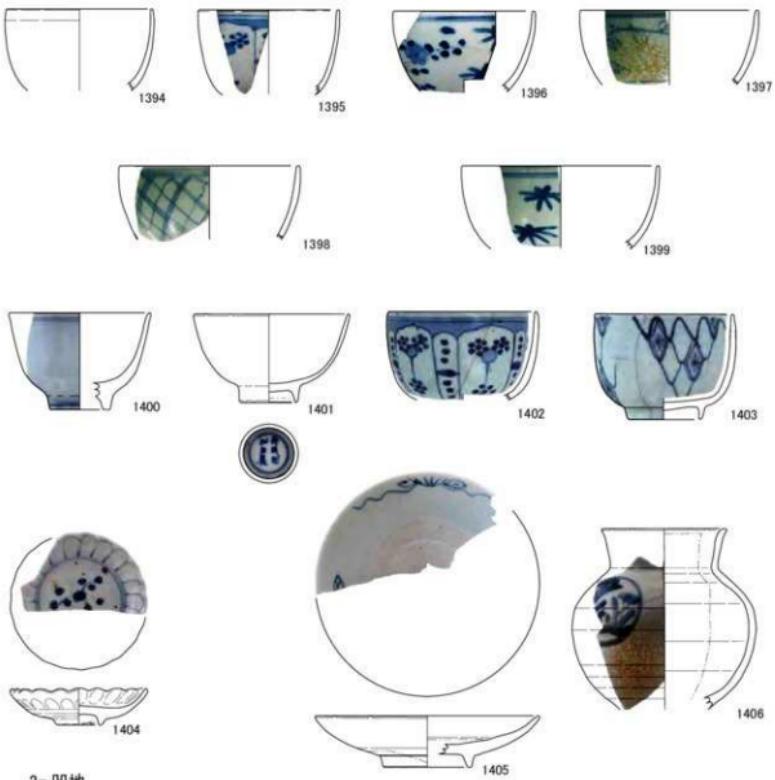


1393



第151図 遺物実測図版64 伊万里(1380~1393)

2-SK1000



2- 凹地



第152図 遺物実測図版65 伊万里(1394~1410)



2-凹地



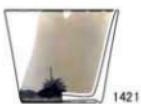
4-SD15



4-SD16



4-SD54



4-SD23



第153図 遺物実測図版66 伊万里・肥前系 (1411~1418・1421~1423)



第154図 遺物実測図版67 伊万里・肥前系 (1419・1420・1424~1437・1445)

4-SK42



1439



1441



1442



1440



1441



1443



1444

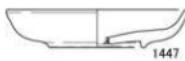
4-SK89



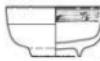
1446



4-SX3

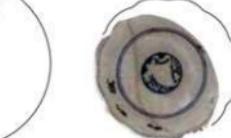


1447



1450

4-SX4



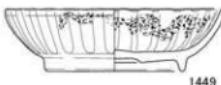
1454



1453



1455



1449



1451



1456



1:3

0

15cm

第155図 遺物実測図版68 伊万里・肥前系 (1438~1444・1446~1451・1453~1456)

4-SX4

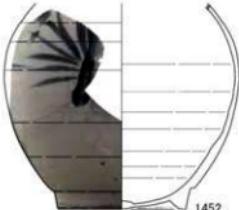


1457

4-SX5



4-SX3



1452



1459



1458



*左側朱書き 200%



1462



1460



1461



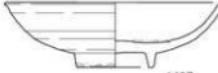
1463



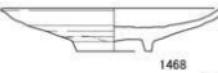
1464



1465



1467



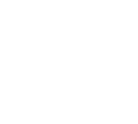
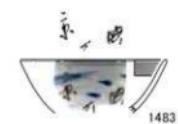
1468



第156図 遺物実測図版69 伊万里・肥前系

(1452・1457~1468)

4-SX40



第157図 遺物実測図版70 伊万里・肥前系
(1469~1485)



4-SX40



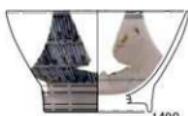
1486



1487



1488



1490



1491



1489



1492



1493



1494



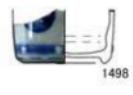
1495



1496



1497



1498



1499

の
る
る

1500



1501



1502



1503



1504

1505

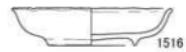
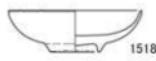
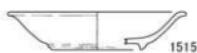
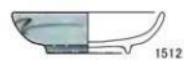
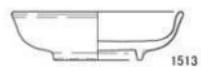
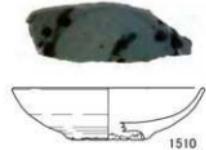
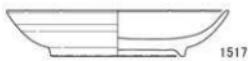
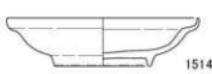
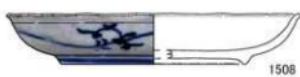
1506

1507



第158図 遺物実測図版71 伊万里・肥前系 (1486~1507)

4-SX40

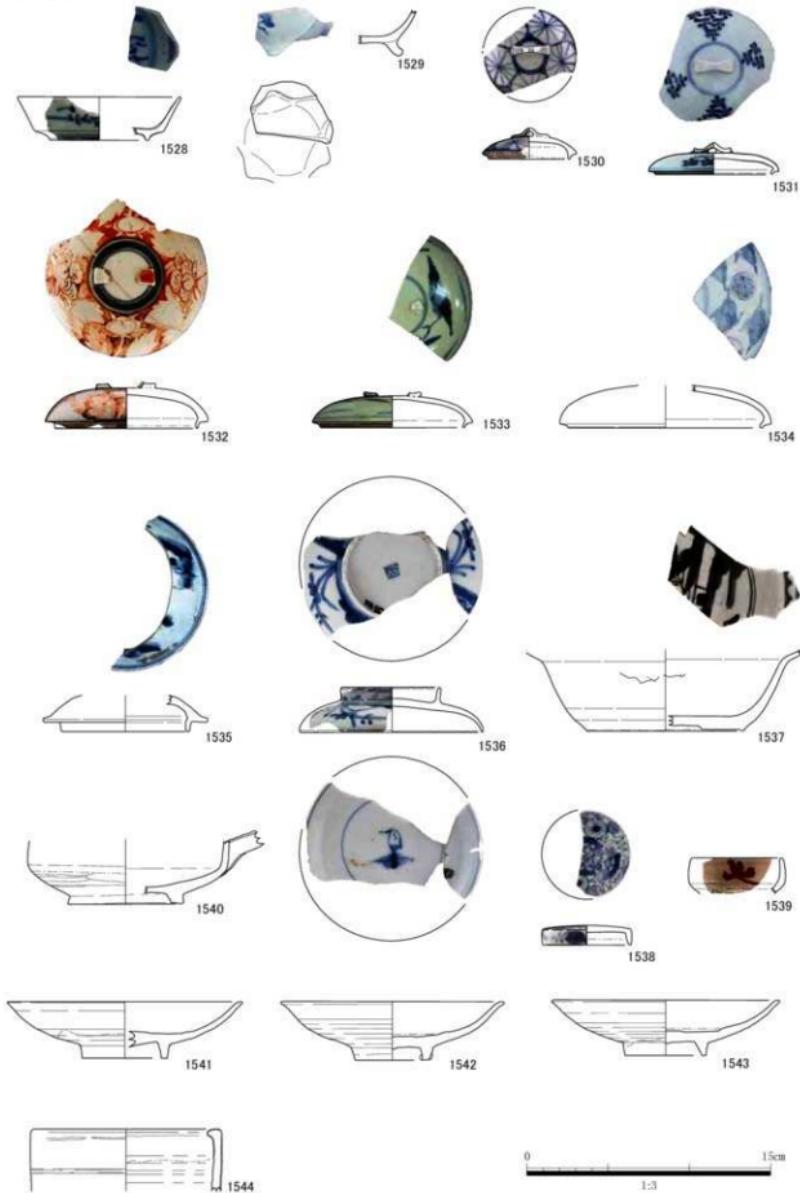


第159図 遺物実測図版72 伊万里・肥前系 (1508~1518)

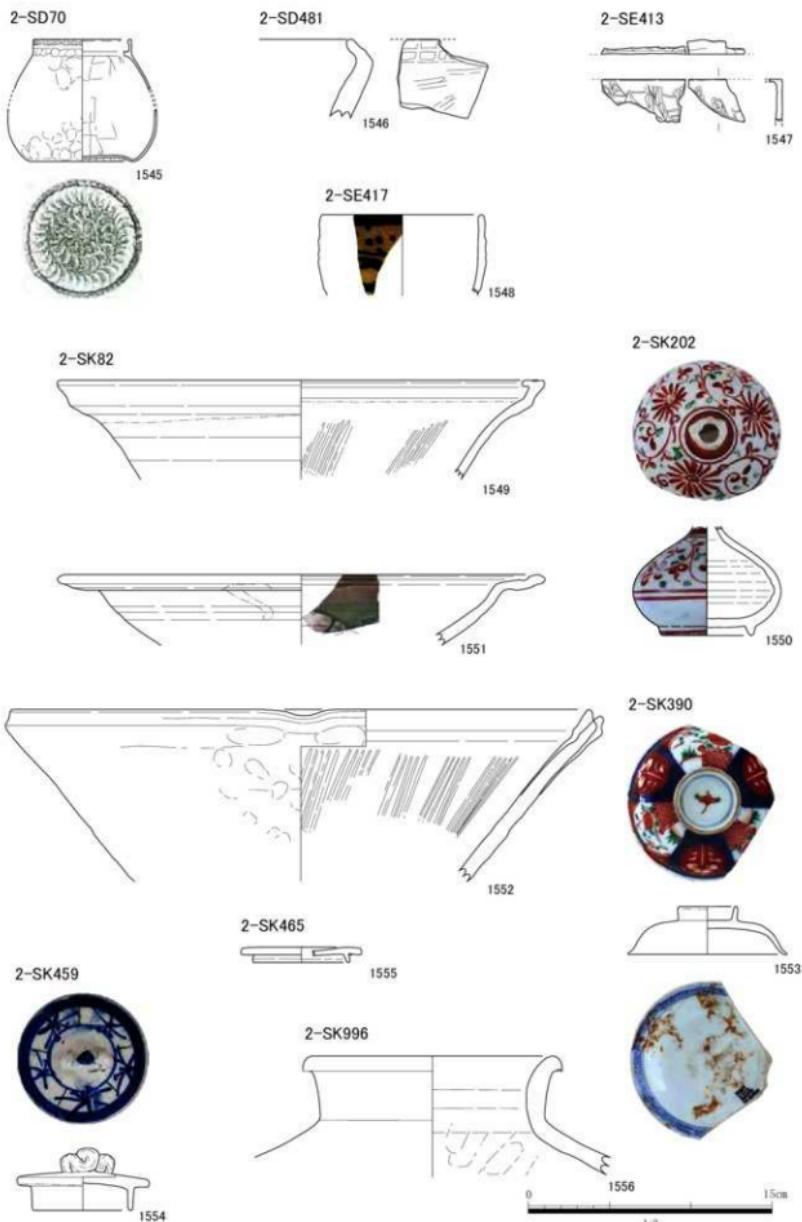


第160図 遺物実測図版73 伊万里・肥前系 (1519~1522・1524~1527)

4-SX40

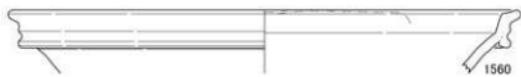
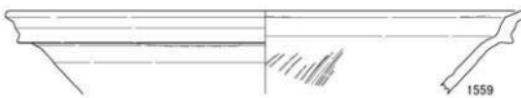
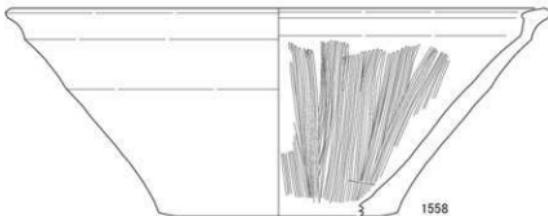
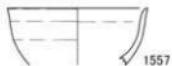


第161図 遺物実測図版74 伊万里・肥前系 (1528~1544)

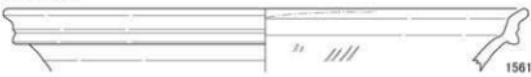


第162図 遺物実測図版75 近世陶器 (1545~1556)

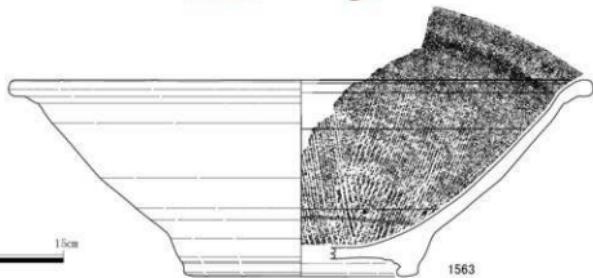
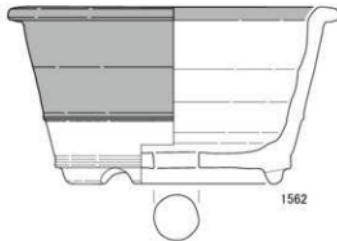
2-SK1000



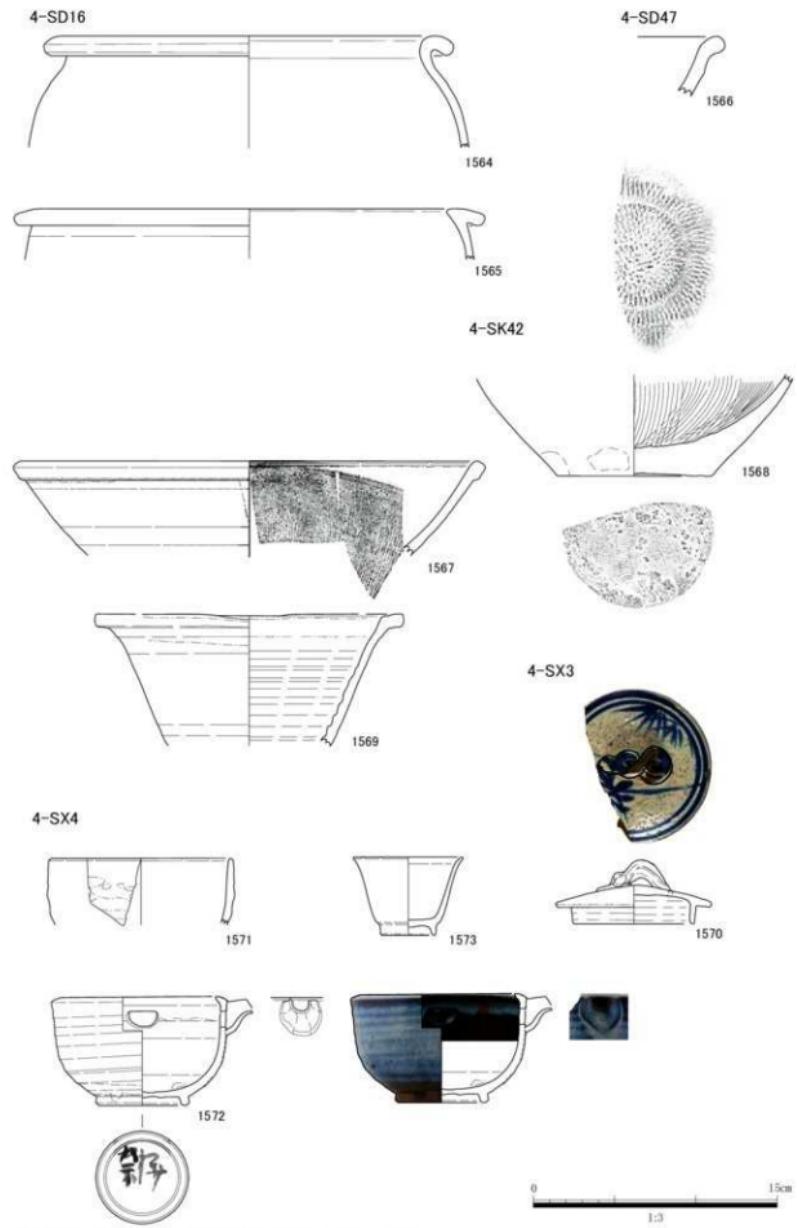
2-SK1056



2- 凹地



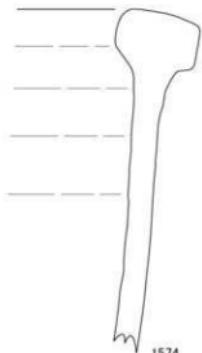
第163図 遺物実測図版76 近世陶器 (1557~1563)



第164図 遺物実測図版77 近世陶器（1564～1573）

4-SX4

4-SX40



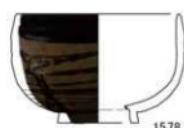
1575



1576



1577



1578



1579



1580



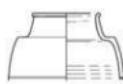
1581



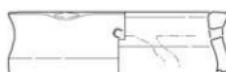
1582



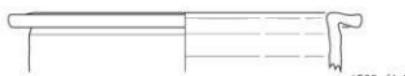
1583



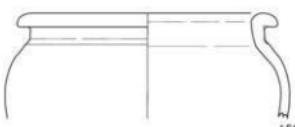
1584



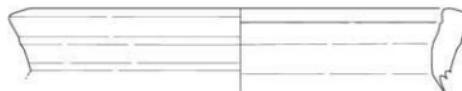
1585



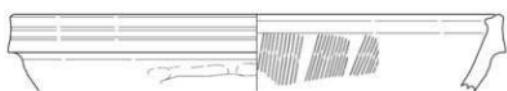
1586 (1:4)



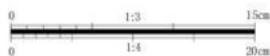
1587



1588 (1:4)

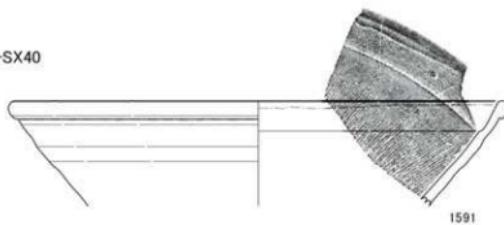


1589 (1:4)

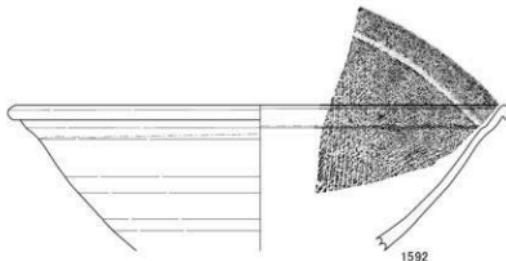


第165図 遺物実測図版78 近世陶器 (1574~1590)

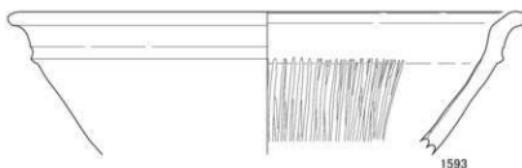
4-SX40



1591



1592



1593



1594

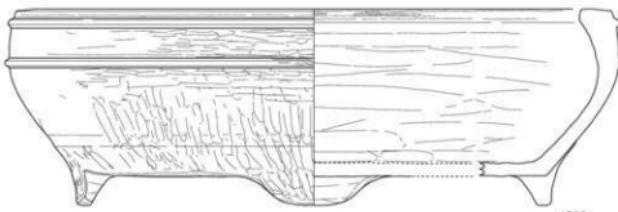


1595



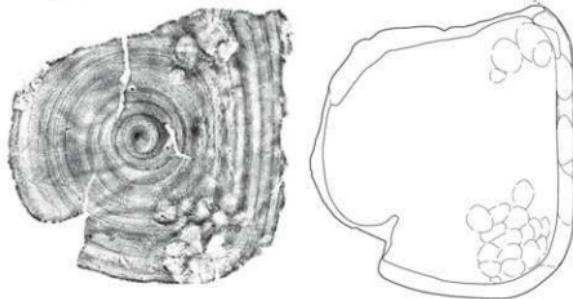
第166図 遺物実測図版79 近世陶器 (1591~1595)

2-SD70



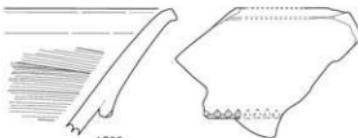
1596

2-SD470

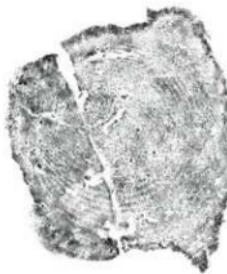


1597

2-SD472

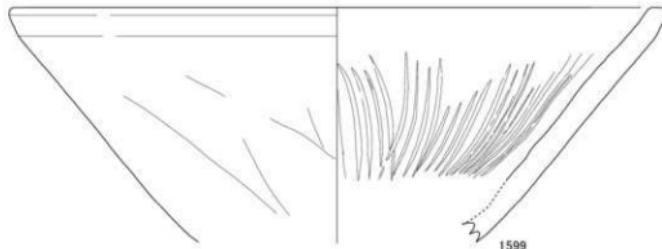


1598

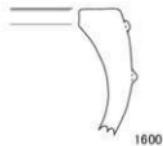


第167図 遺物実測図版80 瓦器・火鉢・土師質土器その他(1596~1598)

2-SD473



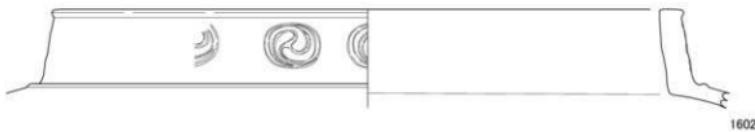
2-SE469



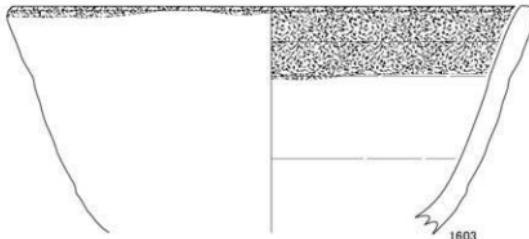
2-SE480



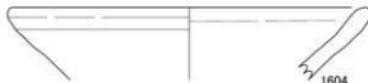
2-SK49



2-SK673

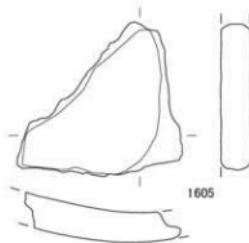


3-SK108

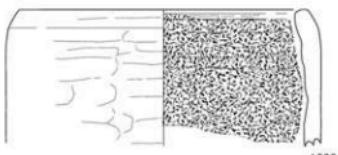


第168図 遺物実測図版81 瓦器・火鉢・土師質土器その他(1599～1604)

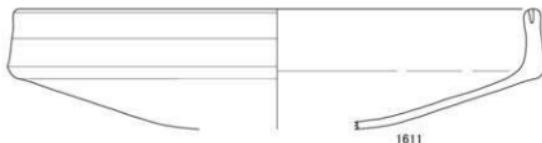
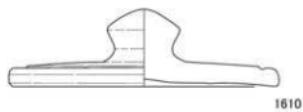
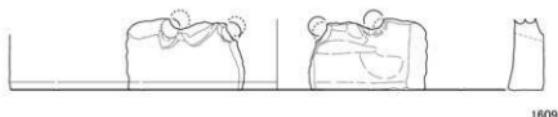
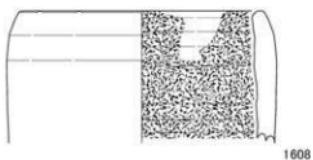
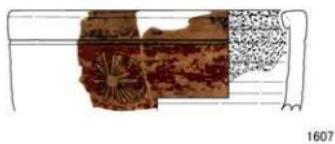
4-SX4 瓦



4-SX5

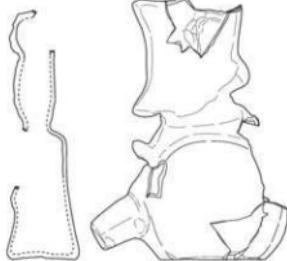


4-SX40

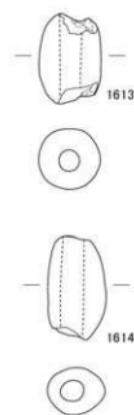


第169図 遺物実測図版82 瓦・瓦器・火鉢・土師質土器 (1605~1611)

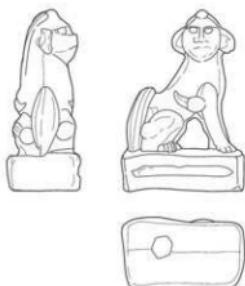
2-SK601



2-III層



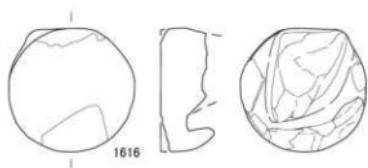
2- 凹地



1615 (1:1)



2-II層



1616

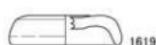
4-SD1



1617



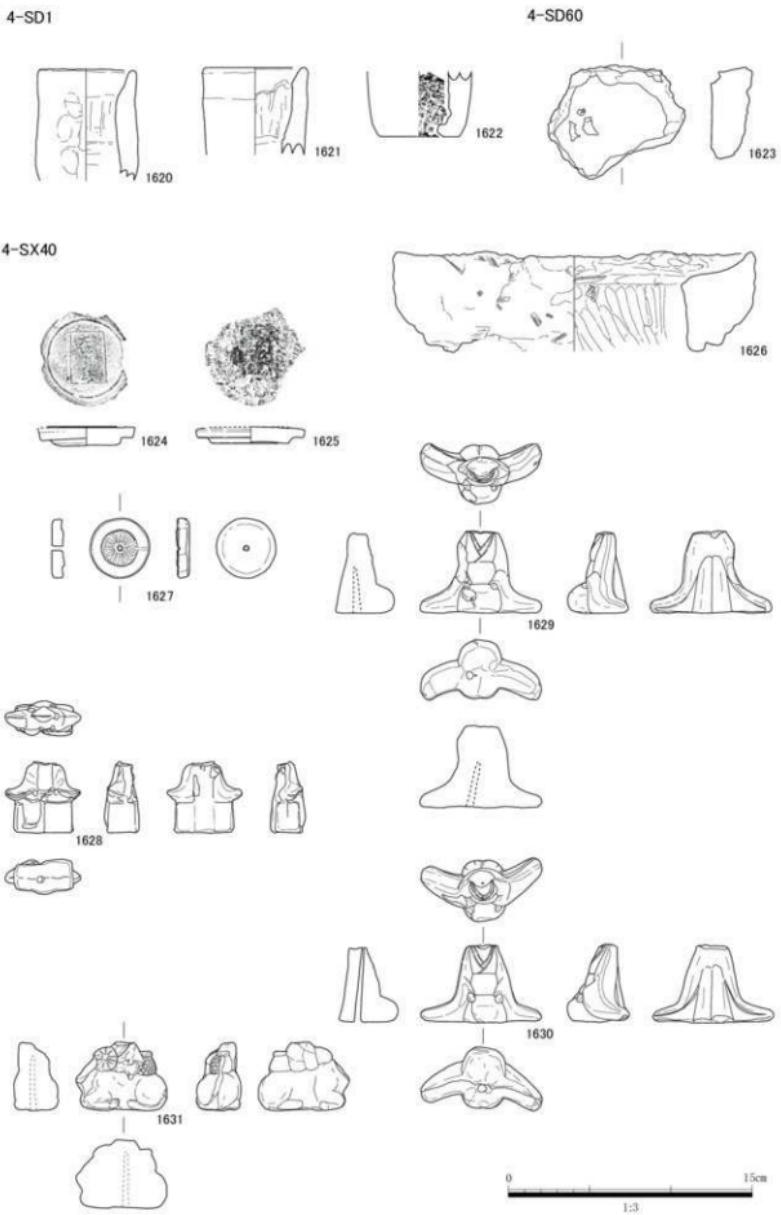
1618



1619

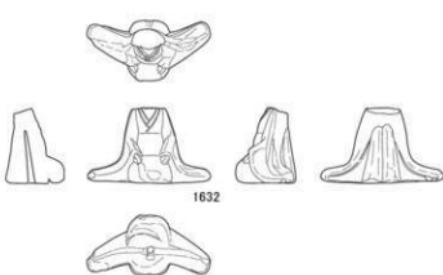


第170図 遺物実測図版83 土製品・土人形(1612~1619)

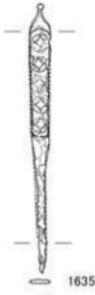


第171図 遺物実測図版84 土製品・土人形(1620~1631)

4-SX40



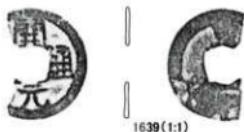
2-SE947



2-SK142



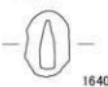
4-SD58



4-SD1



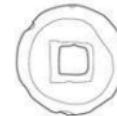
4-SD60



2-SK450



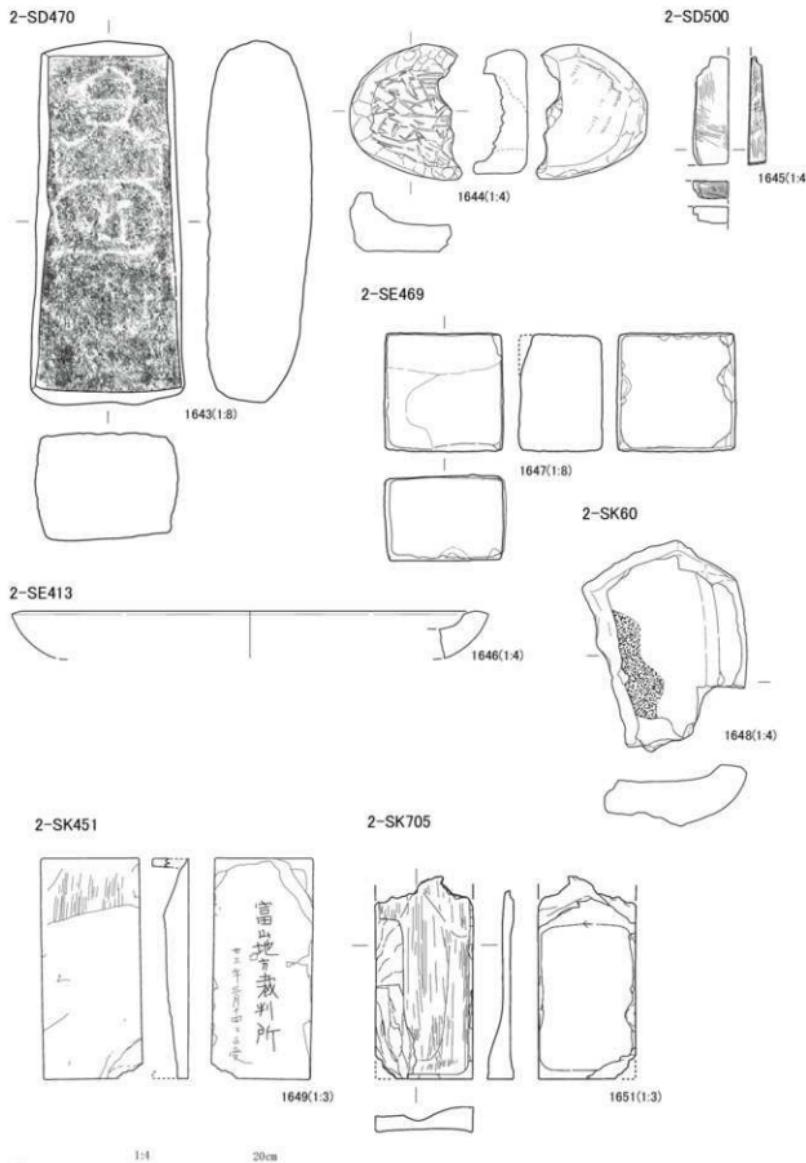
4-SD23



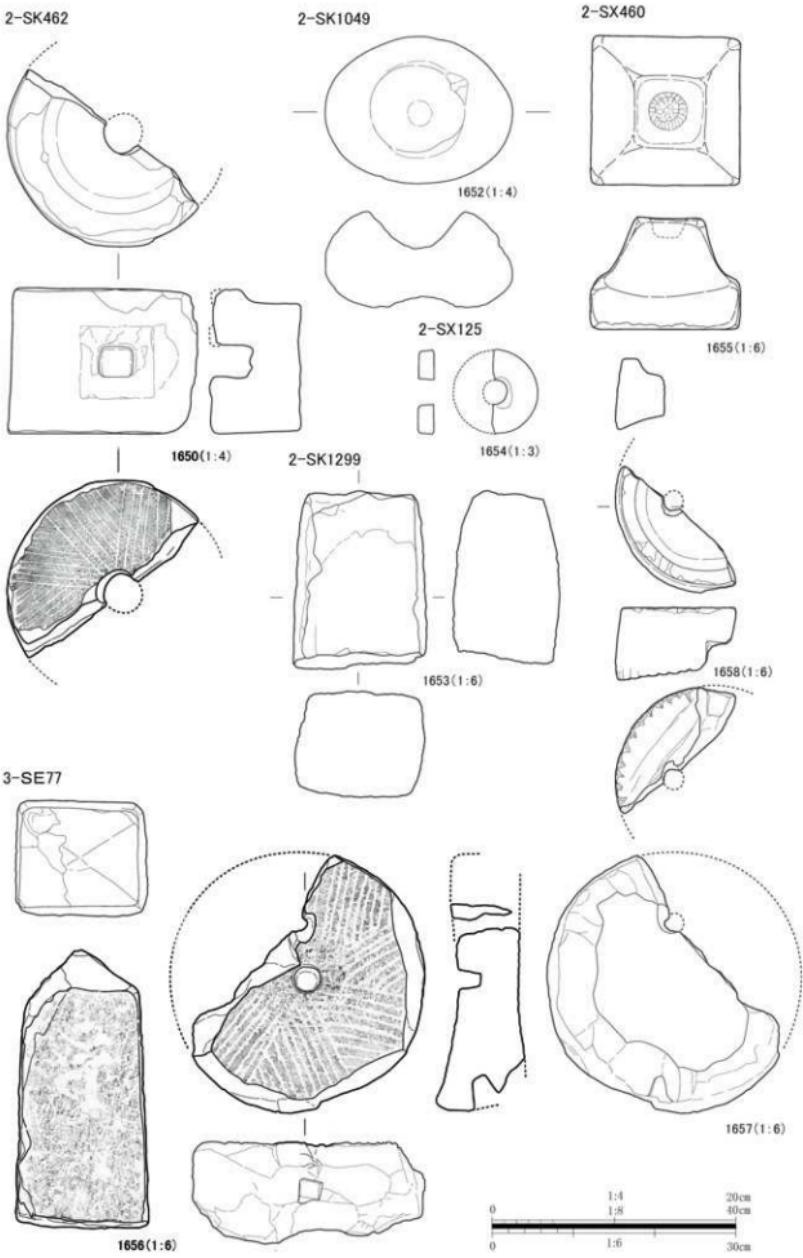
4-SX4



第172図 遺物実測図版85 土製品・土人形、金属製品、骨角製品(1632～1642)

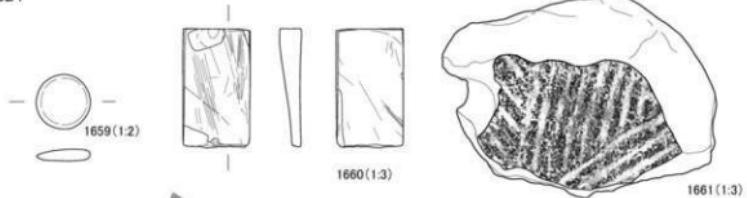


第173図 遺物実測図版86 石製品・石造物・石材(1643~1649・1651)

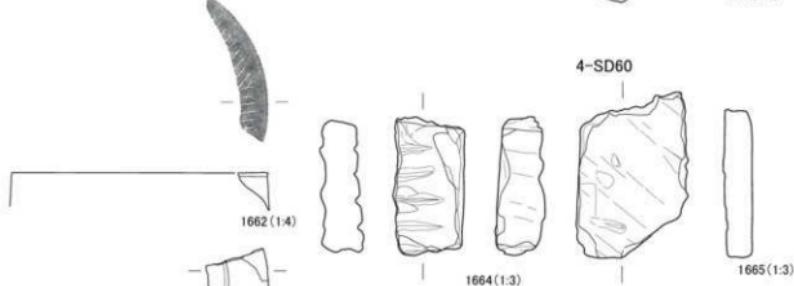


第174図 遺物実測図版87 石製品・石造物・石材(1650・1652~1658)

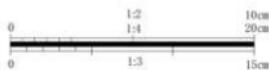
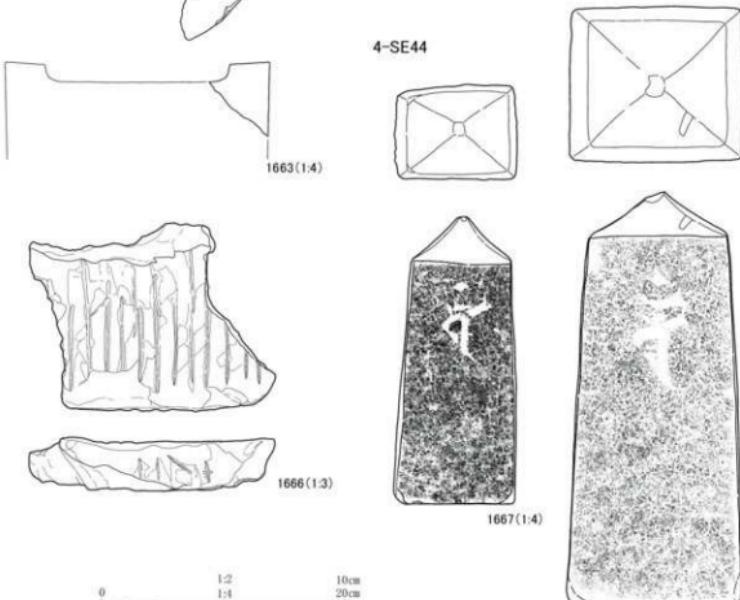
4-SD1



4-SD60

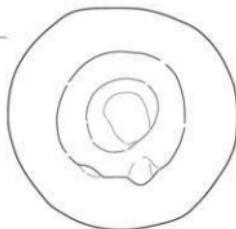
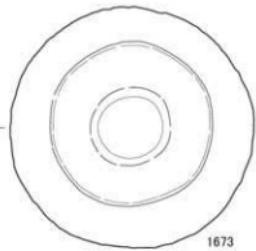
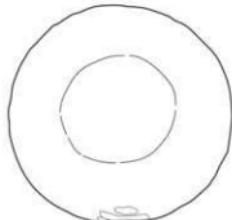
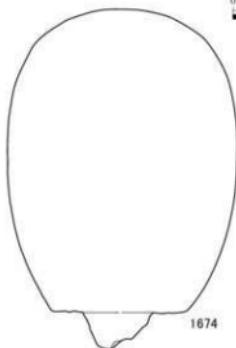
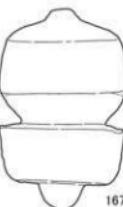
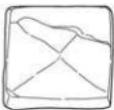


4-SE44

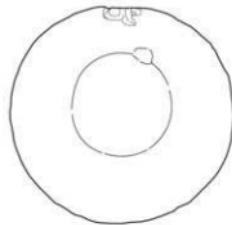


第175図 遺物実測図版88 石製品・石造物・石材(1659~1668)

4-SE44

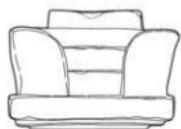
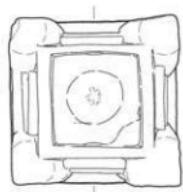


1675

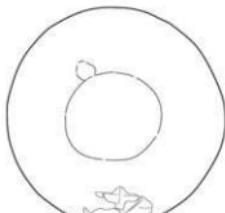


第176図 遺物実測図版89 石造物・石材(1669~1675)

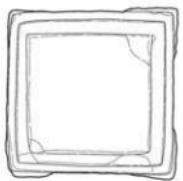
4-SE44



1676



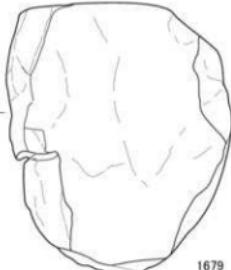
1677



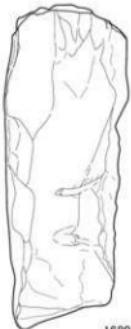
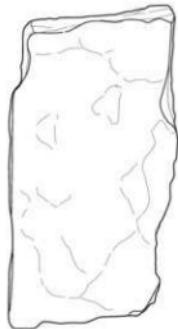
4-SX3



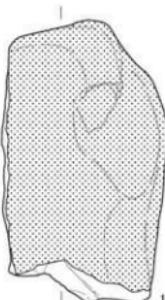
1678 (1:4)



1679



1680

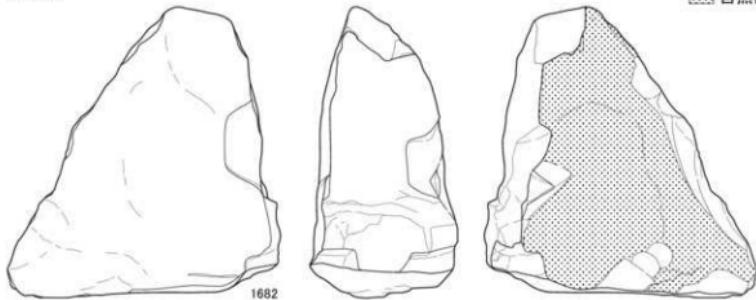


1681

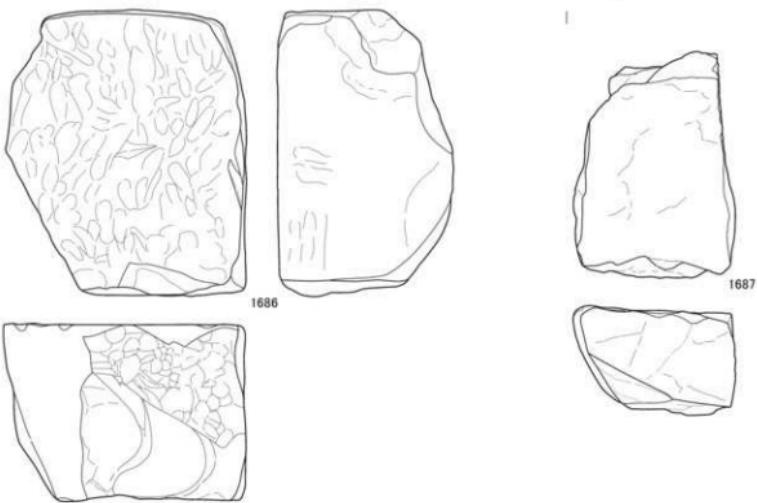


第177図 遺物実測図版90 石製品・石造物・石材(1676～1681) ■■■ 自然面

4-SX3

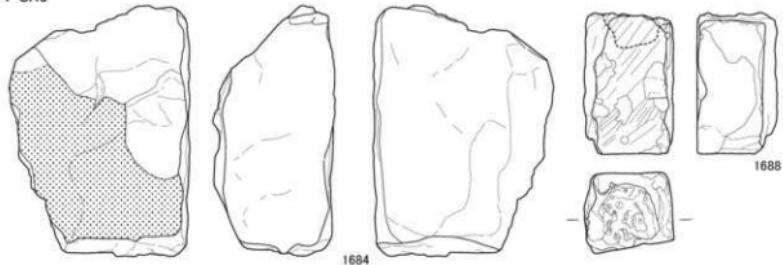


4-SX4

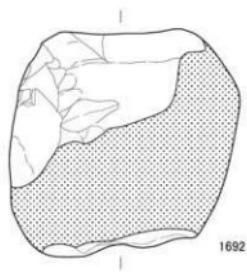


第178図 遺物実測図版91 石材(1682・1683・1686・1687)

4-SX3



4-SX4

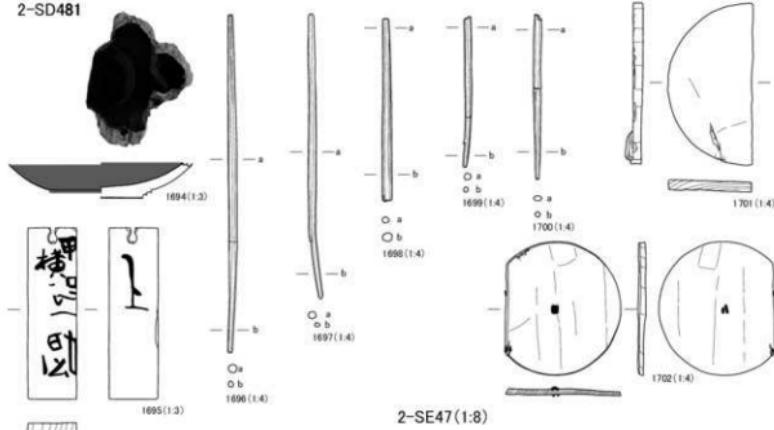


第179図 遺物実測図版92 石材
(1684・1685・1688～1693)

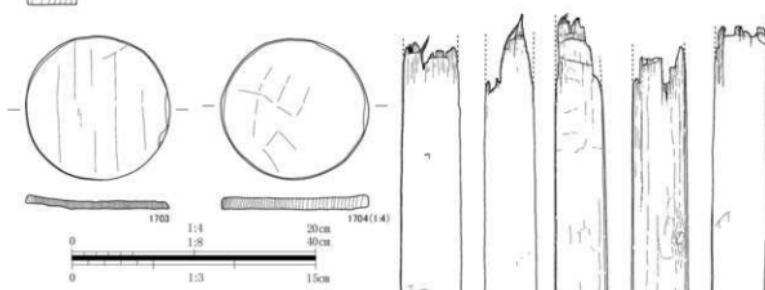
■ 自然面

0 10 40 cm

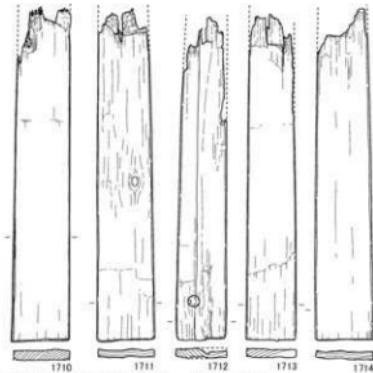
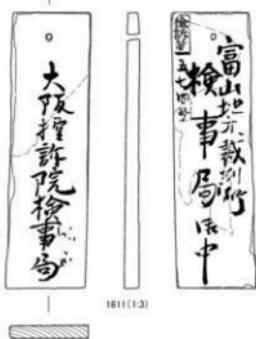
2-SD481



2-SE47 (1:8)

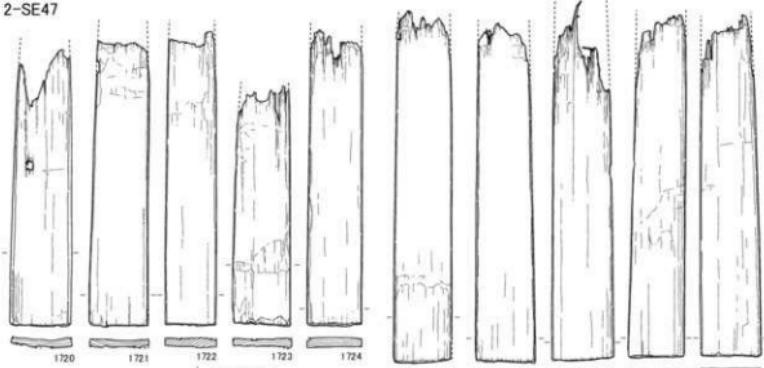


2-SK451

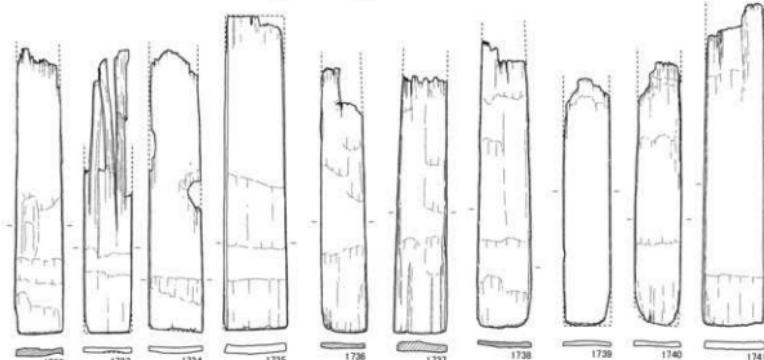
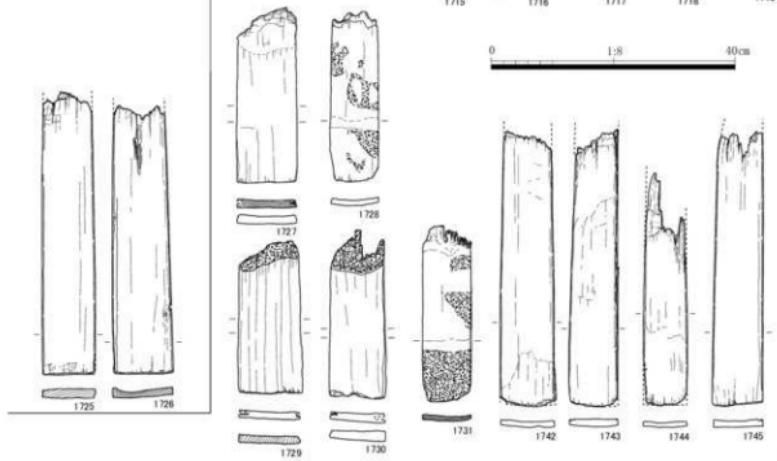


第180図 遺物実測図版93 木製品(漆器・木札・箸・円形板)・井戸枠(1694~1714・1811)

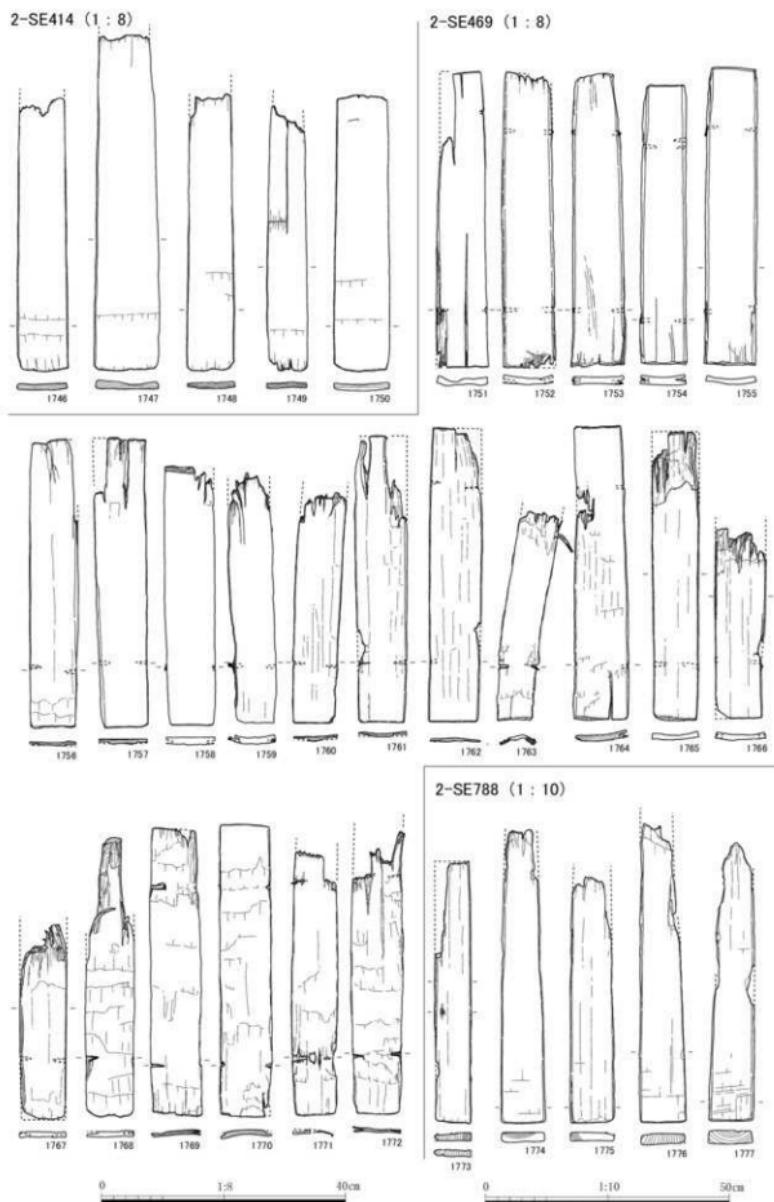
2-SE47



2-SE414

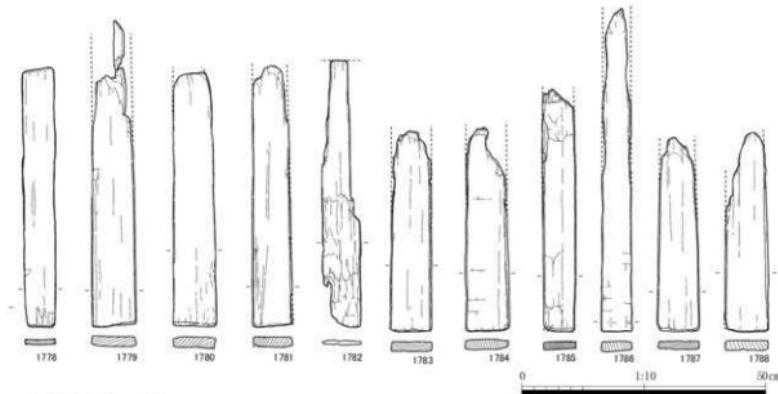


第181図 遺物実測図版94 井戸枠(1715~1745)

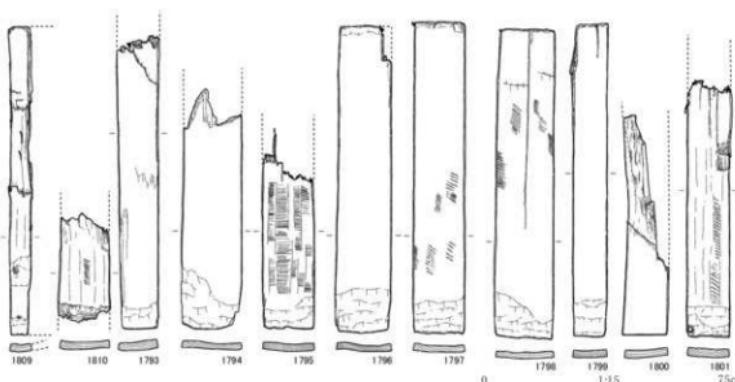
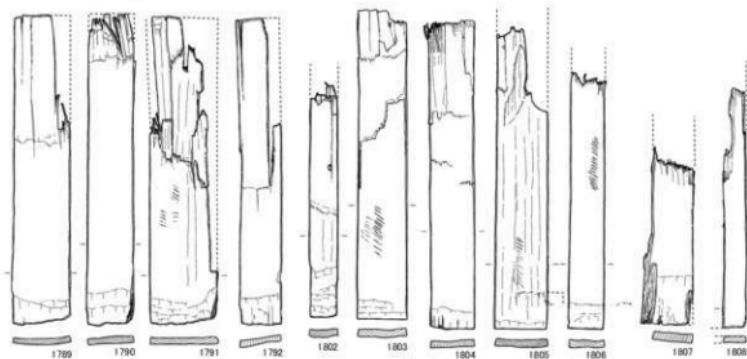


第182図 遺物実測図版95 井戸枠(1746~1777)

2-SE788 (1 : 10)

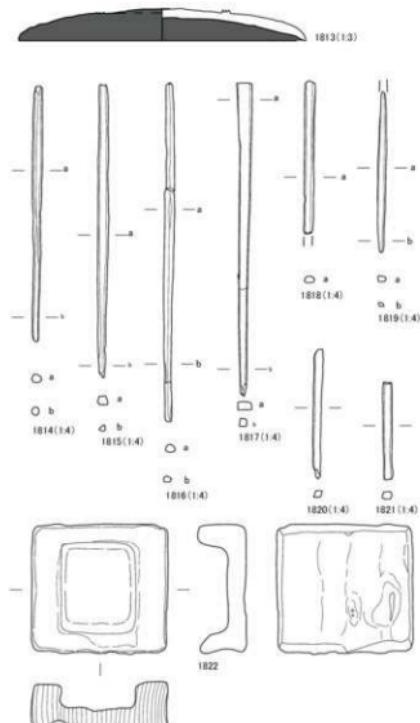


2-SE939 (1 : 15)

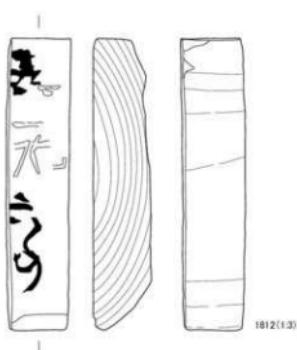


第183図 遺物実測図版96 井戸枠(1778~1810)

4-SD60



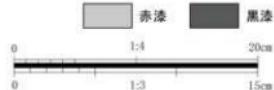
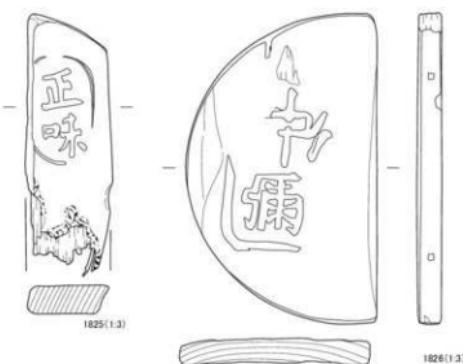
4-SD58



4-SX4



4-SX40



第184図 遺物実測図版97 木製品(漆器・木札・円形板・箸・容器)(1812~1826)

第5表 土器陶磁器観察表

地主資本・地主の資本比率									
地主資本 額	地主の 資本 比率	利子率	利子額	地主の 資本 比率	利子率	利子額	地主の 資本 比率	利子率	利子額
100	1	2	20	40%	100	1	2	20	40%
100	3	2	30	60%	100	3	2	30	60%
100	5	2	30	60%	100	5	2	30	60%
100	7	2	30	60%	100	7	2	30	60%
100	9	2	30	60%	100	9	2	30	60%
100	11	2	30	60%	100	11	2	30	60%
110	1	2	20	40%	110	1	2	20	40%
110	3	2	30	60%	110	3	2	30	60%
110	5	2	30	60%	110	5	2	30	60%
110	7	2	30	60%	110	7	2	30	60%
110	9	2	30	60%	110	9	2	30	60%
110	11	2	30	60%	110	11	2	30	60%
115	1	2	20	40%	115	1	2	20	40%
115	3	2	30	60%	115	3	2	30	60%
115	5	2	30	60%	115	5	2	30	60%
115	7	2	30	60%	115	7	2	30	60%
115	9	2	30	60%	115	9	2	30	60%
115	11	2	30	60%	115	11	2	30	60%
120	1	2	20	40%	120	1	2	20	40%
120	3	2	30	60%	120	3	2	30	60%
120	5	2	30	60%	120	5	2	30	60%
120	7	2	30	60%	120	7	2	30	60%
120	9	2	30	60%	120	9	2	30	60%
120	11	2	30	60%	120	11	2	30	60%
125	1	2	20	40%	125	1	2	20	40%
125	3	2	30	60%	125	3	2	30	60%
125	5	2	30	60%	125	5	2	30	60%
125	7	2	30	60%	125	7	2	30	60%
125	9	2	30	60%	125	9	2	30	60%
125	11	2	30	60%	125	11	2	30	60%
130	1	2	20	40%	130	1	2	20	40%
130	3	2	30	60%	130	3	2	30	60%
130	5	2	30	60%	130	5	2	30	60%
130	7	2	30	60%	130	7	2	30	60%
130	9	2	30	60%	130	9	2	30	60%
130	11	2	30	60%	130	11	2	30	60%
135	1	2	20	40%	135	1	2	20	40%
135	3	2	30	60%	135	3	2	30	60%
135	5	2	30	60%	135	5	2	30	60%
135	7	2	30	60%	135	7	2	30	60%
135	9	2	30	60%	135	9	2	30	60%
135	11	2	30	60%	135	11	2	30	60%
140	1	2	20	40%	140	1	2	20	40%
140	3	2	30	60%	140	3	2	30	60%
140	5	2	30	60%	140	5	2	30	60%
140	7	2	30	60%	140	7	2	30	60%
140	9	2	30	60%	140	9	2	30	60%
140	11	2	30	60%	140	11	2	30	60%
145	1	2	20	40%	145	1	2	20	40%
145	3	2	30	60%	145	3	2	30	60%
145	5	2	30	60%	145	5	2	30	60%
145	7	2	30	60%	145	7	2	30	60%
145	9	2	30	60%	145	9	2	30	60%
145	11	2	30	60%	145	11	2	30	60%
150	1	2	20	40%	150	1	2	20	40%
150	3	2	30	60%	150	3	2	30	60%
150	5	2	30	60%	150	5	2	30	60%
150	7	2	30	60%	150	7	2	30	60%
150	9	2	30	60%	150	9	2	30	60%
150	11	2	30	60%	150	11	2	30	60%
155	1	2	20	40%	155	1	2	20	40%
155	3	2	30	60%	155	3	2	30	60%
155	5	2	30	60%	155	5	2	30	60%
155	7	2	30	60%	155	7	2	30	60%
155	9	2	30	60%	155	9	2	30	60%
155	11	2	30	60%	155	11	2	30	60%
160	1	2	20	40%	160	1	2	20	40%
160	3	2	30	60%	160	3	2	30	60%
160	5	2	30	60%	160	5	2	30	60%
160	7	2	30	60%	160	7	2	30	60%
160	9	2	30	60%	160	9	2	30	60%
160	11	2	30	60%	160	11	2	30	60%

地質編號	地質類別	地質名稱	地質特徵	地質形態	地質時代	地質特徵-地質學				地質層	地質範圍	地質	
						層位	岩性	風化	物理性質				
670	100	3 - 36	3	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) 0.300	1.9	30	-
670	100	3 - 36	3	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.9	30	-
670	100	3 - 36	3	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.9	30	-
680	100	3 - 36	31	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(11.30) ~	2.0	30	-
681	100	3 - 36	35	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶	~15cm厚的漂浮物	風化	物理性質	(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
682	100	3 - 36	35	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
683	100	3 - 36	35	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
684	100	3 - 36	35	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
685	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
686	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
687	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
688	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
689	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
690	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
691	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
692	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
693	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
694	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
695	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
696	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
697	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
698	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
699	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
700	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
701	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
702	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
703	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
704	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
705	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
706	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
707	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
708	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
709	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
710	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-
711	100	3 - 36	36	中-老紅土剖面	風	H/C/T帶				(10.30) ~ 0.300	1.8	20	-

基础设计-地基-地基验算表											
地基承载力系数				地基变形系数				地基变形验算			
土质	厚度	容重	含水量	土质	厚度	容重	含水量	地基承载力系数	地基变形系数	地基变形验算	地基变形验算
砂土	0.5~1.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	0.5~1.0	18.0~19.0	10~15%	0.35~0.40	0.30~0.35	2.5~3.0	0.15~0.20
砂土	1.0~2.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	1.0~2.0	18.0~19.0	10~15%	0.40~0.45	0.35~0.40	2.0~2.5	0.15~0.20
砂土	2.0~3.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	2.0~3.0	18.0~19.0	10~15%	0.45~0.50	0.40~0.45	1.5~2.0	0.15~0.20
砂土	3.0~5.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	3.0~5.0	18.0~19.0	10~15%	0.50~0.55	0.45~0.50	1.0~1.5	0.15~0.20
砂土	5.0~7.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	5.0~7.0	18.0~19.0	10~15%	0.55~0.60	0.50~0.55	0.8~1.2	0.15~0.20
砂土	7.0~10.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	7.0~10.0	18.0~19.0	10~15%	0.60~0.65	0.55~0.60	0.6~0.8	0.15~0.20
砂土	10.0~15.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	10.0~15.0	18.0~19.0	10~15%	0.65~0.70	0.60~0.65	0.4~0.6	0.15~0.20
砂土	15.0~20.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	15.0~20.0	18.0~19.0	10~15%	0.70~0.75	0.65~0.70	0.3~0.4	0.15~0.20
砂土	20.0~30.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	20.0~30.0	18.0~19.0	10~15%	0.75~0.80	0.70~0.75	0.2~0.3	0.15~0.20
砂土	30.0~50.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	30.0~50.0	18.0~19.0	10~15%	0.80~0.85	0.75~0.80	0.1~0.2	0.15~0.20
砂土	50.0~70.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	50.0~70.0	18.0~19.0	10~15%	0.85~0.90	0.80~0.85	0.05~0.1	0.15~0.20
砂土	70.0~100.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	70.0~100.0	18.0~19.0	10~15%	0.90~0.95	0.85~0.90	0.02~0.05	0.15~0.20
砂土	100.0~150.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	100.0~150.0	18.0~19.0	10~15%	0.95~1.00	0.90~0.95	0.01~0.02	0.15~0.20
砂土	150.0~200.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	150.0~200.0	18.0~19.0	10~15%	1.00~1.05	0.95~1.00	0.005~0.01	0.15~0.20
砂土	200.0~300.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	200.0~300.0	18.0~19.0	10~15%	1.05~1.10	1.00~1.05	0.002~0.005	0.15~0.20
砂土	300.0~500.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	300.0~500.0	18.0~19.0	10~15%	1.10~1.15	1.05~1.10	0.001~0.002	0.15~0.20
砂土	500.0~700.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	500.0~700.0	18.0~19.0	10~15%	1.15~1.20	1.10~1.15	0.0005~0.001	0.15~0.20
砂土	700.0~1000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	700.0~1000.0	18.0~19.0	10~15%	1.20~1.25	1.15~1.20	0.0002~0.0005	0.15~0.20
砂土	1000.0~1500.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	1000.0~1500.0	18.0~19.0	10~15%	1.25~1.30	1.20~1.25	0.0001~0.0002	0.15~0.20
砂土	1500.0~2000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	1500.0~2000.0	18.0~19.0	10~15%	1.30~1.35	1.25~1.30	0.00005~0.0001	0.15~0.20
砂土	2000.0~3000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	2000.0~3000.0	18.0~19.0	10~15%	1.35~1.40	1.30~1.35	0.00002~0.00005	0.15~0.20
砂土	3000.0~5000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	3000.0~5000.0	18.0~19.0	10~15%	1.40~1.45	1.35~1.40	0.00001~0.00002	0.15~0.20
砂土	5000.0~7000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	5000.0~7000.0	18.0~19.0	10~15%	1.45~1.50	1.40~1.45	0.000005~0.00001	0.15~0.20
砂土	7000.0~10000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	7000.0~10000.0	18.0~19.0	10~15%	1.50~1.55	1.45~1.50	0.000002~0.000005	0.15~0.20
砂土	10000.0~15000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	10000.0~15000.0	18.0~19.0	10~15%	1.55~1.60	1.50~1.55	0.000001~0.000002	0.15~0.20
砂土	15000.0~20000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	15000.0~20000.0	18.0~19.0	10~15%	1.60~1.65	1.55~1.60	0.0000005~0.000001	0.15~0.20
砂土	20000.0~30000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	20000.0~30000.0	18.0~19.0	10~15%	1.65~1.70	1.60~1.65	0.0000002~0.0000005	0.15~0.20
砂土	30000.0~50000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	30000.0~50000.0	18.0~19.0	10~15%	1.70~1.75	1.65~1.70	0.0000001~0.0000002	0.15~0.20
砂土	50000.0~70000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	50000.0~70000.0	18.0~19.0	10~15%	1.75~1.80	1.70~1.75	0.00000005~0.0000001	0.15~0.20
砂土	70000.0~100000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	70000.0~100000.0	18.0~19.0	10~15%	1.80~1.85	1.75~1.80	0.00000002~0.00000005	0.15~0.20
砂土	100000.0~150000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	100000.0~150000.0	18.0~19.0	10~15%	1.85~1.90	1.80~1.85	0.00000001~0.00000002	0.15~0.20
砂土	150000.0~200000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	150000.0~200000.0	18.0~19.0	10~15%	1.90~1.95	1.85~1.90	0.000000005~0.00000001	0.15~0.20
砂土	200000.0~300000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	200000.0~300000.0	18.0~19.0	10~15%	1.95~2.00	1.90~1.95	0.000000002~0.000000005	0.15~0.20
砂土	300000.0~500000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	300000.0~500000.0	18.0~19.0	10~15%	2.00~2.05	1.95~2.00	0.000000001~0.000000002	0.15~0.20
砂土	500000.0~700000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	500000.0~700000.0	18.0~19.0	10~15%	2.05~2.10	2.00~2.05	0.0000000005~0.000000001	0.15~0.20
砂土	700000.0~1000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	700000.0~1000000.0	18.0~19.0	10~15%	2.10~2.15	2.05~2.10	0.0000000002~0.0000000005	0.15~0.20
砂土	1000000.0~1500000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	1000000.0~1500000.0	18.0~19.0	10~15%	2.15~2.20	2.10~2.15	0.0000000001~0.0000000002	0.15~0.20
砂土	1500000.0~2000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	1500000.0~2000000.0	18.0~19.0	10~15%	2.20~2.25	2.15~2.20	0.00000000005~0.0000000001	0.15~0.20
砂土	2000000.0~3000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	2000000.0~3000000.0	18.0~19.0	10~15%	2.25~2.30	2.20~2.25	0.00000000002~0.00000000005	0.15~0.20
砂土	3000000.0~5000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	3000000.0~5000000.0	18.0~19.0	10~15%	2.30~2.35	2.25~2.30	0.00000000001~0.00000000002	0.15~0.20
砂土	5000000.0~7000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	5000000.0~7000000.0	18.0~19.0	10~15%	2.35~2.40	2.30~2.35	0.000000000005~0.00000000001	0.15~0.20
砂土	7000000.0~10000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	7000000.0~10000000.0	18.0~19.0	10~15%	2.40~2.45	2.35~2.40	0.000000000002~0.000000000005	0.15~0.20
砂土	10000000.0~15000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	10000000.0~15000000.0	18.0~19.0	10~15%	2.45~2.50	2.40~2.45	0.000000000001~0.000000000002	0.15~0.20
砂土	15000000.0~20000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	15000000.0~20000000.0	18.0~19.0	10~15%	2.50~2.55	2.45~2.50	0.0000000000005~0.000000000001	0.15~0.20
砂土	20000000.0~30000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	20000000.0~30000000.0	18.0~19.0	10~15%	2.55~2.60	2.50~2.55	0.0000000000002~0.0000000000005	0.15~0.20
砂土	30000000.0~50000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	30000000.0~50000000.0	18.0~19.0	10~15%	2.60~2.65	2.55~2.60	0.0000000000001~0.0000000000002	0.15~0.20
砂土	50000000.0~70000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	50000000.0~70000000.0	18.0~19.0	10~15%	2.65~2.70	2.60~2.65	0.00000000000005~0.0000000000001	0.15~0.20
砂土	70000000.0~100000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	70000000.0~100000000.0	18.0~19.0	10~15%	2.70~2.75	2.65~2.70	0.00000000000002~0.00000000000005	0.15~0.20
砂土	100000000.0~150000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	100000000.0~150000000.0	18.0~19.0	10~15%	2.75~2.80	2.70~2.75	0.00000000000001~0.00000000000002	0.15~0.20
砂土	150000000.0~200000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	150000000.0~200000000.0	18.0~19.0	10~15%	2.80~2.85	2.75~2.80	0.000000000000005~0.00000000000001	0.15~0.20
砂土	200000000.0~300000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	200000000.0~300000000.0	18.0~19.0	10~15%	2.85~2.90	2.80~2.85	0.000000000000002~0.000000000000005	0.15~0.20
砂土	300000000.0~500000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	300000000.0~500000000.0	18.0~19.0	10~15%	2.90~2.95	2.85~2.90	0.000000000000001~0.000000000000002	0.15~0.20
砂土	500000000.0~700000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	500000000.0~700000000.0	18.0~19.0	10~15%	2.95~3.00	2.90~2.95	0.0000000000000005~0.000000000000001	0.15~0.20
砂土	700000000.0~1000000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	700000000.0~1000000000.0	18.0~19.0	10~15%	3.00~3.05	2.95~3.00	0.0000000000000002~0.0000000000000005	0.15~0.20
砂土	1000000000.0~1500000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	1000000000.0~1500000000.0	18.0~19.0	10~15%	3.05~3.10	3.00~3.05	0.0000000000000001~0.0000000000000002	0.15~0.20
砂土	1500000000.0~2000000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	1500000000.0~2000000000.0	18.0~19.0	10~15%	3.10~3.15	3.05~3.10	0.00000000000000005~0.0000000000000001	0.15~0.20
砂土	2000000000.0~3000000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	2000000000.0~3000000000.0	18.0~19.0	10~15%	3.15~3.20	3.10~3.15	0.00000000000000002~0.00000000000000005	0.15~0.20
砂土	3000000000.0~5000000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	3000000000.0~5000000000.0	18.0~19.0	10~15%	3.20~3.25	3.15~3.20	0.00000000000000001~0.00000000000000002	0.15~0.20
砂土	5000000000.0~7000000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	5000000000.0~7000000000.0	18.0~19.0	10~15%	3.25~3.30	3.20~3.25	0.000000000000000005~0.00000000000000001	0.15~0.20
砂土	7000000000.0~10000000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	7000000000.0~10000000000.0	18.0~19.0	10~15%	3.30~3.35	3.25~3.30	0.000000000000000002~0.000000000000000005	0.15~0.20
砂土	10000000000.0~15000000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	10000000000.0~15000000000.0	18.0~19.0	10~15%	3.35~3.40	3.30~3.35	0.000000000000000001~0.000000000000000002	0.15~0.20
砂土	15000000000.0~20000000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	15000000000.0~20000000000.0	18.0~19.0	10~15%	3.40~3.45	3.35~3.40	0.000000000000000005~0.000000000000000001	0.15~0.20
砂土	20000000000.0~30000000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	20000000000.0~30000000000.0	18.0~19.0	10~15%	3.45~3.50	3.40~3.45	0.000000000000000002~0.000000000000000005	0.15~0.20
砂土	30000000000.0~50000000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	30000000000.0~50000000000.0	18.0~19.0	10~15%	3.50~3.55	3.45~3.50	0.000000000000000001~0.000000000000000002	0.15~0.20
砂土	50000000000.0~70000000000.0	18.0~19.0	10~15%	砂土	50000000000.0~70000000000.0	18.0~19.0	10~15%	3.55~3.60	3.50~3.55	0.	

第6表 瓦・土製品・金属製品・骨角製品・石製品・石材

* () は復元値 () は現存値

編號	固原縣	地区	遺物種類	遺物號	出土位置・層号	種類①	種類②	量(単位はcm) *			出土密度・色調			遺物種類・特徴備考
								口径/高さ	底径/厚さ	深さ/厚さ	出土密度	出土色調	出土標号	
1612	170	2	SK	601	B層 / L-7,144	土製品	土人形	(86.20)	(12.10)	(1.45)	密	10YR8/2灰白		良好
1613	170	2	—	—	■層	土製品	土球	5.50	3.60	3.70	やや粗	10YR8/2灰白		良 秤量58.0g
1614	170	2	—	—	■層	土製品	土球	6.10	3.60	2.90	やや粗	10YR8/2灰白		良 秤量53.0g
1615	170	2	SK	1168	圓城II層 / L-7,174	土製品	土人形	3.70	2.50	1.50	密	10YR8/2灰白		良 秤量53.0g
1616	170	2	—	—	B層	瓦	軒瓦	(86.20)	(7.60)	(3.2)	粗	7.5YR7/4C-5a-櫻		良 軒瓦部分のみ現存。底面は7.5YR7/4櫻色。秤量162.5g
1617	170	4	SD	1		土製品	陶罐	5.5~6.0	—	2.90	間	10YR8/2灰白	砂っぽい、朱色絞りによる	良 表面に黒い・赤い・黄色色の付着物(金属分析)
1618	170	4	SD	1		瓦	瓦	15.50	—	(1.85)	粗	10YR7/1灰白	10YR8/4赤 (付着物)	良 内外面に付着物
1619	170	4	SD	1	灰層	土製品	燒板邊の 盤	46.80	—	1.80	密	5YR7/4C-5a-櫻	6.2mm以下の長石・石英を含む	良
1620	171	4	SD	1	Dセク③	土製品	燒板邊	5.85	—	(6.85)	粗	5YR5/4C-5a-赤	砂が多い、約10.0mmの 小石を含む	良
1621	171	4	SD	1		土製品	燒板邊	6.15	—	(5.55)	粗	5.5YR5/4明赤鷺	長石・石英粒を多く含む	良
1622	171	4	SD	1		土製品	燒板邊	—	(5.00)	(4.0)	やや粗	5YR7/6櫻	6.2mm以下の長石・石英、赤閃石、褐色砂粒	良好 内面に赤斑状。底部抜けている
1623	171	4	SD	60	下層灰砂シ ル・網代	土製品	磚	(7.00)	(8.40)	(2.50)	粗	7.5YR8/4C-5a-櫻	塵を大量に含む	良 秤量69.5g
1624	171	4	SK	40		土製品	燒板邊の 盤	6.00	—	1.20	密	10YR8/2灰白	塵を含む	良 上面に印刷(大坂七福寺)有
1625	171	4	SK	40	灰層	土製品	燒板邊の 盤	6.60	—	1.00	密	10YR7/4C-5a-黃 6.15mm以下の長石・石英・赤色鉄を含む	良 上面に印刷	良 秤量55.5g
1626	171	4	SK	40	灰層	土製品	磚	(13.2)	—	(6.1)	粗	7.5YR8/4C-5a-櫻	長石・石英・塵を含む	良 内面ケイリ調整 秤量274.5g
1627	171	4	SK	40	Dセク③	土製品	円錐形土 製品	3.20	3.65	0.80	密	10YR8/2灰白	やや赤茶け粉	良 (雲母粉)現存 秤量12.0g
1628	171	4	SK	40	燒屏塗・Aセ K西N・A砂礫	土製品	土人形	(4.30)	4.60	2.15	粗	10YR8/4C-5a-黃 約3.0mm以下の長石・石英・赤色鉄を含む	良 中空・穴あき有	良 秤量55.5g
1629	171	4	SK	40	上層後土下	土製品	土人形	(5.05)	7.50	3.70	やや粗	7.5YR8/4C-5a-櫻	キラ(雲母粉)現存 秤量50.0g	良 キラ(雲母粉)現存 秤量49.5g
1630	171	4	SK	40	Dセク③	土製品	土人形	4.80	7.45	3.80	密	10YR8/2灰白	1633(同じく)焼用灰分・キラ(雲母粉)現存 秤量49.0g	良
1631	171	4	SK	40		土製品	土人形	(4.20)	5.60	2.75	密	10YR8/4C-5a-黃 「牛頭人」キラ(雲母粉) 現存 秤量49.5g	牛頭人 キラ(雲母粉) 現存 秤量49.5g	良
1632	172	4	SK	40	石列①	土製品	土人形	(4.60)	7.60	3.70	密	10YR8/4赤黃	1632(同じく)焼用灰分・キラ(雲母粉)現存 秤量49.0g	良
1633	172	4	SK	40	青色	土製品	土人形	(4.90)	(8.70)	3.80	粗	2.5YR8/2灰白	1631(同じく)焼用灰分・キラ(雲母粉)現存 秤量51.0g	良
1634	172	4	SK	40	石列①	土製品	土人形	(5.00)	7.75	3.85	密	10YR8/2灰白	1629(同じく)焼用灰分・キラ(雲母粉)現存 秤量50.5g	良
1635	172	2	SE	947	L-6,519	金屬製品	鉢	(16.55)	1.20	0.25	—	—	—	秤量13.6g
1636	172	2	SK	142		金屬製品	鉢	(12.55)	1.10	0.25	—	—	—	一部に表面装飾が残る(綠 色)秤量13.0g
1637	172	4	SD	1		金屬製品	鉢	4.75	1.25	1.90	—	—	—	秤量5.0g
1638	172	4	SD	23		金屬製品	鉢	2.20	—	0.10	—	—	—	「復元通賈」秤量5.5g
1639	172	4	SD	56	灰層	金屬製品	鉢	2.30	(1.60)	0.08	—	—	—	「復元通賈」秤量1.0g
1640	172	4	SD	40	網代出土 鐵製品No.2	金屬製品	鉢	4.10	2.75	0.05	—	—	—	薄い 秤量2.5g
1641	172	1	SK	4	石列③ 燒屏下層灰層	金屬製品	圓盤	2.25	—	0.10	—	—	—	「復元通賈」(表)1元(1個) 秤量1.5g
1642	172	2	SE	450		骨角製品	ヘラ	9.35	2.40	0.60	—	—	—	無
1643	172	2	SD	470		石製品	板磚	59.60	25.20	17.00	—	—	—	瓦砾板評
1644	173	2	SD	470	SD470の交 差点	土製品	不明	(9.20)	11.10	4.30	やや粗	7.5YR7/4C-5a-櫻 N2/2黒	粘土・約1.8mm以下の黒 色鉱物を含む	不良小 透視性が高い 秤量229.5g
1645	173	2	SD	500		石製品	砥石	(8.90)	(2.90)	(1.45)	—	—	—	秤量50.5g
1646	173	2	SE	413		石製品	石墨	(9.00)	—	(3.85)	—	—	—	秤量262.0g
1647	173	2	SE	869		石材	不明	19.60	19.55	14.15	—	—	—	スズ付石 秤量10.5kg
1648	173	2	SK	60	SE869の上 少し深い	石製品	石墨	17.20	13.30	3.70	—	—	—	スズ付石 秤量915.0kg
1649	173	2	SK	451		石製品	研	(3.60)	6.20	(2.20)	—	—	—	裏面に焼けた墨山が難判 れ。昔十三年三月十四日区 受。秤量244.0g

測定番号	固形物 No.	地区	通路 種別	通路番号	出土位置 標高	種別①	種別②	法量(単位はcm)*			地盤密度・色調			造物種類・器種番号
								口径/ 奥行き	底面/ 輪郭	側面/ 厚さ	地盤 密度	地盤色調	地盤備考	
1650	174	2 SK	862	最下層	石製品	石臼	(18.00)	12.00	—	—	—	—	—	秤量2.3kg
1651	173	2 SK	795	—	石製品	碗	11.45	6.00	1.60	—	—	—	—	秤量162.5g
1652	174	2 SK	1049	—	石材か 石製品	刮削器	12.15	15.40	7.00	—	—	—	—	鉄石灰 粉量2.0kg
1653	174	2 SK	1299	—	石製品	板鏡	29.25	21.80	17.55	—	—	—	—	秤量18.5kg
1654	174	2 SK	125	—	器物	不明	外径 5.2	内径 1.5	0.95	鐵器	2.5VH/1灰白	—	良好	輪状、無柄、上下面に凹凸 秤量1.5kg
1655	174	2 SK	960	—	石製品	五輪塔	18.80	24.70	24.60	—	—	—	—	火輪 秤量15.5kg
1656	174	3 SE	77	出土位置固形 3	石製品	板鏡	21.30	16.40	14.30	—	—	—	—	石盤灰用 秤量12.0kg
1657	174	3 SE	77	出土位置固形 2	石製品	石臼	32.10	—	12.60	—	—	—	—	石臼灰用 秤量10.0kg
1658	174	3 SK	112	—	石製品	石臼	(16.0)	(16.5)	12.0	—	—	—	—	—
1659	175	4 SD	1	筒シル	石製品か 基石	基石	2.25	—	0.45	—	—	—	—	白石
1660	175	4 SD	1	(II)	石製品	瓶形	7.30	3.65	1.35	—	—	—	—	秤量55.0g
1661	175	4 SD	1	—	石製品	石臼	17.20	22.40	8.40	—	—	—	—	—
1662	175	4 SD	1	Dセク?	石製品	石臼	21.00	—	(2.75)	—	—	—	—	秤量93.5g
1663	175	4 SD	1	下層区筒シル	石製品	石臼	21.70	—	(0.1)	—	—	—	—	秤量393.0g
1664	175	4 SD	1	—	石材	刮削器	8.55	4.15	3.10	—	—	—	—	秤量96.5g
1665	175	4 SD	1	下層灰筒シル 鋼化	石材	刮削器	10.20	6.90	1.80	—	—	—	—	秤量123.5g
1666	175	4 SD	1	—	石材	刮削器	15.40	20.20	4.40	—	—	—	—	秤量80.5g
1667	175	4 SE	41	—	石製品	板鏡	23.40	19.00	7.60	—	—	—	—	—
1668	175	4 SE	41	—	石製品	板鏡	23.60	14.40	12.80	—	—	—	—	—
1669	176	4 SE	41	—	石製品	板鏡	29.60	18.00	16.80	—	—	—	—	—
1670	176	4 SE	41	—	石製品	板鏡か	23.60	225.6	18.00	—	—	—	—	—
1671	176	4 SE	41	—	石製品	空瓶瓶	32.80	20.80	20.00	—	—	—	—	—
1672	176	4 SE	41	—	石製品	仏塔材料	29.60	22.40	18.40	—	—	—	—	—
1673	176	4 SE	41	—	石製品	台座	39.20	39.20	17.60	—	—	—	—	—
1674	176	4 SE	41	—	石製品	輪轂	56.00	27.60	36.40	—	—	—	—	—
1675	176	4 SE	41	—	石製品	五輪塔	25.20	36.80	21.00	—	—	—	—	—
1676	177	4 SE	41	—	石製品	五輪塔	28.00	27.20	19.20	—	—	—	—	—
1677	177	4 SE	41	—	石製品	五輪塔	36.00	35.60	28.80	—	—	—	—	—
1678	177	4 SK	3	—	石製品	不明	外径 (16.0)	—	4.75	—	—	—	—	全面削りによる調整、鋸型の 上の方のみか、秤量261.0g
1679	177	4 SK	3	石2 石礎② 北側	石材	石壇石材	44.20	37.00	21.00	—	—	—	—	—
1680	177	4 SK	3	石8 石礎③ 南北軸	石材	石壇石材	53.00	27.60	20.40	—	—	—	—	—
1681	177	4 SK	3	石33 石礎③ 東西軸裏側	石材	石壇石材	46.50	27.20	19.60	—	—	—	—	—
1682	178	4 SD	15	石5 南壁	石材	石壇石材	46.80	44.60	23.50	—	—	—	—	—
1683	178	4 SK	3	石10	石材	石壇石材	26.30	22.80	16.20	—	—	—	—	—
1684	179	4 SK	3	石9 石礎④ 南北軸	石材	石壇石材	41.10	29.60	20.10	—	—	—	—	—
1685	179	4 SK	3	石7N3 石礎 ③北側	石材	石壇石材	47.00	40.20	33.60	—	—	—	—	—
1686	178	4 SK	4	石32 石礎① 東西軸西側	石材	石壇石材	46.70	39.50	29.00	—	—	—	—	—
1687	178	4 SK	4	石34 石礎④ 南北軸	石材	石壇石材	37.00	26.50	17.00	—	—	—	—	—
1688	179	4 SK	4	石19 石礎④ 東西軸(中央)	石材	刮削器	23.10	14.80	13.20	—	—	—	—	秤量3.7kg
1689	179	4 SK	4	石14 石礎④ 写真No.29	石材	刮削器	31.50	21.90	18.20	—	—	—	—	秤量7.0kg
1690	179	4 SK	4	石13 石礎④ 東西軸(南)	石材	刮削器	21.20	16.95	7.55	—	—	—	—	秤量3.0kg
1691	179	4 SK	4	石16 石礎④ 東西軸(中央)	石材	刮削器	20.70	14.40	12.50	—	—	—	—	秤量2.0kg
1692	179	4 SK	4	石2 石礎④ 東西軸(中央)	石材	石壇石材	37.30	37.70	17.00	—	—	—	—	—
1693	179	4 SK	4	—	石製品	不明	16.00	15.60	10.80	—	—	—	—	—

第7表 木製品観察表

* () は復元値 () は残存値

測量番号	測定番号	地区	遺構種類	遺構No.	出土位置・備考	種別①	種別②	遺物年代	法量(単位はcm)*			遺物種類・器種備考
									口径/長軸	底径/短軸	高さ/厚さ	
1694	180	2	SD	481		木製品	椀		—	—	(2.3)	黒漆地に赤漆で絵付け
1695	180	2	SD	481		木製品	木札か		10.50	3.00	0.70	墨書き「甲百西カ十 横道を苔松」(表)「□山地 □□□□×××」(裏)、文字の上に修正跡か
1696	180	2	SD	481		木製品	箸伏木製品		22.70	0.70	0.65	
1697	180	2	SD	481		木製品	箸伏木製品		23.35	0.70	0.55	
1698	180	2	SD	481		木製品	箸伏木製品		(15.00)	0.80	0.70	
1699	180	2	SD	481		木製品	箸伏木製品		12.35	0.60	0.50	
1700	180	2	SD	481		木製品	箸伏木製品		13.50	0.60	0.45	
1701	180	2	SD	481		木製品	円形板		13.20	6.80	0.80	
1702	180	2	SD	481		木製品	円形板		10.90	9.40	0.50	中央部に木彫
1703	180	2	SD	481		木製品	円形板		11.70	11.80	0.60	
1704	180	2	SD	481		木製品	円形板		11.45	12.10	0.95	
1705	180	2	SE	47	取り上げNo.1	木製品	井戸枠		51.00	10.00	1.50	
1706	180	2	SE	47	取り上げNo.2	木製品	井戸枠		56.70	8.40	1.80	
1707	180	2	SE	47	取り上げNo.3	木製品	井戸枠		57.00	8.60	1.60	
1708	180	2	SE	47	取り上げNo.4	木製品	井戸枠		51.30	9.10	1.60	
1709	180	2	SE	47	取り上げNo.5	木製品	井戸枠		54.00	9.00	1.60	
1710	180	2	SE	47	取り上げNo.6	木製品	井戸枠		54.90	9.50	1.60	
1711	180	2	SE	47	取り上げNo.7	木製品	井戸枠		54.60	9.50	1.30	
1712	180	2	SE	47	取り上げNo.8	木製品	井戸枠		53.00	8.40	1.6～1.5	
1713	180	2	SE	47	取り上げNo.9	木製品	井戸枠		53.40	8.20	1.3～1.4	
1714	180	2	SE	47	取り上げNo.10	木製品	井戸枠		54.40	9.50	1.40	
1715	181	2	SE	47	取り上げNo.12	木製品	井戸枠		57.70	9.50	1.70	
1716	181	2	SE	47	取り上げNo.13	木製品	井戸枠		55.70	9.90	1.75～1.8	
1717	181	2	SE	47	取り上げNo.14	木製品	井戸枠		58.90	10.20	1.35～1.6	
1718	181	2	SE	47	取り上げNo.15	木製品	井戸枠		56.20	9.30	1.4～1.7	
1719	181	2	SE	47	取り上げNo.16	木製品	井戸枠		55.80	9.90	1.4～1.5	
1720	181	2	SE	47	取り上げNo.17	木製品	井戸枠		45.30	10.00	1.0～1.4	
1721	181	2	SE	47	取り上げNo.18	木製品	井戸枠		46.90	9.70	1.0～1.2	
1722	181	2	SE	47	取り上げNo.19	木製品	井戸枠		48.20	8.40	1.55	
1723	181	2	SE	47	取り上げNo.20	木製品	井戸枠		39.40	9.50	1.00	
1724	181	2	SE	47	取り上げNo.21	木製品	井戸枠		48.70	9.00	1.55	
1725	181	2	SE	47	取り上げNo.22	木製品	井戸枠		46.40	8.70	1.65	
1726	181	2	SE	47	取り上げNo.23	木製品	井戸枠		44.10	9.80	1.00	
1727	181	2	SE	414	取り上げNo.21	木製品	井戸枠	17C初	28.60	9.00	1.40	下部炭化。内板(No.1～5の中)
1728	181	2	SE	414	取り上げNo.22	木製品	井戸枠	17C初	27.90	7.90	0.90	表面炭化。内板(No.1～5の中)
1729	181	2	SE	414	取り上げNo.24	木製品	井戸枠		25.10	10.50	1.20	竹釘痕あり。下部炭化。内板(No.14～20の中)
1730	181	2	SE	414	取り上げNo.25	木製品	井戸枠		27.60	9.30	1.65	竹釘痕あり。下部炭化。内板(No.14～20の中)

揭露No.	回収No.	地区	遺構種類	遺構No.	出土位置 参考	種別①	種別②	遺物年代	法量(単位はcm) *			遺物種類・器種参考
									口径 / 長軸	底径 / 短軸	器高 / 厚さ	
1731	181	2	SE	414	取り上げNo.23	木製品	井戸枠		28.90	8.00	0.80	表面焼化。内板(No.1~5の中)
1732	181	2	SE	414	取り上げNo.1	木製品	井戸枠		47.60	8.20	1.30	削痕残存?
1733	181	2	SE	414	取り上げNo.2	木製品	井戸枠		(46.50)	7.90	0.85	全体的に磨滅・欠損が激しい
1734	181	2	SE	414	取り上げNo.3	木製品	井戸枠		(45.70)	8.80	0.8 ~ 0.95	全体的に磨滅・欠損が激しい
1735	181	2	SE	414	取り上げNo.4	木製品	井戸枠		51.60	10.20	1.40	
1736	181	2	SE	414	取り上げNo.5	木製品	井戸枠		43.50	7.40	0.90	
1737	181	2	SE	414	取り上げNo.6	木製品	井戸枠		38.30	7.80	1.40	
1738	181	2	SE	414	取り上げNo.7	木製品	井戸枠		46.70	8.90	0.90	
1739	181	2	SE	414	取り上げNo.8	木製品	井戸枠		(40.50)	7.80	0.70	
1740	181	2	SE	414	取り上げNo.10	木製品	井戸枠		(43.20)	7.70	0.80	
1741	181	2	SE	414	取り上げNo.11	木製品	井戸枠		(53.00)	10.00	1.00	
1742	181	2	SE	414	取り上げNo.12	木製品	井戸枠		(45.30)	8.90	0.90	
1743	181	2	SE	414	取り上げNo.13	木製品	井戸枠		(45.50)	8.00	1.00	
1744	181	2	SE	414	取り上げNo.14	木製品	井戸枠		38.20	7.20	0.75	
1745	181	2	SE	414	取り上げNo.15	木製品	井戸枠		44.70	8.20	0.95 ~ 1.1	
1746	182	2	SE	414	取り上げNo.16	木製品	井戸枠		44.80	8.30	1.00	
1747	182	2	SE	414	取り上げNo.17	木製品	井戸枠		54.80	10.70	1.40	
1748	182	2	SE	414	取り上げNo.18	木製品	井戸枠		51.00	7.70	1.00	
1749	182	2	SE	414	取り上げNo.19	木製品	井戸枠		42.20	6.70	0.90	
1750	182	2	SE	414	取り上げNo.20	木製品	井戸枠		50.30	9.10	1.00	
1751	182	2	SE	469	取り上げNo.1	木製品	井戸枠		48.60	8.30	1.30	竹釘残存
1752	182	2	SE	469	取り上げNo.2	木製品	井戸枠		48.50	8.60	1.10	竹釘孔あり
1753	182	2	SE	469	取り上げNo.3	木製品	井戸枠		47.90	8.30	1.20	
1754	182	2	SE	469	取り上げNo.4	木製品	井戸枠		45.90	7.40	1.40	竹釘孔(欠損)・割れ縫(西角形)
1755	182	2	SE	469	取り上げNo.5	木製品	井戸枠		48.90	8.40	1.30	竹釘孔・竹釘残存
1756	182	2	SE	469	取り上げNo.6	木製品	井戸枠		47.30	10.00	1.00	側面に剥離感あり(先の尖ったも1mm程の細いもので複数剥離している)
1757	182	2	SE	469	取り上げNo.7	木製品	井戸枠		47.70	8.50	0.80	竹釘孔・木釘孔あり
1758	182	2	SE	469	取り上げNo.8	木製品	井戸枠		42.70	7.90	1.30	竹釘残存
1759	182	2	SE	469	取り上げNo.9	木製品	井戸枠		40.50	7.30	1.20	竹釘残存
1760	182	2	SE	469	取り上げNo.10	木製品	井戸枠		37.70	7.50	0.80	竹釘孔あり
1761	182	2	SE	469	取り上げNo.11	木製品	井戸枠		46.80	8.50	0.90	竹釘孔(竹釘残存)・木釘孔あり
1762	182	2	SE	469	取り上げNo.12	木製品	井戸枠		48.20	8.60	0.70	竹釘孔あり
1763	182	2	SE	469	取り上げNo.13	木製品	井戸枠		33.70	6.40	1.00	竹釘孔・竹釘残存
1764	182	2	SE	469	取り上げNo.14	木製品	井戸枠		48.20	9.00	1.10	竹釘孔あり、全体に腐食
1765	182	2	SE	469	取り上げNo.15	木製品	井戸枠		47.40	7.60	0.8 ~ 0.9	竹釘孔・竹釘残存
1766	182	2	SE	469	取り上げNo.16	木製品	井戸枠		(31.20)	8.40	0.95	竹釘孔あり
1767	182	2	SE	469	取り上げNo.17	木製品	井戸枠		(31.90)	7.65	0.90	竹釘孔・竹釘残存
1768	182	2	SE	469	取り上げNo.18	木製品	井戸枠		45.90	8.00	0.90	竹釘孔あり
1769	182	2	SE	469	取り上げNo.19	木製品	井戸枠		47.30	8.20	0.70	竹釘孔・竹釘残存
1770	182	2	SE	469	取り上げNo.20	木製品	井戸枠		48.00	8.40	0.90	竹釘孔・竹釘残存

揭露No.	回収No.	地区	遺構 種類	遺構No.	出土位置 備考	種別①	種別②	遺物年代	法量(単位はcm)*			遺物種類・器種備考
									口径/ 長軸	底径/ 短軸	器高/ 厚さ	
1771	182	2	SE	469	取り上げNo.21	木製品	井戸枠		44.50	7.60	1.20	
1772	182	2	SE	469	取り上げNo.22	木製品	井戸枠		46.30	8.40	0.50	竹釘残存。全体的に腐食
1773	182	2	SE	788	取り上げNo. 1-1	木製品	井戸枠		53.70	7.50	1.1~1.5	釘孔あり
1774	182	2	SE	788	取り上げNo. 1-2	木製品	井戸枠		60.00	9.20	1.90	
1775	182	2	SE	788	取り上げNo. 1-3	木製品	井戸枠		56.30	9.10	1.50	
1776	182	2	SE	788	取り上げNo. 2-1	木製品	井戸枠		61.20	9.40	1.9~ 2.15	削痕あり
1777	182	2	SE	788	取り上げNo. 2-2	木製品	井戸枠		56.90	9.20	2.50	
1778	183	2	SE	788	取り上げNo. 3-1	木製品	井戸枠		53.10	6.70	1.10	側面も所々磨滅・欠損するが、全体的に残存
1779	183	2	SE	788	取り上げNo. 3-2	木製品	井戸枠		62.60	9.10	2.00	
1780	183	2	SE	788	取り上げNo. 4-1	木製品	井戸枠		52.00	8.70	2.20	側面・切断面とともに磨滅が激しい
1781	183	2	SE	788	取り上げNo. 4-2	木製品	井戸枠		53.20	8.10	2.00	
1782	183	2	SE	788	取り上げNo.5	木製品	井戸枠	(54.60)	(8.00)	0.75	全体的に磨滅・欠損	
1783	183	2	SE	788	取り上げNo. 5-1	木製品	井戸枠		41.00	8.40	2.05	全体的に磨滅
1784	183	2	SE	788	取り上げNo. 5-2	木製品	井戸枠		41.80	8.90	2.10	
1785	183	2	SE	788	取り上げNo. 5-3	木製品	井戸枠		49.60	6.75	1.60	全体的に磨滅・欠損
1786	183	2	SE	788	取り上げNo.6	木製品	井戸枠		66.10	6.40	1.90	
1787	183	2	SE	788	取り上げNo. 7-1	木製品	井戸枠		39.70	8.50	1.65	
1788	183	2	SE	788	取り上げNo. 7-2	木製品	井戸枠		40.60	8.70	2.00	
1789	183	2	SE	939	取り上げNo. 113	木製品	井戸枠		95.10	18.00	2.40	
1790	183	2	SE	939	取り上げNo. 114	木製品	井戸枠		95.70	14.40	2.20	
1791	183	2	SE	939	取り上げNo. 115	木製品	井戸枠		94.60	21.00	1.80	
1792	183	2	SE	939	取り上げNo. 116	木製品	井戸枠		94.90	14.00	2.10	
1793	183	2	SE	939	取り上げNo. 117	木製品	井戸枠		89.90	12.60	2.80	
1794	183	2	SE	939	取り上げNo. 118	木製品	井戸枠		73.60	18.50	2.20	
1795	183	2	SE	939	取り上げNo. 119	木製品	井戸枠		53.60	16.00	2.20	割れ?
1796	183	2	SE	939	取り上げNo. 120	木製品	井戸枠		94.40	17.00	2.00	
1797	183	2	SE	939	取り上げNo. 121	木製品	井戸枠		95.70	16.00	2.20	
1798	183	2	SE	939	取り上げNo. 122	木製品	井戸枠		95.20	18.30	1.90	ハツリ痕あり
1799	183	2	SE	939	取り上げNo. 123	木製品	井戸枠		96.10	10.60	2.30	

揭露No.	回収No.	地区	遺構 種類	遺構No.	出土位置 備考	種別①	種別②	遺物年代	法量(単位はcm)*			遺物種類・器種備考
									口径/ 長軸	底径/ 短軸	器高/ 厚さ	
1800	183	2	SE	939	取り上げNo. 124	木製品	井戸枠		67.50	13.70	2.50	表面被火(一部くすぶり)
1801	183	2	SE	939	取り上げNo. 125-1	木製品	井戸枠		78.70	13.40	2.60	ハツリ痕・削り痕あり。
1802	183	2	SE	939	取り上げNo. 125-2	木製品	井戸枠		72.10	8.80	2.40	
1803	183	2	SE	939	取り上げNo. 126	木製品	井戸枠		94.90	15.50	2.30	ハツリ痕あり
1804	183	2	SE	939	取り上げNo. 127	木製品	井戸枠		94.60	13.60	2.00	
1805	183	2	SE	939	取り上げNo. 128	木製品	井戸枠		92.60	16.30	2.40	
1806	183	2	SE	939	取り上げNo. 129	木製品	井戸枠		78.50	10.80	2.50	
1807	183	2	SE	939	取り上げNo. 169	木製品	井戸枠		54.40	14.80	2.60	
1808	183	2	SE	939	取り上げNo. 171	木製品	井戸枠		73.60	7.30	2.00	
1809	183	2	SE	939	取り上げNo. 172-1	木製品	井戸枠		94.60	6.60	2.30	
1810	183	2	SE	939	取り上げNo. 294-1	木製品	井戸枠		33.50	15.90	2.40	ハツリ痕あり
1811	180	2	SK	451		木製品	木札		16.95	5.20	0.80	「大阪控訴院検事局□□」「富山地方裁判所カ/檢事局第5中/檢訴第十五七四号」 墨書き「□□□」
1812	181	4	SD	56	灰シル下	木製品	不明		13.45	2.90	2.65	墨書き「□□□」
1813	181	4	SD	60		漆器	蓋	(13.20)	—	(1.5)	内外面黒漆	
1814	181	4	SD	60		木製品	蓋		15.65	0.60	0.50	
1815	181	4	SD	60		木製品	蓋		18.60	0.70	0.55	
1816	181	4	SD	60	出土位置回No. 17	木製品	蓋		20.80	0.60	0.45	
1817	181	4	SD	60		木製品	蓋		19.20	0.95	0.50	削蓋
1818	181	4	SD	60	出土位置回No. 18	木製品	蓋		9.40	0.65	0.40	
1819	181	4	SD	60	出土位置回No. 20	木製品	蓋		9.90	0.50	0.35	
1820	181	4	SD	60		木製品	蓋		7.95	0.55	0.40	
1821	181	4	SD	60		木製品	蓋		6.00	0.60	0.45	
1822	181	4	SD	60		木製品	容器		8.00	8.35	3.00	用途不明
1823	181	4	SX	4	石造内□南西 角	漆器	椀		—	—	(4.1)	外面黒漆(朱漆で文様あり)、内面朱漆
1824	181	4	SX	4	石造内□南西 角	漆器	椀	(10.20)	高台径 (5.25)	3.35		内面・外面黒漆
1825	181	4	SX	49	灰シル	木製品	円形板		12.10	4.00	1.20	模印「正味」
1826	181	4	SX	49	灰シル	木製品	円形板		14.30	8.80	1.15	模印「口椭」